

日 教 庶 第 4 5 0 号

令和4年(2022年)10月6日

教育委員 各位

日野市教育委員会

教育長 堀川 拓郎

令和4年度第7回教育委員会定例会の開催について

日野市教育委員会告示第7号により、下記のとおり令和4年度第7回教育委員会定例会を開催します。定刻までに御参集ください。

開催日時

令和4年(2022年)10月13日(木) 午後2時

開催場所

506会議室

案件

議案

- 第28号 教育委員会職員人事の専決処分について
- 第29号 日野市立学校の学校医の委嘱の専決処分について
- 第30号 教育委員会職員の分限休職の専決処分について
- 第31号 日野市立学校教員の処分(内申)について

請願

- 第4-6号 “君が代”という思想・良心・信教の自由に関わる問題を理由に、「再任用教諭や臨時的任用教職員の雇い止めや不合格」にしないよう、都教委に意見書を出すよう求める等の請願

報告事項

- 第18号 令和4年第3回日野市議会定例会の報告
- 第19号 要綱の制定及び改廃の報告(令和4年7月～令和4年9月)
- 第20号 令和4年度就学援助申請者数及び認定者数(令和4年4月～令和4年6月)
- 第21号 令和4年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数
- 第22号 行政情報の公開請求
- 第23号 令和5年度入学「選べる学校制度」希望調査集計結果(小学校)
- 第24号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(令和4年4月～令和4年9月)
- 第25号 令和4年度日野市立図書館の運営の状況に関する評価書(令和3年度事業)

議案第28号

教育委員会職員人事の専決処分について

上記議案を提出する。

令和4年10月13日 提出

口野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

教育委員会職員に対する人事異動に伴う人事発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により人事発令を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

省略

議案第29号

日野市立学校の学校医の委嘱の専決処分について

上記議案を提出する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

日野市立学校の学校医等の任用等に関する規則（昭和51年教育委員会規則第2号）第2条及び第3条の規定に基づく学校医の委嘱について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により委嘱を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

解 嘱 者

氏名	住所	科目	担当校	解嘱理由
佐々木智史		歯科	平山小学校	一身上の都合により

委 嘱 者

氏名	住所	科目	担当校	任期
大西 孝司		歯科	平山小学校	自：令和4年10月1日 至：令和6年3月31日

《関係法令》

日野市立学校の学校医等の任用等に関する規則

第2条 学校医等は、非常勤の職員とし、教育委員会が委嘱する。

第3条 学校医等の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 学校医等が欠けたとき及び新設された学校には、学校医等を充足することができる。
その任期は、前任者又は他校現任者の残任期間とする。

日野市教育委員会教育長に対する事務委任規則

第3条 委員会において処理すべき事項で急を要する事項が発生し、かつ、委員会の会議に諮る時間的余裕がないときは、教育長は委員会に代わって処理することができる。

2 教育長は、前項の規定により処理した事項については、直近の会議において委員会に報告し、承認を求めなければならない。

議案第30号

教育委員会職員の分限休職の専決処分について

上記議案を提出する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

教育委員会職員に対する地方公務員法第28条第2項第1号による分限休職の発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により分限休職の発令を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

非公開

議案第31号

日野市立学校教員の処分（内申）について

上記議案を提出する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

次のように東京都教育委員会に内申するものです。

非公開

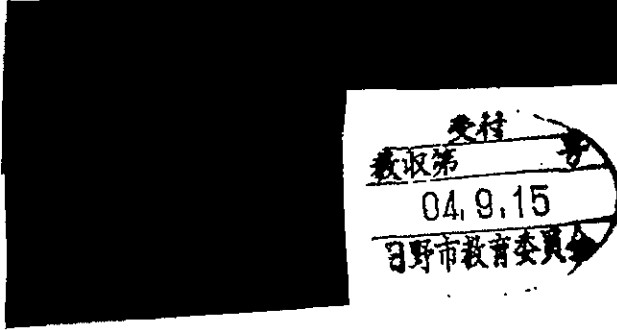
請願審査

請願番号	請願第4-6号
受付年月日	令和4年9月15日
件名	“君が代”という思想・良心・信教の自由に関わる問題を理由に、「再任用教諭や臨時的任用教職員の雇い止めや不合格」にしないよう、都教委に意見書を出すよう求める等の請願
請願者住所氏名	

日野市教育委員会御中 2022年9月15日(木)提出

「君が代」という
思想・良心・信教の自由に関わる問題を理由に、「再任用教諭や臨時的任用教職員の雇い止めや不合格」にしないよう、都教委に意見書を出すよう求める等の請願

教育行政研究会：



※ 10月の定例会の審議では、請願の内容の意見陳述を希望します。会場がたとえ506会議室であっても、性能の良いマイクを使用する（堀川拓郎氏と、教育委員の高木健夫氏・西田敦子氏・真野広氏・東桜子（あずまさくらこ）氏の机上に必ず最低「2人に1本」置く）ようお願いしたい。

1 請願の背景となる事実、請願に至る経緯

公立学校の教職員を含む定年の、60歳から65歳への延長の実行はまだないが、東京の小中高校等の公立学校の教職員は、60歳の定年後そのまま65歳まで、再任用教諭（フルタイム勤務で、授業はもとより担任や校務分掌も持てる）として勤務する人が多い（他に、担任は持てないが、授業はもとより校務分掌も持てる非常勤教員として勤務する人もいるが…）。

しかし東京都教育委員会は、卒業式等の“君が代”不起立教職員については、再任用教諭の年金支給年齢での雇い止めに加え、臨時的任用教職員（産休・育休教員等の代替で授業等を持つ。以下臨任）も不合格にしてしまった——こんな残酷な事実が、本会メンバーや教育ジャーナリスト・永野厚男さんが調査研究や取材するため出席した、被処分者の会が都内で開催した2回の集会等で、明らかになった。

都教委により都立美原高校の再任用教諭の雇い止め（2019年3月末の定年退職のため、2024年3月末まで働けるところ、2022年3月末で。詳細は「3 請願の根拠となる重要な情報」の『週刊新社会』2022年4月20日号の永野厚男さん執筆記事）に加え、臨時的任用教職員も不合格にされてしまった（詳細は「3 請願の根拠となる重要な情報」の『週刊新社会』2022年9月14日号の永野厚男さん記事）、その被害者は川村佐和さん。

川村さんは“君が代”不起立3回。2021年9月21日・22日開催の文化祭の担当教員として、生徒たちと一緒に夏休み前から校門アーチ作り等に取り組んでおられた。また平和学習を含む現代文、古典とも授業が分かり易いと生徒に好評だ。

こういう授業・校務分掌とも熱心で業績を上げている川村さんを、思想・良心・信教の自由に関わる問題を理由に、年金支給年齢での雇い止め後は、時間講師（非常勤で授業だけ持ち、担任や校務分掌は持てない。つまり生徒に接する時間が短い）でしか採用しない都教委には、多くの批判の声が寄せられている。

また、児童生徒や教職員に（結果的に保護者・来賓にも）“君が代”を強制する貴教委は、過去、南平小学校の校長による“君が代”ピアノ伴奏の“お願い”を断った教諭と、第七小学校の“君が代”不起立教諭を、都教委にチクリ、不当な戒告処分を發出させた“前歴”がある事実を記しておく。*特に南平小は、都教委が10.23通告と切り、4年も前に日野市教委が暴走した。*

2 請願事項

2-1 貴教委の教育委員はこれまで、「都教委に言ってくれ」と言って、本会の請願を不採択にする“理由”にしてきた。だが、教育委員なら誰でも知っている通り、監督権者は区市町村教委だが、いわゆる県費負担教職員の任命権者は都教委である。

「都教委に言ってくれ」という弁解は今回は通用しないので、“君が代”不起立や不伴奏という思想・良心・信教の自由に関わる問題を理由に、「再任用教諭や臨時的任用教職員の雇い止めや不合格」にしないよう、都教委に意見書を出すよう求める。

2-2 特に『週刊新社会』2022年9月14日号の報じる臨時的任用教職員の選考の要項の用紙について、『刑罰・処分歴』欄から『処分歴』を削除するか、元の『賞罰』欄に戻させるよう、働きかけてほしい。

2-3 「3 請願の根拠となる重要な情報」の『週刊金曜日』2010年4月23号「金曜アンテナ」欄の報じる、

♪ 君が代をメトロノームで！？ 都議「伴奏速すぎる」 都教委が校長に指導という、ロシアのような全体主義国ばりの都教委の誤った施策に対する、貴教委の見解を求める。

2-4 都議会でも明らかになった「猥褻(わいせつ)教員を5名も教壇に立たせているのに、“君が代”不起立教員を雇い止めにするのは狂っている、是正しなさい、と都教委に言っ

3 請願の根拠となる重要な情報

『週刊新社会』2022年4月20日号と9月14日号の永野厚男さん執筆記事は、後日メール送信する。『週刊金曜日』2010年4月23号「金曜アンテナ」欄掲載記事は電子版なので、以下にコピーする。

『週刊金曜日』2010年4月23号「金曜アンテナ」欄掲載記事

♪ 君が代をメトロノームで！？ 都議「伴奏速すぎる」 都教委が校長に指導

永野厚男（教育ライター）

都教育委員会が民主党の一都議の言うままに、二〇〇六年三月の卒業式でピアノ伴奏の速度まで点検、校長に指導し、その“改善”が現在も引き継がれている事実が、一六日までの取材で明らかになった。

中野区にある都立富士高校校長を今年三月

末、定年退職した藤井正俊氏は同校着任後、初めての卒業式（〇六年三月）で、「式後、ある都議から『（君が代の）ピアノ伴奏が速過ぎた』『教頭（現在は副校長）が壇上に上がる時、（正面の国旗に）一回敬礼を忘れた』と都教委に指摘があった」と、東京都公立高等学校長協会の機関紙『広報ニュース』三月一九日号に寄稿。

都教委から指導された藤井氏は、「メトロノームで（君が代の伴奏の）速さを検証するなど、ご迷惑をかけた。以後式典では慎重を期している」と告白している。

富士高校卒業生らへの取材によると、都教委に“苦情”を述べた都議は、中野区選出の吉田康一郎氏。

吉田氏は「外国人参政権の付与に反対する意見書提出の請願」の本会議採決時（今年三月三〇日、民主党などの反対で不採決）、トイレを理由に離席したため、四月五日、民主党執行部から「党として請願反対を確認したのに問題だ」として、役職停止三カ月の処分を受けている。

〇六年三月は、古賀俊昭都議（自民）の議会質問を機に、都教委が生徒への“君が代”起立・斉唱まで強制する新通達を出した時期。都教委が保守系都議と連携し、“君が代”伴奏の速度まで点検する、不当な介入の実態が露呈した。

※ ブログ『パワー・トゥ・ザ・ピープル!! パート2』2010/4/27も、
——君が代をメトロノームで！？ V日の丸・君が代関連ニュース（『週刊金曜日』2010/4/23金曜アンテナ）——
というタイトルで掲載。

報告事項第18号

令和4年第3回日野市議会定例会の報告

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年 第3回日野市議会定例会の報告

1. 会 期 9月1日(木)～9月28日(水) 28日間

2. 一般質問 質問者 23名(うち教育委員会関係 16名)
質問件数 47件(うち教育委員会関係 18件)
*教育委員会関係一般質問等要旨 **別表1**のとおり

3. 議 案 市長提出議案 37件(教育委員会に関するもの 2件)
議員提出議案 1件(教育委員会に関するもの 0件)

(1) 令和4年度日野市一般会計補正予算(第6号)(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
補正総額(歳入歳出)	5,033,893千円	266,099千円
予算総額(歳入歳出)	74,731,507千円	7,512,966千円

※教育費内訳 **別表2**のとおり

(2) 令和3年度日野市一般会計決算の認定について(認定)

4. 請願 3件(教育委員会に関するもの 0件)

5. 動議 2件(教育委員会に関するもの 0件)

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
伊東秀章 議員	一般質問	<p>【不登校について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における不登校者数と近年の推移 ・不登校者数が増加している原因は何か ・不登校予防策と不登校の児童・生徒への取組 	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の不登校児童・生徒数は令和元年度から令和3年度の3年間を比較すると増加傾向にあると言える。 ・文部科学省「不登校に関する調査研究協力者会議報告書」では「コロナ禍による生活環境の変化により、生活リズムが乱れやすい状況であったこと、学校生活において様々な制限がある中でうまく交友関係が築けない等、登校する意欲が湧きにくい状況にあった可能性」を指摘しており、市立小・中学校においても、コロナ禍の影響を受けたものであることが考えられる。しかし、不登校の要因については、一人一人異なるため、慎重に検証・分析をしていきたい。 ・事務局は、不登校の予防策として、「不登校が生じない魅力ある学校づくり」を行うよう、指導・助言を行っている。魅力ある学校実現のため、授業改善や、生活指導の能力を高めるため、職層に応じた各研修会の充実にも取り組んでいる。 ・市立小・中学校では「ふれあい月間」に合わせ、年間3回以上のアンケート調査を行い、児童・生徒が困っていることや不安なことなど、様々な状況を把握し、不登校についても、組織的な対応ができるよう、教員間での共通理解を図っている。 ・中学校5校では、不登校生徒の居場所づくりや登校支援を目的とした、校内登校支援教室を開設している。学校規模や施設の状況は学校ごとに異なっており、全ての学校で同様の取り組みを行うことは難しいと考える。教員が授業を担当しない時間を、校内登校支援教室での指導の時間に割いており、教員の負担は少なくないことが現状である。 ・校外における不登校児童・生徒への支援として、日野市立教育センター内に「わかば教室」を開設している。令和2年度はコロナ禍のため通室生の人数が減少に転じたが、令和3年度になると令和元年度と同程度の人数に戻っている。わかば教室は、長期間の欠席状況にある児童・生徒が安定した心理状態で過ごせる居場所として、様々な学びや体験の中から人との関わりを通して、社会性や自立心の育成を目指している。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
わたなべ三枝 議員	一般質問	<p>【子どもの貧困-お腹をすかせた子どもへの支援は急務！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お腹をすかせている子どもの把握及び解消に向けた取組について ・夏休みなどの給食の対応について 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもと保護者の生活実態調査」の結果、「朝食をいつも食べない」また「食事の満足度が低い」といった子どもたちがおり、経済的な困窮も原因の一つと考えられる。市長部局と連携して、「第2期子どもの貧困対策に関する基本方針」の施策を推進し、解消に向けた取組を進めていきたい。なお、学校では、給食を実施しており、子どもたちの育ちを支える重要な一食となっている。食の支援という観点からも、引き続き安定的な運用に努めていく。 ・学校給食を調理し提供するためには、栄養士による献立作成や食材発注、調理員による調理、教職員による喫食時の立会いなど、様々な対応が必要となる。特に、アレルギー対応は人命に関わるため、関係者全員で役割を分担し、組織的に事故防止に取り組んでいる。 ・夏休みの昼食提供については、平成28年度から30年度にかけて、一部学校にて2日間から5日間、実施した経験がある。実施した経験から、アレルギーなどの事故時の緊急対応に課題があると認識している。その他、給食調理室等のメンテナンスや学校の閉庁期間もあり、休業期間の全体を通じた昼食提供が難しいこと、食数の把握、集金、キャンセル対応等の現場負担が大きいことなどが課題としてある。また、無償提供の場合は、食材費等の予算確保も必要となる。 ・市教育委員会としては、学校単独での昼食提供の実施は難しいと認識しているので、学校給食室を使用した昼食提供にこだわらず、子どもの貧困に関わる関係各課と連携し、必要な子どもに必要な支援が届くよう協力、対応していきたい。
新井ともはる 議員	一般質問	<p>【保育は「量の確保」から「質の向上」が問われる時代へ、いよいよ始まる小学校に円滑に接続する「幼保小の連携」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野市は幼保小連携推進委員会にて様々な取組を行ってきたが、これまで積み上げてきたものを活用しながら、幼保小の連携をどのように実施していくのか。 	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市は全国に先駆けて、幼保小の連携を進めてきた。幼保小連携とは幼児教育と小学校教育とを滑らかにつなぐための取組であると認識している。幼稚園・保育園での学びが小学校でも生かされ、小学校教員が幼児教育への理解を一層深め、学びの連続性が、相互に確保されていることが重要であると考えている。 ・日野市には、公立、私立の幼稚園、保育園が合わせて54施設ある。幼児人口が減少していくなかで、量から質への転換がより求められており、各園の教育・保育方針を大切にしながら、小学校の教員と一緒に、日野市の未来を担う子どもたちに対し、より質の高い教育・保育を提供できるよう、教育委員会としても子ども部と連携して取り組んでいきたい。 ・連携については、行政だけでなく各施設とも連携を図れるように、市内公立・私立の保育園や幼稚園などからも話を聞きながら、今後の対応、体制について検討をすすめていく。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
窪田知子 議員	一般質問	【だれ一人取り残さない子ども支援について】 ・学習端末を活用した相談	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが信頼できる大人に安心して相談できるようにするために、気軽に相談できる人間関係を構築するようにしている。教員は子どもたちの細やかな心の動きを把握するとともに、日々の学習や学校生活を充実させることが求められている。 市立小・中学校では、ふれあい月間に合わせてアンケート調査を行い、子どもたちが困っていることや不安なことなど、様々な問題の把握に努めている。他にSOSの出し方に関する教育をとおして、悩みを抱えたときにどのように周囲に助けを求めたらよいかを子供たちに伝えている。加えて、不安や悩みを相談できる電話相談やネット相談の窓口一覧を全児童・生徒に紹介し、家庭や学校以外にも、相談できる大人はたくさんいるのだということを伝えている。 子どもたちの不安や悩みを捉えた際には、生活指導部会や校内委員会等で組織的に対応し、保護者や関係機関と連携を取りながら、早期の問題解決を図っている。 子どもたちが対面以外で気軽に相談できる窓口として、学習者用端末に、「TOKYOほっとメッセージチャンネル」につながるブックマークを設定している。「TOKYOほっとメッセージチャンネル」を活用することで、学校が対応できない場面や時間帯でも、子供たちは不安や悩みを相談することができきる。その他、「子どもの人権SOS eメール」など、オンラインで子供たちが気軽に相談できる様々な窓口について、児童・生徒に周知し、活用を進めていく。教員と児童・生徒の信頼関係構築を基盤とした上で、今後も学習者用端末での相談を有効に活用するなど、様々な方法で子どもたちが相談したいときに相談できる体制を整えていく。
佐藤琢磨 議員	一般質問	【子どもの居場所】 ・学校には来られるが、教室や担任教諭が嫌で、学校に居場所がないと感じている生徒への校内の居場所づくりについて	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> 学校には登校できるが、教室等に居場所がないと感じている生徒への居場所づくりのため、校内登校支援教室を開設している学校がある。令和2年度に三沢中学校が校内に「がんばルーム」を開設した。生徒への支援は、教員と家庭と子供の支援員、学力向上支援者が担っている。 校内支援教室設置の取組は、市内他校にも、広がっているが、学校規模や施設の状況は学校ごとに異なっており、全ての学校で同様の取組を行うことは難しいと考える。学校によっては、授業を担当しない時間を、校内登校支援教室での指導の時間に割いており、教員の負担は少なくない。 事務局は、学力向上支援者や家庭と子供の支援員等の配置等で、各校を支援しているが、今後も学校や児童・生徒一人一人の状況に応じた支援を着実にやっていく。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表 1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
岡田じゅん子 議員	一般質問	<p>【外国につながる子どもたちへ、きめ細やかな学習支援を！～多文化共生のため、必要とされる視点とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校における、日本語教育を必要としているお子さんの実態をどのように把握し、日本語指導を行っているのか。また、日本語による日常会話は可能なお子さんの実態把握と対応についても問う。 ・都の要綱に沿った、日本語学級の必要性について教育委員会の認識を問う。 ・子どもたちの日本語教育に必要な視点とは。教育委員会の認識を問う。 	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、市立小・中学校に入学や転入、編入学した外国籍及び帰国した児童・生徒の中で日本語の理解が十分でない者に対して、日本語での基本的な生活習慣を理解させることを目的に、通訳講師派遣を行っている。通訳講師は、児童・生徒の実態に応じて、通訳や読み書き等の学習補助、担任と保護者との連絡での通訳等を行っている。また、日常生活で使う日本語表現等のサバイバル日本語、発音、文字・表記、文法などの日本語指導も行っている。 ・日本語による日常会話が可能な児童・生徒の実態把握については、各学校が行っており、学習の支援が必要な場合は、担任が個別に対応をしたり、学力向上支援者を活用しながら対応したりしている。 ・東京都教育委員会の日本語学級設置要綱の中に、設置条件として、「新たに設置しようとする日本語学級に、児童・生徒が10名以上通級する場合」と記載がある。現在、設置条件である児童・生徒の人数がそれぞれ10名に達していないという現状である。また、通級時の安全確保や在籍学級での教科等の学習時間の減少などの課題がある。現段階では、日本語学級の設置については、考えにくいものと考えている。 ・日本語指導が必要な児童・生徒や日本語による日常会話はできていても学習に必要な日本語の習得が十分ではない児童・生徒が、安心して学校生活を送り、学習を進めていくことができるよう、きめ細やかな支援を行っていく必要がある。また、必要に応じて日野市国際交流協会等外部機関や地域の方々の協力を得ながら実態を丁寧に把握し、通訳講師や学力向上支援者等と連携した支援を行っていく。他の児童・生徒についても、日本語指導が必要な児童・生徒と共に学ぶことを通じて、互いの長所や特性を認め、広い視野をもって異文化を理解し共に生きていこうとする態度を育てていく。
島谷広則 議員	一般質問	<p>公共施設・インフラ「維持管理・修繕」の現状と、予防保全強化など今後の対応を問う。 学校におけるエアコンの維持管理について</p>	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校校舎のエアコンは、昭和50年頃から保健室への整備を開始し、図書室や音楽室などへの整備を順次行い、平成24年度までに、学校運営において通常使用される普通教室や特別教室への整備を完了した。 ・学校教職員や専門業者により、法令に基づいた定期点検を適切に実施している。 ・点検結果や使用期間に応じ、また、「学校施設の長寿命化及び改築等の整備に関する中長期計画」に基づく大規模工事の実施と併せ、順次、計画的な更新を図っている。また、予測不能な場合も想定されるため、緊急的な修繕についても迅速な対応が図れるよう努めている。 ・今後の対応については、引き続き、特定財源の確保やリースによる予算の平準化など、様々な事業手法を検討し、順次計画的に空調設備機器の更新を図る。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
田原茂 議員	一般質問	<p>【ひきこもり、不登校、ヤングケアラー問題のその後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の状況、コロナ禍での不登校児童・生徒の状況について ・不登校児童・生徒、コロナ禍での不登校児童・生徒へのケア体制と学習支援について ・がんばルームの現況について ・柔軟なカリキュラムを組める「不登校特例校」の設置について 	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校における不登校児童・生徒数は、令和2年度から3年度にかけて増えている。不登校の理由は、心理的要因や環境的要因など様々だが、コロナ禍の影響についても、今後慎重に分析し、支援方法を検討していく。新型コロナウイルス感染症への不安のため、登校できない児童・生徒がいることも確認している。 ・様々な事情により登校が難しい状況であっても、児童・生徒の多くは、学びたい、将来に向かって進みたいという気持ちをもっている。子供たちの思いに対応するために、スクールソーシャルワーカーやわかば教室などの関係機関と連携し、個に応じた支援を進めている。 ・市立小・中学校では、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症への不安から登校しなかった児童などに対して、オンラインを活用した学習支援を始めており、令和3年度から一人1台の学習者用端末が全校に整備されたことを受け、学習者用端末を活用した不登校の児童・生徒に対する心理的なケアや学習支援を個別に行いやすくなった。放課後の時間に、担任教諭と児童・生徒とが、オンライン上で対話を行う機会を設ける取組や、オンラインで授業を配信し、授業への参加を段階的に促す取組など、支援方法は一人一人の状況に応じて異なっている。また、本年度、市内全校に導入した学習者用端末用学習支援ソフトを活用し、ドリル学習に取り組みさせている事例もある。 ・わかば教室では、令和2年度に引き続き、集団で学ぶことが苦手な生徒が、わかば教室の別の教室から学習者用端末を活用し、オンラインで授業に参加する試みも行っている。また、児童・生徒が学習者用端末を自宅に持ち帰り、わかば教室担当者や児童・生徒とのつながりを、オンライン上でも保ち続けるようにするという試みも行っている。 ・がんばルームは、学校に登校したくても登校できない生徒たちのため、三沢中学校が、いつでも登校できる居場所を提供することを目的として、令和2年度からスタートした。いつでも登校することができ、自分のペースで過ごし、生徒と保護者、教員と一緒に目標を立てることができる。がんばルームの生徒の支援は、教員と家庭と子供の支援員、学力向上支援者が担っている。 ・市内他校においては、三沢中学校のがんばルームと同様の取組が広がっている。学校規模や施設の状況は学校ごとに異なっており、全ての学校で同様の取組を行うことは難しいと考えている。教員は授業を担当しない時間を、校内登校支援教室での指導時間に割いており、教員の負担は少なくない。 ・事務局としては、教員の負担や財源などの課題を解決する必要があることを認識しているが、いつでも登校できる居場所づくりを希望する学校に対して、支援を継続していく。 ・不登校特例校については、教育課程の編成の他、人員確保や施設整備などの課題もあり、現段階で設置の計画はしていないが、他の自治体の設置校を参考にしながら、調査・研究をしていきたい。現時点では、スクールソーシャルワーカーの活用や、わかば教室での支援、がんばルームをはじめとした校内登校支援教室の試みなど、一人一人の状況に応じた支援を着実にやっていく。
有賀精一 議員	一般質問	<p>安倍元首相の「国葬」について、反対の意見が多く聞かれる中で、日野市はどのように対応するのか？市長部局、教育部局それぞれに問う。</p>	教育部長	<p>これまでも国主催の式典・行事等が行われる場合は、まず、国から地方自治体に半旗掲揚などの協力依頼の文書が発出されており、日野市ではその依頼を受けてから対応を協議して決めている。</p> <p>今回の「国葬」について、政府は「国民1人ひとりに弔意を求めるものではない」と表明し、地方公共団体に対しても弔意表明の協力依頼を行わないとしている。これを踏まえ、現在のところ「国葬」に対応する予定はない。</p>

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
中嶋良樹 議員	一般質問	<p>【スタジアム・アリーナ構想の実現を！～東京2020大会のレガシーを発展～】 ・学校レガシー2020の取組について</p>	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校では、オリンピック・パラリンピック教育で実施してきた「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」などの資質の育成と関連付けて発展させてきた活動、学校の特色としてこれからも継続させる活動を、「学校2020レガシー」として設定し、教育課程に位置付け共生社会の実現に向けた取り組みを行っている。 ・小学校では日野レッドドルフィンズによるタグラグビー教室や日野市空手道連盟に所属の指導者による空手道体験教室を全校で実施している。中学校では、近隣の企業や大学と連携し、アスリートを講師として招聘してダンスの指導や講演会などを行っている。また、パラリンピックに出場したアスリートを招聘し、選手の体験談や競技体験を通して、障害者理解やインクルーシブ教育について考える授業を行っている。 ・学校では、東京2020大会のレガシーを継承し、共生社会の実現やスポーツ推進の取組を進めていく。
谷和彦 議員	一般質問	<p>【SDGsが日野市を変える-身近なところから脱炭素・気候変動一無駄を解消】 ・学校教育のさらなる農業体験を、災害井戸と教育の連携</p>	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育での農業体験は、総合的な学習の時間などで取り組んでいる。総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指しており、各学校が創意工夫を凝らした教育課程を編成している。 ・小学校では、「米作り」を農業体験として取り入れている学校が多くある。例えば、学校の中にある水田で、地域の方と一緒に稲を栽培し、米の収穫を行っている。児童は、稲の栽培の中で「米作り」についての課題を追究し、資料にまとめるなどの学習を進めている。他にも、実際に農家の畑に行き、農業体験をしている学校もある。 ・農業体験を通して、子どもたちは地域の方とコミュニケーションを取りながら、地域によりよく関わっていこうとする態度を育てている。 ・防災兼用農業用井戸（平常時には農業用の水源として活用し、災害時には一時避難場所と併せて、近隣住民への生活水の供給を目的としている）は、子どもたちが身近に防災への備えについて考えるきっかけとなる教材であると考えている。防災兼用農業用井戸について、都市農業振興課が作成している設置場所一覧を資料として活用できるよう各校に周知し、社会科や総合的な活動の時間などの教育活動に生かしていけるようにしていく。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
谷和彦 議員	一般質問	学校における樹木の点検について問う	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教職員による日常的な点検により、枯れ木や折れ枝などの異常が見られた樹木について、低木は用務員、中・高木は業者により剪定等を行っている。 ・令和2年度からは樹木安全対策事業を開始し、毎年、市職員が点検を実施し、倒木の可能性のある老木や枯れている樹木について伐採を行っている。 ・伐根により植樹が可能な空き地が発生した場合に、苗木を植樹し更新を図っている。 ・ナラ枯れの発生も確認しており、伐採の対象となる樹木の増加も考えられる。 ・今後も市職員の点検を継続し、適切な維持管理を実施していく。
馬場賢司 議員	一般質問	<ul style="list-style-type: none"> ・日野第一小学校老朽化対策の現状の方向性を問う ・今年度から検討を始めた「新たな学校づくり」の進捗状況を問う ・日野第一小学校と周辺公共施設との複合化の認識を問う ・今後の検討の方向性を問う 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会では、平成28年度に『学校施設の長寿命化及び改築等の整備に関する中長期計画』を策定した。 ・令和2年度には、この中長期計画に基づく実施方針を策定し、令和3年度から17年度までの15年間の年次スケジュールと想定事業費の試算を行い、日野第一小学校については、令和10年度の事業着手を目標として、全面改築に向けた検討を進めている。 ・令和4年3月に文部科学省より示された「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の最終報告を受け、令和4年度には市内小中学校における学校施設の現状や日野市を取り巻く教育環境全般について基礎調査を行い、実態把握の上、課題整理と分析を進め、子どもたちにとってより良い学習空間の在り方を検討する。 ・公共施設の複合化について、日野第一小学校の周辺においては、ひの図書館、中央公民館をはじめとした多くの公共施設が立地しており、同校の改築にあわせ、教育課程や教育活動との相乗効果などを検証しながら、その実現可能性につき検討を重ねていく。 ・今後、令和5年度から6年度には学識経験者や市民委員等を構成員とした委員会形式の場において、日野市の学校施設及び学習空間等において求められる具体的な在り方の検討を進め、この検討結果について、令和6年度を目途として、（仮称）「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」にとりまとめる。 ・日野第一小学校の改築を契機に、新しい学校施設の在り方について、地域から求められる公共施設としてのニーズ、そして図書館や公民館との複合化など、学校関係者や地域とコミュニケーションを取りながら検討を行う。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
鈴木洋子 議員	一般質問	【苦境の親と子への支援を厚く、最優先に】 ・スクールカウンセラーの役割と業務内容の実効性の検証について	教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会では、東京都教育委員会から派遣されるスクールカウンセラーに加え、市独自で学校派遣心理士を市内全小学校と一部の中学校に派遣している。スクールカウンセラー・学校派遣心理士は、友だち関係、いじめ、不登校、学習面、家族関係など学校生活上や生活面の悩みについて、児童・生徒及びその保護者から相談を受け、心の専門家として専門的な視点から助言を行っている。 ・特別な支援の必要な児童・生徒への支援方法について、学校生活での様子を観察しながら、特性に応じたかかわり方や、集団場面の環境調整について、教職員に助言を行っている。管理職や特別支援教育コーディネーター、担任と密に連携を取り、具体的な支援策を提案し、組織的な支援を実施することにより、児童・生徒の心理的な安定や適切な支援を受けることが実現できるようにしている。 ・スクールカウンセラー、学校派遣心理士は直接的、間接的な両面から児童・生徒の心身の安定に大きく貢献している。
島谷広則 委員	民生文教委員会	子供・長寿・居場所区市町村包括事業の担当課が教育委員会であることについて	統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は地域における子供たちのスポーツ環境の整備を目的とするものであるため、教育委員会が中心となって行っている。 ・地域資源の活用、市営施設の活用を考えれば、文化スポーツ課との連携は必須であり、現在打ち合わせを重ねているところである。加えて生涯学習課や子育て課、企画経営課等、庁内他課とも連携を図りながら進めていく。
須崎貴寛 委員	一般会計決算特別委員会	GIGAスクール構想の推進について ・小金井市と連携したきっかけは？ ・アンケートの内容は？小金井市と日野市で回答に差はあったか ・どのような成果があったか ・小金井市との連携事業における情報モラルについて、保護者への情報発信はどのようなものがあったか。 ・持ち帰りの実施状況は ・オンラインわかばの検討状況は？ ・小金井市以外に連携している事例はあるか。他市とも連携し横展開してほしい。	教育部参事（ICT活用教育推進室長）	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市とは同じ端末環境（クロームブック）であったことで共同で検討しやすいと考えた。 ・アンケート項目については今手元に資料がないが、教員向けセミナーを実施しアンケート結果を活用して次年度以降へ実施計画に反映させるようにした。 ・モデル授業を開催し両市教職員への公開を行い、実際に活用している事例を見ることにより実授業での活用が図られた。 ・学校ホームでネットモラル教材を配信し、家庭でも取り組むよう周知している。 ・夏休み持ち帰り全校実施と昨年度2学期当初の分散登校時にオンラインを活用した。 ・既にわかば教室では学習者用端末の活用が進んでおり、検討中というよりは実施中である。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
中野あきと 委員	一般会計決算特別委員会	学校司書が令和元年度に3校に配置されたまま、全校に展開されていない現状について	統括指導主事 教育指導担当参事	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で、学校司書の活用についての研究を進めることが難しかった。 ・令和4・5年度に3校を学校図書館の活用について研究奨励校に指定しており、学習・情報センターとしての活用実績を積み上げた後、全校配置を目指していく。
白井なおこ 委員	一般会計決算特別委員会	公立幼稚園に係る適正規模・適正配置等検討委員会への諮問内容を、保護者等へ情報提供することについて	学校課長	<p>第四幼稚園の閉園については、令和3年11月の適正規模・適正配置等検討委員会からの答申があって以降、公立幼稚園への意見徴収や、今後の幼児教育のあり方について検討の会議体の準備等を行ってきた。</p> <p>令和4年8月に教育委員会にて閉園に係る基本方針・閉園計画の素案を策定し、9月には保護者説明会、ハブコメ開始、10月には住民説明会を予定している。これらの手続きで意見をいただきつつ、教育委員会にて基本方針・閉園計画を決定していく。</p>
白井なおこ 委員	一般会計決算特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第四幼稚園の跡地活用の考えを問う ・第五幼稚園の解体時において、地域の意見や要望に対する対応を問う 	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・第四幼稚園の跡地活用については、教育委員会における検討と併せ、市長部局と連携しながら、公共施設等総合管理計画の方針に基づき、市全体で検討を行っている。 ・第五幼稚園の解体に際しては、樹木やモニュメントについての保存要望があり、検討を行った結果、樹木については老朽化のため除却を行い、モニュメントについては、卒園児の卒園記念制作による絵画を、隣接する日野第八小学校の体育倉庫の壁面を利用し、掲示を行っている。
新井ともはる 委員	一般会計決算特別委員会	<p>GIGAスクール環境整備・活用事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルの成果とは ・R3事業の課題と、その解決の成果 ・広域連携事業における情報モラル研修・セミナーの内容を問う ・R3アンケート結果においてICT支援員の常駐要望があった。それに対する取り組みとは？ ・夏休み持ち帰りの課題。モバイルWiFiを平常時自由に使えるよう制限しないでほしい。 ・今の課題認識と今後の展望を問う 	教育部参事（ICT活用教育推進室長）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の決算額6千万に対し2千5百万に圧縮することができた。これはICT支援員の全国的な認知度が上がり、対応可能な事業者が増えたことが大きい ・アンケートを実施し、教員ニーズの把握に努め、校内研修会開催などは時間の確保が難しかったため、オンデマンドのミニ研修などに置き換えた。 ・インターネット必須のクラウド中心の環境では情報モラル教育が重要と考え、専門家を招いた教員向け情報モラルセミナー、SNSトラブルやパスワードの重要性を学ぶモデル授業を行った。 ・常駐要望に対しては「オンライン支援」を新たに設けた。Googleサイトを活用し活用情報を発信し、教員が自分で調べて解決できるようにした。 ・モバイルWiFiは学校裁量で貸し出してよいとしている。 ・ICTはツールであり、教員の負担軽減になるよう取り組んでいく。また学校間・教員間格差が広がらないよう支援する。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
わたなべ三枝 委員	一般会計決算 特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育館のエアコン整備計画について、児童・生徒の安全確保の観点から、令和7年度までの計画期間を前倒し、一気に進めるべきと考えるが、市の認識を問う 	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から7年度にかけて、小学校体育館のエアコン整備を計画的に推進していく。 ・実施校を複数年に分け、工事による教育活動や避難所運営への影響について、軽減を図る。 ・トイレ改修や豊田小学校大規模改造事業などの大規模な事業も併行しているため、国や都の補助金の動向なども踏まえ、市の財政負担の平準化を図りながら、計画的に整備を進める。

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
須崎寛 議員	一般質問	旧高幡台小学校の活用状況と内部機能移転について	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市では浅川を挟んで南北に公民館が1か所ずつ開設されているが、中央公民館高幡台分室は、南側に居住する方々の学びの拠点としての役割を果たしてきた。 ・令和3年度の施設概要は、合計8室を有しており、年間では延べ14,143人の方が利用している。 ・公民館は、あらゆる世代の方が寄り添いながら、地域の活性化を育てていけるような施設としての機能を持ちつつ、活動を続けられる工夫を検討していく。
池田としえ 議員	一般質問	<p>○図書館の充実と各施設でWi-Fi利用できるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次図書館基本計画の検証と第4次計画の基本方針と重点施策に関して具体策を ・コロナ禍における「本と人を繋ぎ」「人と人を繋ぎ」「人と地域を繋ぐ」がどう具現化したか、数字で示す ・図書館や他の施設でのWi-Fi利用の実態と増設への取り組み、電源提供に関して ・既存図書館施設の更なる充実と空白地域へのアプローチ 	教育部参事 (生涯学習担当)	<p>【第3次図書館基本計画の検証と第4次計画の基本方針、重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画は地域を重視し、職員が地域の出でいく意識が強くなったことは成果であるが、図書館の事業や活動がまだ多くの市民に知られていないことが反省点である。 ・第4次計画を令和4年度に策定する。地域とのつながりを持った図書館活動に継続して取り組んでいく。広報・PRは、LINEやツイッターなどの今の時代だからこそその親しみやすい新しい技術を活用した、多様な発信の手段を探っていく。 <p>【コロナ禍における具現化した取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの絵本3冊を手提げ袋に入れた「絵本バック」を対象年齢別・ジャンル別に用意し、短時間の滞在でも選びやすくしたところ、令和3年度は1,212回利用された。 ・視覚障害者の対面朗読サービスに令和3年度からオンラインを導入し、来館が困難な方にも朗読サービスを利用していただけるようになった。病気や障害で来館が困難な方には職員やボランティアが本を宅配し、令和3年度は37人に325回配達し、1,437冊の利用があった。 <p>【Wi-Fiと電源の提供について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館は、市政図書室を除く6館でFree Wi-Fiが利用できる。館内で利用できることをお知らせするステッカーを玄関などに掲示、説明書を窓口常備し、初めて利用される方にもわかりやすい案内を心がけている。 ・電源の提供は、市政図書室を除く6館に合計12席の電源席を設置している。 ・他の施設は、中央公民館と高幡台分室、新選組のふるさと歴史館、日野宿交流館、産業連携センターPlanT、南平体育館でFree Wi-Fiが利用できる。交流センター、地区センター、生活・保健センター、東部会館には設置していないが、利用者向けに地域協働課に貸出用ルーターを2台用意している。 ・これからも市民の多様な学びの環境整備に取り組んでいく。 <p>【図書館施設の充実について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館と6つの分館、移動図書館のネットワークにより全域サービスを行っている。どの図書館でも誰もが同じように利用できるよう全館サービス体制を取り、移動図書館ひまわり号が丘陵地など21か所の駐車場を2週間に1回巡回し、空白地域もカバーしている。 ・利用しやすい図書館施設の充実に取り組むと同時に、施設の複合化・多機能化等も検討していく。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
奥野りん子 議員	一般質問	青少年事業「わくわく学習術」について 【問題の要旨】 1. イベントの概要（参加者） ①対象年齢は？ 4年生から6年生 ②募集人員は？ 20名 ③参加人数は？ 9名 ④子ども以外の参加は？ 引率者（市職員）4人 2. イベントに関して、市民からどのような声があったか？ 今回の企画から何を教訓とすべきか？	教育部参事 （生涯学習担当）	対象は小学4年生から6年生とし、定員20名のところ9名の児童の応募があり、引率も含め合計13名が参加した。 広報での周知後、合計20件ほどご意見をいただいたが、掲載項目に「自衛隊のことを学びましょう」とだけ記載したために、事業内容が正しく伝わらなかったことが原因であると考えている。 ・立川市にある東京消防庁の立川防災館での防災体験と併せて、日頃から防災訓練でも関わりがあり、台風19号の際にもリエソンの派遣を受けた陸上自衛隊の、立川駐屯地で実際に災害救助に携わった方の生の声を聞くことで、「災害」に対する知見を広めてもらいたいと考え企画したものだ。 ・今後の事業実施にあたっては、市民の皆様にご理解が生じないよう周知内容の検証を改めて徹底し、今後の社会教育事業の更なる充実に努めていきたいと考えている。
有賀精一 議員	一般質問	青少年事業「わくわく学習術」について 【問題の要旨】 1. 「広報ひの」掲載について 2. 企画への市民からの声について 3. 誤った記事の訂正がなぜ遅れたのか 4. 企画までのプロセスを明らかに 5. 退職自衛官の関わり	教育部参事 （生涯学習担当）	・市民に対して参加募集をする手段として、「広報ひの」を活用しているが、当該事業の掲載内容である「自衛隊のことを学びましょう」という表現については、広報ひのの作成の過程で指摘事項とはならなかった。 ・掲載にあたって、事業内容が正しく伝わる表現となるよう、編集や校正時などにおいて、より慎重を期し、より分かりやすく、伝わりやすい表現となるよう、引き続き広報部門と協力をしていく。 ・今後は、ホームページへの掲載方法についても、市民の皆様にとって分かりやすく、伝わりやすい内容をお知らせできるよう、十分配慮して作成に努めていく。 ・令和4年度は、8月4日～5日の2日間で実施した。1日目はアスリート講座と工作講座を、2日目は「災害」をテーマに東京消防庁の立川防災館での防災体験と併せ、日頃から防災訓練でも関わりがあり、台風19号の際にもリエソンの派遣を受けた陸上自衛隊の、立川駐屯地を学習の場として企画した。 ・災害時には、様々な職業の方が活躍されているが、実際に災害救助に携わった方の生の声を聞くことで、「災害」に対する知見を広めていただけたと考え、企画したものである。 ・質問いただいた退職自衛官である防災安全課所属の危機管理専門官については、本事業の企画には、一切関わってはいない。
馬場賢司 議員	一般質問	日野第一小学校と周辺公共施設との複合化の認識について	教育部参事 （生涯学習担当）	・公民館は長年にわたり地域の社会教育の中核として、地域の実状に応じた多様な学習機会を提供し、住民の生きがいづくりや交流、文化の向上、地域コミュニティの形成に大きな役割を果たしてきた。 ・公民館は現在大きな課題を三点抱えている。一点目は時代の移り変わりとともに変化する市民の暮らしとそこに生まれた新たなニーズに対応していくこと。二点目は子どもたちや学校の先生方と地域住民・地域団体をつなぎ、その子育て、地域教育を支援すること。三点目は開設から56年経過した中央公民館を含めた施設の老朽化への対応となる。これらの課題を解決していく一つの手段として、社会教育施設と学校施設の複合化という選択肢があると認識している。 ・今後は、先進事例を踏まえた課題等についても、より具体的に関係各課との調整が必要となり、公民館としての機能をより充実できるよう、丁寧に進めていく。 ・図書館が学校との複合施設に入るには、解決しなければならない課題もある。不特定多数の方が入館する図書館と小学校との導線をどう分けるか。学校図書館との関係も、公共図書館と学校図書館は設置根拠となる法、設置目的とも異なる。こういった課題を一つ一つ検討していきたい。 ・日野図書館も、施設の老朽化や耐震化、バリアフリー化が課題となっている。日野第一小学校等の周辺施設との複合化・多機能化について、丁寧に進めていく。

令和 4 年 第 3 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
奥野りん子 委員	一般会計 決算特別 委員会	旧統一教会と関連団体が出版した本や雑誌 を図書館で所蔵しているか	図書館長	<ul style="list-style-type: none"> ・旧統一教会の現在の名称である「世界平和統一家庭連合」及び旧名称「世界基督教統一神 霊協会」の出版物は、図書館では所蔵していない。関連団体については、報道等によっても 表向きの名称だけでは関連があると判断することは困難な状況。
池田としえ 議員	議案審査報告 (一般会計決 算特別委員 会)	青少年事業「わくわく学習術」について ・令和3年度の事業内容は？ ・令和4年度事業（自衛隊）において、子 どもたちがどう学んだのか、どのように評 価しているのか？	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の「わくわく学習術」は、夏休み期間を利用して、普段の学校授業とは違った視点や方法で 学習への関心を高めることを目的に実施。 ・令和3年度は、「ポッチャを体験しよう！」などを実施した。 ・令和4年度は、消防庁立川防災館では消火器操作等の体験学習により「自助と共助」について学 び、自衛隊立川駐屯地では、人命救助や台風対応などの座学や、消防車の放水訓練の見学などにより 「公助」について学んだ。 ・災害時には様々な方が活動していることを学び、知見を広めていただけたと考えている。 ・広報等に事業内容を掲載する際には、市民に伝わりやすい内容をお知らせできるよう、十分配慮す る。 ・今回の担当部局の趣旨とは、また、違った意見があるということも踏まえて取り組んでいく。 ・本事業に様々な意見をいただいた。今後の社会教育事業の更なる充実に向けていく。

■令和4年度 日野市一般会計補正予算（第6号）

別表2

教育費（歳出）

単位：千円

	補正前の額	補正額	合計	主な内容
教育総務費	2,269,812	18,395	2,288,207	
事務局費	677,826	1	677,827	庶務課経費経費 負担金、補助及び交付金 東京都教職員互助会負担金 1
教育指導費	253,142	9,420	262,562	学校体育施設等を拠点としたスポーツを楽しむ子ども・子育て支援事業 経費 委託料 学校体育施設等を拠点としたスポーツ推進事業業務委託料 8,700 他
教育センター費	63,031	1,737	64,768	教育センター施設管理経費 需用費 電気料 1,580 他
放課後子ども育成費	1,053,307	7,237	1,060,544	※子育て課
小学校費	1,782,466	110,030	1,892,496	
学校管理費	541,488	116,530	658,018	学校施設管理経費 需要費 電気料 84,283 他
学校保健給食費	809,107	▲ 6,500	802,607	※職員課
中学校費	865,054	64,112	929,166	
学校管理費	265,329	64,072	329,401	学校施設管理経費 需用費 電気料 53,312 他
教育振興費	213,677	40	213,717	※職員課
幼稚園費	873,658	23,778	897,436	
幼稚園費	161,180	22,278	183,458	市立幼稚園感染症対策経費 需用費 トイレほか修繕料 22,153 他
幼稚園保健費	2,614	1,500	4,114	市立幼稚園保健経費 需用費 消毒液ほか 1,500
社会教育費	1,149,160	49,459	1,198,619	
郷土資料館費	42,818	30,295	73,113	※職員課
公民館費	79,450	15,282	94,732	中央公民館運営経費 需用費 電気料 2,782 他
図書館費	748,062	▲ 767	747,295	平山季重ふれあい館管理経費 需用費 電気料 4,119 他
文化振興費	128,310	4,649	132,959	※文化スポーツ課
体育費	306,717	325	307,042	補正無し
市民グラウンド費	60,864	325	61,189	※文化スポーツ課
教育費計	7,246,867	266,099	7,512,966	

報告事項第19号

要綱の制定及び改廃の報告（令和4年7月～令和4年9月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

要綱制定改廃一覧(令和4年7月～令和4年9月)

NO	要綱の名称	適用日	制定・改廃の内容
1	日野市特別支援教育推進計画策定委員会設置要綱	令和4年6月27日	<p>【新規制定】</p> <p>令和4年度は第6次日野市特別支援教育推進計画の策定年度であり、今までの要綱は第5次日野市特別支援教育推進計画策定委員会設置要綱であったため、新たに第6次策定委員会を設置するため、制定した。</p>
2	日野市学校給食（食材）費補助金交付要綱	令和4年7月4日	<p>【新規制定】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、物価高騰による影響等を軽減するため、補助を行い、給食事業の円滑なる運営を図るとともに、保護者等負担を軽減することを目的に制定した。</p>
3	日野市“いのち”のプロジェクト事業補助金交付要綱	令和4年8月1日	<p>【新規制定】</p> <p>保護者、学校、教育委員会の三者が一体となり、子供たちが“いのち”を感じ、“いのち”を伝え合い、生きる喜びあふれる明日へ向かっていくため、子供たちを中心に“いのち”について考え、発信することを目的とする“いのち”のプロジェクト実行委員会の行う事業について補助金を交付するために必要な事項を定めることを目的として、制定した。</p>

報告事項第20号

令和4年度就学援助申請者数及び認定者数（令和4年4月～令和4年6月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年度 就学援助申請者数及び認定者数

令和4年4月～6月申請分

(単位：人)

	申請者数			認定者数						否認定者数		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
4月	969	540	1509	65	40	105	821	469	1290	83	31	114
5月												
6月	13	8	21	0	0	0	13	6	19	0	2	2
合計	982	548	1530	65	40	105	834	475	1309	83	33	116

※平成29年度から4月～5月を当初受付期間にしています。

参考（過年度データ：各年度4月～6月申請分）

	申請者数			認定者数						否認定者数		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
令和3年度	1042	618	1660	63	47	110	922	537	1459	57	34	91
令和2年度	986	581	1567	67	38	105	840	488	1328	79	55	134
令和元年度	977	605	1582	54	43	97	847	519	1366	76	43	119
平成30年度	996	649	1645	50	39	89	878	569	1447	68	41	109

報告事項第21号

令和4年度日野市高校生奨学金の申請者数及び決定者数

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年度 日野市高校生奨学金申請者数及び決定者数

【申請書配布期間】 令和4年6月1日(水)～6月30日(木)

【申請受付期間】 令和4年6月10日(金)～6月30日(木)

(単位：人)

	申請者数	最終決定者数	認定	非認定		
				所得制限を超過した者	選考基準に満たない者	計
1年生	68	64	64	4	0	4
2年生	49	46	46	3	0	3
3年生	58	51	51	7	0	7
4年生以上	1	1	1	0	0	0
計	176	162	162	14	0	14

参考 (過年度データ)

	申請者数	最終決定者数	認定	非認定		
				所得制限を超過した者	選考基準に満たない者	計
令和3年度	187	178	178	9	0	9
令和2年度	182	171	171	11	0	11
令和元年度	204	192	192	12	0	12
平成30年度	212	199	199	13	0	13

報告事項第22号

行政情報の公開請求

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

行政情報の公開請求

	請求日	決定日	請求件名	決定内容
1	9月15日	9月29日	別紙の2022年度教委の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書のP11~13の中の当方からの請求する文書	全部公開及び 非公開及び 不存在

報告事項第23号

令和5年度入学「選べる学校制度」希望調査集計結果（小学校）

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和5年度入学「選べる学校制度」希望調査集計結果

令和4年8月29日現在

小学校

学校名	学区内人口	希望増	希望減	入学希望者	定員
1 一小	75	13	24	64	102
2 豊田小	156	23	15	164	170
3 三小	66	7	18	55	68
4 四小	117	7	15	109	136
5 五小	126	31	27	130	136
6 六小	141	15	9	147	170
7 潤徳小	99	34	4	129	136
8 平山小	117	9	6	120	136
9 八小	91	10	4	97	102
10 滝合小	61	1	9	53	68
11 七小	119	10	12	117	136
12 南平小	97	3	14	86	102
13 旭が丘小	78	8	3	83	102
14 東光寺小	84	2	16	70	102
15 仲田小	68	22	6	84	102
16 夢が丘小	51	2	6	47	68
17 七生緑小	60	2	11	51	68
合計	1,606	199	199	1,606	-

報告事項第24号

日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和4年4月～令和4年9月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

No.	実施団体名	事業名	目的・内容	実施場所	実施日(開始～終了)		共催・後援	承認日
1	一般社団法人 海外国内学校教育支援協会	進学進路相談会	学校情報を一般の小中高生と保護者に提供する。	ホテルエミシア東京立川2階3階	令和4年5月1日	令和4年5月1日	後援	令和4年4月19日
2	日野市	第60回 日野市民体育大会	市民の体力向上を図り、日頃の練習成果を発揮する場を提供する。	市民陸上競技場、市民の森ふれあいホール、市内野球場 他	令和4年4月3日	令和5年3月31日	後援	令和4年4月19日
3	一般社団法人日野市体育協会	令和4年度 東京都ジュニア育成地域推進事業	①スポーツを地域に普及させる。 ②選手強化を図る。	市民陸上競技場、市民の森ふれあいホール他	令和4年4月1日	令和5年3月31日	後援	令和4年4月19日
4	中央大学(共催:中央大学学生会日野支部)	中央大学学術講演会	学術講演会	中央福祉センター	令和4年6月19日	令和4年6月19日	後援	令和4年4月19日
5	株式会社 中広	小学生のための「お仕事ノート」	地域の産業、企業を紹介する冊子を作成することで、小学生自らが生活する地域を知りながら、未来を描くキャリア教育をアシストする。	日野市内 小学校、義務教育学校	令和4年6月1日	令和5年3月31日	後援	令和4年4月27日
6	令和4年度多摩・島しょ子ども体験塾日野市・八王子市共同事業実行委員会	トイ・トイ・オーケストラ!	日野市・八王子市両市の子どもたちへ、一流のフルオーケストラ(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団)による大規模で本格的な演奏を肌で感じる機会を設け、子どもの心に大きな感動と夢を与え、豊かな感性を育み、得難い経験とする。	J:COMホール八王子	令和4年8月19日	令和4年8月19日	後援	令和4年4月27日
7	劇団「ひの」	児童劇 車のいろは空のいろ	演劇の上演により児童の文化的向上をはかる	劇団「ひの」稽古場	令和4年6月19日	令和4年6月26日	後援	令和4年5月10日
8	日野市弓道連盟	初心者弓道教室	日野市内・在住・在学・在勤する高校生以上を対象に弓道実践の機会を与え、弓道の基本を学び修練を通じて心身共に健全で豊かな人材を育成する。	南平体育館弓道場	令和4年6月18日	令和4年9月23日	後援	令和4年5月10日
9	アートパラダイス	第8回 アールブリュット・アートパラダイス展	市民に根付いたアート芸術・文化活動をさらに醸成する。	バルテノン多摩 オープンスタジオ・市民ギャラリー	令和4年10月24日	令和4年10月30日	後援	令和4年5月10日
10	日野・多摩・稲城地区保護司会 日野分区	第72回“社会を明るくする運動”	本運動の一環として市内8中学校において更生保護に関する授業、また市内主要駅において街頭広報活動を実施し、広く市民に活動を啓発する。学校・家庭・地域との連携を図り、犯罪や非行の防止と、更生について理解を深めるとともに、青少年の健全育成に努める。	中学校8校。日野・豊田・高樺不動の3駅周辺。市役所1階ホール。	令和4年6月1日	令和4年10月31日	後援	令和4年5月10日

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

11	特定非営利活動法人 日本余暇会	極! あそび	習い事や勉強等、何かと忙しい昨今の子どもたち。一方で、遊び場も減り、禁止事項も増え、真のあそび体験機会が減っている。そこで、自由なあそび時間を創出することで、創造的なあそび時間を生み出すことで、子どもたちのあそびの幅を広げ、新たなあそび(あそび時間)を創造するきっかけづくりに寄与する。	多摩平第一公園 多摩平中央公園地区センター 多摩平の森Tomorrow Plaza Tree Hall	令和4年6月18日	令和4年12月3日	後援	令和4年5月10日
12	中央大学学友会文化連盟音楽研究会吹奏楽部	中央大学学友会文化連盟音楽研究会吹奏楽部 創部80周年記念「サマーコンサート2022」	「地元で愛されるバンド」を目指し、日野市や八王子市をはじめとする近隣地域の皆様に「吹奏楽」を気軽に親しんで頂くことで、吹奏楽という音楽ジャンル及び文化の発展に貢献すること。	J:comホール八王子	令和4年7月3日	令和4年7月3日	後援	令和4年5月19日
13	一般社団法人日野青年会議所	「自分らしさを見つける～思考法トレーニング～」	地域社会における青少年健全育成等の社会奉仕事業	中央福祉センター	令和4年7月10日	令和4年7月31日	後援	令和4年5月19日
14	東京都高等学校体育連盟ボクシング専門部	関東高等学校ボクシング大会、関東高等学校女子ボクシング大会	関東各都県のボクシング大会公式戦	日野市市民の森ふれあいホール	令和4年6月3日	令和4年6月6日	後援	令和4年5月19日
15	学校法人実践女子学園	第20回下田歌子賞	下田歌子の業績を顕彰しつつ、これからの生き方、教育の在り方などを共に学ぶ	岐阜県恵那市長島町 恵那文化センター	令和4年6月8日	令和5年1月21日	後援	令和4年5月19日
16	公益社団法人 日野法人会	公益社団法人日野法人会女性部会「第12回税に関する絵はがきコンクール」	小学生を対象とした租税教育	表彰式 京王プラザホテル多摩 展示場所 イオンモール多摩平の森 日野税務署、多摩市確定申告会場、稲城市1階ロビー	令和4年7月1日	令和5年3月15日	後援	令和4年5月19日
17	MOA美術館日野児童作品展実行委員会	第28回MOA美術館日野児童作品展	「学習指導要領」にもとづき、子供達が自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を動かしながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に開催。	イオンモール多摩平の森 イオンホール3F A・B	令和4年12月10日	令和4年12月11日	後援	令和4年5月19日
18	一般社団法人日野青色申告会	日野青色申告会 第5回小学生の「税の書道展」	書道を通じて税を学び税の大切さを知ってもらうため	ひの煉瓦ホール展示室 京王プラザホテル多摩	令和4年11月22日	令和5年1月10日	後援	令和4年5月31日
19	日野市子ども文化芸術事業実行委員会	日野市子ども文化芸術事業(伝統文化親子体験教室事業)	①伝統文化の継承及び体験事業によるすそ野の拡大 ②子どもの成長への支援と地域活性化	東部会館他	令和4年6月4日	令和5年3月31日	後援	令和4年5月31日
20	一般社団法人倫理研究所	第18回しきなみ子供短歌コンクール	小学校の学習指導要領で短歌が国語の指導題材として取り上げ、短歌づくりを通して日本の伝統文化を継承し、児童の国語力を培い、豊かな人間性を育成する。	東京都千代田区紀尾井町4-5 (一般社団法人倫理研究所)	令和4年6月1日	令和5年2月19日	後援	令和4年6月8日

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

21	日野市サッカー連盟	第22回日野市長杯争奪中学校サッカー大会	日野市内の中学校サッカー部が一堂に会し、サッカー競技を通じてスポーツの振興、心身の健全な発達及び親交を図る。	日野市民の森 陸上競技場	令和4年7月23日	令和4年7月31日	後援	令和4年6月21日
22	特定非営利活動法人 日本余暇会	わが町の産業体験	近代化、高齢化とともに失われつつある第一次産業。我が国における食料自給率の低さが課題とされている中、まずは「楽しみ」を入口に「産業観光」として第一次産業の学びにつながる機会を提供する。このことで次世代の子どもたちへ第一次産業という職業の存在意義や重要性、大変さも含めたく働くことへの意義などを伝える機会を提供することを目的とする。	セツ塚ファーマーズセンター	令和4年9月11日	令和4年12月24日	後援	令和4年6月29日
23	社会福祉法人 東京光の家	東京光の家チャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル～平和と希望～	障害者支援施設利用者が、音楽会を通じて社会参加を果たす活動を行う。	ひの煉瓦ホール	令和4年9月24日	令和4年9月24日	後援	令和4年6月29日
24	日野市文化協会	日野市民文化祭	市民が日頃の芸術文化活動の成果を発表する機会を作り、市民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の発展を図ることを目的とする。	ひの煉瓦ホール他	令和4年9月3日	令和4年11月23日	後援	令和4年7月13日
25	特定非営利活動法人 学濃社教育研究所	スクールバンクフェスタ2022入試相談会	多摩地区在住の小中学生に入試情報を提供する。	KISJ日本語学院・日本芸術高等学園	令和4年9月23日	令和4年10月23日	後援	令和4年7月13日
26	日野市商工会	日野まちゼミ	まちゼミを実施することで、新規のお客様との出会い及び店主の魅力を知って頂くことで、お客様との接点がより一層増すことを目的とする。	参加事業所内	令和4年10月15日	令和4年11月30日	後援	令和4年7月13日
27	学校法人三幸学園 東京保育医療秘書専門学校	中学生向けお仕事体験イベント	中学生のキャリア教育が推進されている現在、中学生に対して様々な職業体験の場を提供させていただくことで、中学生のキャリア教育支援を行う。地域にある専門学校に気軽にご参加いただくことで、地域支援の一環につなげたい。	東京保育医療秘書専門学校 東京ビューティー&ブライダル専門学校	令和4年10月16日	令和4年10月16日	後援	令和4年7月27日
28	どうぶつ愛護活動隊Kyueen	夏休み企画！図書館で学ぶ、命のこ と「小さな命の写真展」IN日野	動物愛護精神の普及啓発活動を通じ、人と動物が共生する社会を実現する。	日野市立中央図書館2階ギャラリー	令和4年8月3日	令和4年8月23日	後援	令和4年7月13日
29	日野市中体連	第25回日野市中学校陸上競技大会 兼東京都中学校支部対抗陸上競技大会選考会	・日野市内各中学校の陸上競技力の向上 ・東京都中学校支部対抗陸上競技大会の代表選手選考	日野市民の森 陸上競技場	令和4年9月17日	令和4年9月17日	後援	令和4年7月27日
30	一般社団法人Nancy	親子de資産形成アカデミー	ニュースで見た老後2,000万円問題が不安、積み立てNISAやジュニアNISAが話題になっていることをテレビや書籍で見たけど投資がよく分からない怖い。でもお金のことは早い段階から学んだ方がいい気がする。そんな親子が100円のお小遣いで今すぐ安心して資産形成を始められることを目的とし、その先に「親子がお金を理由を夢を諦めない社会」を目指しています。	オンライン配信	令和4年10月2日	令和5年1月29日	後援	令和4年7月27日

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月~9月)

31	日野市民会館(指定管理者 ケイミックスパブリックビジネ ス)	ラ・エスカパーダ~異国の地で生ま れる 新しい出会いの旅へ!~	プロとアマチュア(日野市の子供たち)をコラボレーションさ せ、演奏家と観客の距離が近い、学びのあるクラシックコン サート	ひの煉瓦ホール 小ホール	令和4年10月30日	令和4年10月30日	後援	令和4年8月8日
32	まちづくり市民フェア実行委 員会	まちづくり市民フェア2022	市民団体の活動発表や活動展示を行い、広く市民の皆さ んに知っていただくことを目的とする。	市民の森ふれあいホール・仲田の森蚕糸公園	令和4年10月16日	令和4年10月16日	後援	令和4年8月8日
33	一般財団法人カンボジア地 雷撤去 キャンペーン	2022年度書き損じハガキ回収プログ ラム	カンボジア地雷撤去支援および日本の子どもたちに対する 国際理解教育の促進。	市内の各学校および周辺地域	令和4年10月1日	令和5年3月31日	後援	令和4年8月22日
34	八王子市ボウリング連盟	第25回 初心者向け健康ボウリング 教室	ボウリングの普及と地域の皆様の健康促進を図ること	SAP日野ボウル	令和4年9月26日	令和4年11月17日	後援	令和4年8月22日
35	まちづくり市民フェア実行委 員会	まちづくり市民フェア2022	市民団体の活動発表や活動展示を行い、広く市民の皆さ んに知っていただくことを目的とする。	市民の森ふれあいホール・仲田の森蚕糸公園	令和4年11月13日	令和4年11月13日	後援	令和4年8月22日
36	参加・体験・感動!ふれあい こどもまつり実行委員会	令和4年度ふれあいこどもまつり	子どもたちが芸術についての理解を深め、表現や創造の 素晴らしさを実感し、人間への興味を 育て、文化を生み出す豊かな心と感性を育むことをめざ す	ひの煉瓦ホール ほか	令和4年10月1日	令和5年3月31日	後援	令和4年9月2日
37	読売新聞東京本社	世界を感動させたスーパーミラクル イリュージョン☆木下大サーカス立 川公演	日野市の皆様に、夢と勇気と感動に満ちた木下大サーカス ショーをご観覧いただくことにより、ファミリーエンターテイメ ントとして、子ども達には明るい夢を与え、健全なレクリエー ションとして楽しんでいただく企画です。	立川立飛 特設会場	令和4年12月24日	令和5年3月12日	後援	令和4年9月2日
38	NPO法人 日野子ども劇場	さん・ばら・りん劇場	鑑賞例会を通じて子どもや大人の豊かな感性を育てる	Tree HALL(ツリーホール)	令和4年11月13日	令和4年11月13日	後援	令和4年9月14日
39	「グレタ ひとりぼっちの挑 戦」上映実行委員会	映画「グレタ ひとりぼっちの挑戦」の 自主上映	気候問題を市民の皆さんにより関心を持ってもらう。	七生公会堂	令和4年12月4日	令和4年12月4日	後援	令和4年9月14日
40	拳士プロジェクト	番外 殺陣祭 新選組激闘編	新選組のふるさと日野市から、コロナ禍の為劇場に來られ ない人、海外の人に広く殺陣を発信する。	七生公会堂	令和4年11月12日	令和4年11月13日	後援	令和4年9月14日
41	中央大学	2022年度中央大学杯スポーツ大会	地域との交流、相互理解、親善のため	中央大学多摩キャンパス	令和4年11月27日	令和4年12月4日	後援	令和4年9月27日
42	ひのたま夢みる応援団	映画「夢みる小学校」の上映会	「夢みる小学校」では既存の小学校の枠組みとは異なる環 境にある子供達が、「自分のままで いいんだよ」というメッセージを受け取り、自由に生き生きと 過ごす様子が描かれています。 日野に住むみんながこの映画を見て、心の中に湧き立って くるものを分かち合い、「希望」その ものである子供の未来を共に考えたいと思い開催を計画し ました。	七生公会堂	令和4年12月17日	令和4年12月17日	後援	令和4年9月27日
43	たまだいら文化の森	SDGS 映画祭「PEACE」ひまわり& 中村哲の仕事	日野市及び周辺地域での文化・芸術・教育活動を企画・開 催し、同地域での文化・芸術・教育活動を推進・支援する活 動を行う。	Tree HALL(ツリーホール) 七生公会堂	令和4年10月23日	令和4年10月25日	後援	令和4年9月27日

	3年度	4年度
4月承認	5件	6件
5月承認	7件	13件
6月承認	8件	4件
7月承認	4件	7件
8月承認	6件	5件

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(4月～9月)

9月承認	2件	8件
合 計	32件	43件

	3年度上半期	4年度上半期
スポーツ	5件	8件
音楽・美術	3件	7件
講演会	5件	2件
イベント	19件	25件
その他	0件	1件
合 計	32件	43件

報告事項第25号

令和4年度日野市立図書館の運営の状況に関する評価書（令和3年度事業）

このことについて、別紙のとおり報告する。

令和4年10月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和3年度事業)

くらしの中に図書館を
本と出あい、人と出あう
「知のひろば」が
地域の文化を創る

令和4年10月
日野市立図書館

目次

1	はじめに.....	1
2	評価の目的.....	1
3	図書館の現状.....	1
	（1）施設.....	1
	（2）組織・職員（令和4年4月1日現在）.....	2
	（3）主な業務.....	2
4	評価の実施方法.....	2
5	評価の対象.....	2
6	評価の結果.....	3
	（1）図書館協議会の総括的意見.....	3
	（2）図書館の自己評価.....	11
7	令和3年度主要な取組（主要事業）／第3次日野市立図書館基本計画の取組内容... 12	
	統計資料.....	69
	日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱.....	86
	図書館協議会委員名簿.....	87

1 はじめに

平成20年6月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供すよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成21年3月31日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成21年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年1回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48.4.28	豊田 2-49-2	331 千冊
移動図書館	1 台 (21 駐車場)	昭和 40.9.21	同上	35 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55.5.11	三沢 4-1-12	104 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55.5.18	日野本町 7-5-14	59 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16.4.1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1階	127 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20.4.5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1階	68 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52.12.1	神明 1-12-1 日野市役所 1階	51 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2.11.16	百草 204-1 ガーデンプビュー石神D2階	73 千冊

(2) 組織・職員（令和4年4月1日現在）

3係（庶務・業務・奉仕）、6分館

正規職員 29人（うち司書25人）

再任用職員 8人（うち司書1人）

会計年度任用職員（年1500時間換算） 37.9人

(3) 主な業務

- ・図書館資料の収集、整理及び保存
- ・個人貸出、団体貸出
- ・読書案内及び読書相談
- ・レファレンス
- ・図書館資料の図書館間相互貸借
- ・市内の学校への資料提供と支援
- ・地域・行政資料の収集・提供・保存・読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- ・館報その他の読書資料の発行及び頒布

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、定例協議会において主要事業の概要説明をしました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

令和3年度主要な取り組み（主要事業）の4事業及び「第3次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下の取り組みを評価対象としました。

○令和3年度主要な取り組み（主要事業）

- 1 第3次図書館基本計画推進事業
- 2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
- 3 障害者サービス事業
- 4 地域・行政資料のデジタル化事業

○図書館基本計画に基づく令和3年度重点的取り組み内容

- 1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
地域・行政資料の収集・提供・保存
市民に役立つ情報の提供
市民の図書館活動・運営への参加

地域で活動する団体との連携

関係機関との連携

2. 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
くつろげる「居場所」としての環境の充実
本を通じた出会い、交流の機会を創る取り組み
移動図書館ひまわり号の活用
 3. 市民の読書活動を推進します
本と出あうきっかけづくりの拡充
子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み
 4. 全ての市民に図書館サービスを提供します
図書館サービスのていねいな説明
利用につながる図書館情報の発信
移動図書館ひまわり号によるサービスの充実
多様な利用者へのサービスの拡充
 5. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します
資料・情報の収集
資料・情報の保存
資料・情報の提供体制の充実
読書案内・レファレンスサービスの充実
 6. サービスを提供する基盤を整備します
施設の保持・保全
- ICT化の推進
- 職員の育成
- 市民とともにすすめる図書館運営の推進

6 評価の結果

(1) 図書館協議会の総括的意見

○令和3年度主要な取り組み（主要事業）

1 第3次図書館基本計画推進事業

コロナ禍での困難な状況下において、各地域館が、地域の特性と課題に沿った取り組みを実施している点が評価される。各地域館がそれぞれ持っている特長を活かし、工夫を凝らしながら本と人をつなぐ取り組みを行っている。今後も他機関とも連携しながらその方向性を堅持し、地域のコミュニティの場となる事を期待する。

一方で、コロナ禍の影響で、十分に取組みなかつた取組みもある。いずれも継続して行ったほうがよい取組みなので、各館、職員の「冒険」を期待したい。

また、この事業項目だけではなく、運営評価全般にわたって「資料をダウンサイジングした」「廃棄した」との記述が毎年みられる。図書館は、将来にわたる利用に備えるため、資料を保存する責任を負う。この観点から、取組みの説明に対して質問が多くあったところである。しかし、書庫を無限に増やすわけにはいかない。除籍は、「日野市立図書館資料除籍・保存基準」に基づいて今後も行っていくとともに、リサイクルフェアや毎月3回各館で実施しているリサイクル資料の配布を活用してできるだけリサイクルし、これからの持続可能な社会を見据えて取り組むようお願いしたい。

2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業

(1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業

コロナ禍による活動の制約は致し方ないが、その中で関係各課ができる活動を着実に行ったことが伺え、その点を評価したい。「パネル展示」「絵本セット」「ホームページ内の子ども向けコンテンツ」等の実施は、コロナ禍においても、出来ることを探し実施するという姿勢がみられて評価できる。ホームページは、自宅から図書館の距離が遠い子どもたちへのサービスとなる。せつかくの取組みであるので、市民全体に行き届くような周知をお願いしたい。

子ども読書活動の推進は、日野市の「第3次学校教育基本構想プロジェクト」の方向性や指針と併せて、目指すべき子ども像や将来育てたい資質や能力を明確にし、学校教育との関連を図りつつ推進していただきたい（SDGsの資料の充実、インターネット普及との関連での調べ学習の在り方など）。

(2) 乳幼児へのサービス

おはなし会が再開したことは、とても喜ばしいことである。中央、高幡、多摩平に比べて小規模で、なおかつおはなし会を行うスペースがない地域館（日野、平山）では、参加者数が他館に比べて少なくなっているが、図書館員とより身近に交流ができるというメリットもある。全体的には、参加者も増加しているので、今後も継続して行ってほしい。

絵本パックは、前年度から継続であるが、着実に貸出が伸びおり、評価する。パックの中身については、ずっと同じものでは飽きられるので、日常のカウンターで見ている貸出傾向や、利用者の声に基づいて、パックの中身を変える等の工夫をおこなっ

てはどうだろう。

(3) 小中学生へのサービス

感染対策等工夫しながら事業の再開や、新しい取り組みを行ったことを評価する。コロナ禍が長く続き、子どもたちの体験不足が危惧されているなか、夏休みジュニア・スタッフや夏休み★としょかん相談箱など主体的に参加できる機会があったことは評価する。継続を希望する。夏休みジュニア・スタッフについては定員枠を超える申込があり、その関心の高さに注目したい。密を避けるために難しいかもしれないが、できるだけ多くの子どもたちに参加の機会が開かれることを期待したい。

Webでのコンテンツ充実を目指した点も評価できる。感染症対策のみならず、今後も各種コンテンツの充実は、子どもたちの図書館への関心、読書のきっかけ作りにもよい影響を与えられると思われる。しかし、始めたばかりということもあって、コンテンツが少なく感じられる。視聴者の意見や感想を参考にして、内容のさらなる充実を期待したい。

「夏休みこども★としょかん箱」は図書館員の回答も真摯かつ丁寧であり、それに加え読んでいて楽しいコンテンツになっていた。

「中学生と作家の交流事業」は、子どもの興味・関心を広げ、他校の中学生同士がつながる協働的な学びが展開している。他自治体に対しても参考となる取り組みではないだろうか。特に生徒自身が企画から関わるところに意義がある。継続して実施すること期待したい。

また、すべての小中学生に対して、図書館が地域コミュニティとしての温かい役割を今後も果たしてくれることを期待したい。

(4) 青少年へのサービス

着実に活動を進めている点の評価したい。

スタッフの増加、新しい企画の実施など、スタッフの積極的な活動を今後も維持できることを期待したい。またこの取り組みを通して、高校生や大学生がまちの図書館を知り、その役割や大切さを理解して、図書館を自ら守り育てる意識へと成長することも期待したい。

ヤングスタッフのメンバーが直に会って様々な交流ができるようになることが望ましいが、コロナ禍でもあるので、Web会議やメールを利用した定期的な意見交換や情報共有はメンバーのモチベーションを維持する上でも大切と思われる。多くのスタッフが積極的にかつ気楽に関われる環境づくりは今後の活動継続にも役立つので

はないだろうか。

連想企画やリレー小説など、ヤングスタッフたちの表現手段として価値ある活動になっていると思う。インスタグラムやツイッターといったSNSなど、ネットの力をもっと活用した発信を積極的に行い、さらに発信して活動が活性化されることを期待したい。

(5) 学校支援

学級文庫への支援（増冊）、学習の資料支援・学校図書室への支援と、年間を通しての努力を評価する。重要な活動であり、継続かつ拡充が求められる。

学校搬送実績については、前年比で全体に減少が見られる。司書教諭連絡会が行われなかったためと原因が分析されているが、それだけに起因するのか？その点の分析が必要である。相手となる学校側のニーズや各種状況変化を捉えて、図書館の行う学校支援事業を学校側に積極的に伝える仕組みの工夫も大切である。

また、インターネットの普及などにより、今後子どもたちの調べ学習のスタイルは大きく変化すると思われる。図書の充実、搬送等にとどまらず、子どもたちに「学びに向かう力」を培うための新たな支援の在り方を学校との連携で一緒に考えていくことを望む。

3 障害者サービス事業

対面朗読やDAISY図書の充実など、障害のある方もない方も、心のバリアフリーにつながる取り組みは素晴らしい。オンラインでの対面朗読が2件とあったが、数ではなく今まで図書館に来ることが出来なかった方が利用できるようになったことを評価できる。また、利用対象者への情報提供やコミュニケーション、音訳者への講習など積極的に取り組んでおり、その諸活動も評価できる。

障害者サービスは、公立図書館が全ての市民の知る権利に応えるために、不可欠なサービスである。今後とも周知方法を工夫しながら、事業が継続、拡大していくことを望む。

4 地域・行政資料のデジタル化事業

デジタル化を進めていることを評価する。地域資料は、その地域の各種情報から歴史、文化までを含む資料であり、その地域に根ざした図書館でなければ収集し得ない資料である。また行政資料は、地方自治における基礎的情報であり、住民自治を支える上で、全ての市民に公開提供されなければならない。その上で、本資料は地元の公

立図書館ならではの資料である。そのデジタル化推進は、市民の地域資料への自由なアクセスを保障することになる。日野市の地域資料をデジタル化する事業は、他の自治体がやることではないので、進めていただきたい。

一方で、デジタル資料にアクセスできない市民へのアクセス権をいかにして保障するか、という課題もクリアする必要がある。

○第3次日野市立図書館基本計画の取組

1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします

各地域館の様々な活動を多いに評価したい。日野図書館のご近所会議や、百草図書館の郷土資料館との連携事業など、地域や他機関との連携した事業に取り組まれた。地域の図書館は、市民にとってもっとも身近な図書館であり、そこが地域の市民活動と連携することは、図書館が地域文化を創り、保存し、発信する拠点となることも期待される。その点で、各館が独自に地域に根ざした活動をおこなっており、評価できる。平山季重まつりのように、新型コロナウイルス感染症による活動の抑制はあるものの、全体的には今後につながる活動が見られる。地域によって異なったニーズや条件に応じて、継続した事業として取り組まれることに期待したい。

2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります

中央図書館の「ミニ水族館」など、数多くのおもしろい取り組みが行われたことを評価する。とりわけ、はじまりの読書会は、実施したことによって自主的な市民サークルが誕生したことはとても素晴らしい。一方で、「ヤングスタッフの掲示板」に集まったコメント数が4枚であったことは寂しさを感じる。やっている内容は悪いものではないし、スタッフがせっかく頑張っているので、アピール方法を工夫してはどうだろう。

本を目当てに市民が気軽に立ち寄れる、本を元に交流や憩い場をできるというのが図書館ならではの役割である。気軽な貸出の他、設備の改善・充実、ニーズに応じた多様なスペースの確保など評価できる取り組みがあった。一方、図書館の利用をまだしていない未利用者への働きかけも必要である。

3 市民の読書活動を推進します

毎月のテーマ展示は、各館の地域性やニーズに合った内容になっており興味深いものとなっており、評価できる。また、本に出合うきっかけとして「ひろば」や「図書館員の本箱」などホームページで公開するなど、多くの方に情報が届く努力も評価で

きる。これらの取り組みが、利用者が未知の本と出会うきっかけとなっていると考えられる。今後とも様々な方法で利用者と本を結びつける活動を推進することを期待する。

4 すべての市民に図書館サービスを提供します

全ての市民はその居住する自治体の公立図書館に対して利用する権利を有しており、その実現のために行われている各種取り組みは評価できる。しかし、図書館サービスを知らない市民（図書館未利用者）がいることも事実である。それぞれの図書館で様々な取り組みをせっかくしているのだから、色々な広報媒体を使って図書館をどうやって多くの人に伝えていくのかを考えていただきたい。取り組み方として図書館単独でなく、生涯学習活動や学校教育活動、さらには市内のあらゆる活動（公共や地域住民、民間）とも連携することも視野にいれて広報する工夫も必要であると考えられる。

5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

図書を中心に各種情報源を整備して提供できる情報の拡充を図っていることは評価できる。また資料費を維持している点も評価できる。図書や情報を積極的に収集することは、図書館にとっては不可欠であり、そのためにも資料費の確実な確保をお願いしたい。そして、日野市に住んでいて良かった、日野市のこんな新しい面を知ることができたなど、多様な視点での資料の提供に期待する。

リクエストで提供した冊数についても、前年に比べて大きく増加しており、評価できる。

資料の収集・保存・提供といった基本的な地道な活動こそが市民の信頼に応えることである。今後とも継続していただきたい。

6 サービスを提供する基盤を整備します

施設の保持・保全、ICT化の推進など適切に実施できていると評価する。

令和3年度は緊急度の高い施設の保持・保全に努めたことは評価できるが、各図書館の老朽化への対応をお願いしたい。特に雨漏り、照明の不点灯への対応など施設環境の整備をお願いしたい。また、老朽化した施設に関しては方向性を検討し、修繕計画や現在地または近隣地での建て替え計画等を作成して計画的な環境整備に努めていただきたい。

職員の育成は、司書としての専門性を高めるためにも館内研修の他、館外研修への積極的な職員派遣を維持して欲しい。そうすることで職員の専門性が高まる他、人材

の層の厚さが実現され、きめの細かい図書館サービスの実現につながると思われる。

図書館運営について市民の視点を加えて行くことは、公立図書館の民主的運営の観点からも大切な取り組みである。図書館協議会による評価はその一つであるが、様々な方法で、市民からの意見や評価を受け止め、図書館運営の自己点検を継続して欲しい。日野市立図書館が長年培った図書館サービスの方向性の正しさは、多くの市民の認めるところであり、他自治体の図書館が参考にするところでもある。令和2年度に行った読書調査には、市民からの期待が多く寄せられたところである。その期待に応えるためにも、市民とともに歩み、市民に寄り添い、市民の身近で信頼される図書館を維持して欲しい。

○まとめとして

第3次日野市立図書館基本計画で、「地域の文化を創る」とし、地域館が地域の文化を創る拠点となることをめざしたところである。令和3年度はこの計画の4年目にあたるが、各地域館が、地域の特性と課題に沿った取り組みを実施していることが年々強く感じられる。地域の図書館は、市民にとってもっとも身近な図書館である。そこが地域文化を創り、保存し、発信する拠点となることは、図書館が日野市の地域力を強める取り組みになることに他ならない。この取り組みをぜひ推し進めていただきたい。

第4次子ども読書推進活動推進計画活動も、行政部門の組織を横断的にみつめつつ、図書館独自の取り組みも着実に推進していることを評価したい。

障害者サービスや地域・行政資料のデジタル化事業も着実に取り組み、市民の知る権利に応えるために前進していると言えよう。

しかし、一方でいくつかの課題も残っている。

新型コロナウイルス感染症により、令和2年度には様々な活動や取り組みが停止した。何度か緊急事態宣言も発令されたが、社会は徐々に新型コロナウイルスと「共生」する方向で舵をきりつつある。図書館も十分に組みあがらなかった取り組みもあるが、社会の情勢も見極め、感染拡大防止に努めながら創意工夫により取り組みを少しずつでも再開できるようになることを望む。

今年度の評価で、「発信力」に関する意見が、委員より多く出された。意見の中には、現在取り組んでいない動画やSNS等、インターネットを利用した発信の提言もあった。発信の手段だけではなく、テーマ展示のテーマやキャッチフレーズをもっと魅力的で人を引きつけるものに、と発信の内容についての意見もあった。図書館が行っている事業は、せっかく実施しているのに、知られていないというものがあまりに

も多すぎるのではないか。多くの事業や取り組みが市民に行き渡るよう、図書館の魅力を大胆に発信していただきたい。

取り組んでいる事業を日々点検することもお願いしたい。点検に当たっては利用者、市民の声や評価を受け止め、自己点検を継続していただきたい。令和4年度は第4次日野市立図書館基本計画の策定作業が始まっている。策定委員会を設置し、委員数10名のうち半数の5名を市民委員としたとのこと。これは、市民の声に耳を傾けるといふ姿勢の表れととらえ、大いに評価したい。一方で、基本計画策定やこの運営評価だけでなく、日々の事業推進にあたって、職員一人ひとりが、日々自己点検をするという姿勢を堅持していただきたい。

日野市においては、資料費を減らすことなく、維持していることは評価できる。図書は、そのときに購入しないと入手出来ない事例も増えている。市民の知る権利に応える公立図書館は、より多様な市民のニーズに応え、未来の市民のためにも充実した資料、情報の収集・保存・提供を行うべきである。よって現在出版されている図書や情報を積極的に収集することは、図書館にとっては不可欠であり、そのためにも資料費を維持とともに、資料単価が値上げされていることもあるので、拡充されることを強く希望したい。

図書館サービスは、専門職である司書によって支えられている。利用者の質問や相談を受けて調べ物に必要な資料を探し出すレファレンスや、地域ごとにことなるニーズに応じて新たに購入する資料を選ぶ選書などの図書館の業務は、職員の日常業務と利用者との対話の長い積み重ねによって、利用者のニーズに応えられると考える。令和3年度に取り組んだ内容の課題に取り組みつつ、さらに図書館の運営がすばらしいものになるよう、しっかりとした運営体制を維持継続するようお願いしたい。

市民が求めるのは、豊かなサービスを提供してくれる、優れた身近な図書館である。市民に質的にも量的にも高いサービスが提供され、市民に信頼され、頼りにされている優れた図書館は、一時的な変革の流行から生まれてくる図書館ではない。

日野市の図書館が昭和40年に発足したときのミッションは、貸出・児童サービス・全域サービスの3つであった。その後、分館の設置や時代に即した様々なサービスを新たに展開して、日野市立図書館の現在がある。

市民の誰もが気軽に利用する、役立つ図書館、落ち着きと奥行きがあり、温かくて親しみやすく、日常の暮らしを豊かにし、未来の扉を開く図書館であり続けることを常に期待している。

(2) 図書館の自己評価

第3次日野市立図書館基本計画と第4次日野市立図書館子ども読書活動推進計画に基づいて、令和3年度事業を進めてきた。

第3次基本計画では、それぞれの地域館が地域の文化を創る拠点となることを目指し、地域の特性を活かした取り組みを充実させることを重点施策とした。計画年度が4年目となり、地域をより意識した取り組みが増えた年であったと言える。

高幡台団地空間活用プロジェクトとの連携（高幡図書館）、日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」との連携（多摩平図書館）、地域資料コーナーに多摩平団地をテーマとしたコーナーを設置（多摩平図書館）、地域との連携による図書館の看板作成（百草図書館）、石田環境プラザへの巡回開始（移動図書館ひまわり号）など、地域を意識、また連携した新たな取り組みを地域館で実施した。また、日野宿発見隊の取り組み（日野図書館）など、地域との連携を継続、拡大して取り組んだ事例もあった。

第4次子ども読書活動推進計画では、まず、感染症対策を徹底しながらおはなし会を再開することができた。合計で92回開催し、延べ663名の方に参加いただいたところである。新たな取り組みとして、「夏休みこども★としょかん相談箱」、「たかはたブッククラブ」、読書に困難さを抱く子どもとその保護者向けの本の世界の楽しさを伝えるリスト発行などを実施することができた。これまでも好評であったえほんパックや中学生と作家の交流事業などの事業も継続した。

障害者サービスではオンラインによる対面朗読を開始し、図書館の利用が困難な方と本をつなぐことができた。

非来館型サービスの充実を目的に、平成期前半の日野市刊行物291点(20,000頁)をデジタル化し、ホームページ上に掲載することができた。

本と人、人と人、人と地域をつなぐことを目的に、このように新たな取り組みや、これまでの取り組みの継続を行ってきたところであるが、課題も残ったところである。まず、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組みが中止となっている事業が、令和3年度もいくつかある。社会がコロナとの共生を意識し始めていることから、図書館も感染症対策を万全にしつつ取り組んでいくことも考えなければならない。また、さまざまな事業を展開しているが、市民の間にこのことが浸透していないのが現状である。図書館からの発信が課題となる。

各事業における図書館の自己評価は、次ページ以降の評価表のとおりである。

7 令和3年度主要な取組（主要事業）／第3次日野市立図書館基本計画の取組内容

取組内容目次

令和3年度主要な取組（主要事業）	13
1 第3次図書館基本計画推進事業	13
2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業	20
（1）第4次子ども読書活動推進計画推進事業	20
（2）乳幼児へのサービス	22
（3）小中学生へのサービス	24
（4）青少年へのサービス	28
（5）学校支援	30
3 障害者サービス事業	32
4 地域・行政資料のデジタル化事業	35
第3次日野市立図書館基本計画の取組	36
1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします	36
2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります	46
3 市民の読書活動を推進します	50
4 すべての市民に図書館サービスを提供します	57
5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します	61
6 サービスを提供する基盤を整備します	65

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

令和3年度主要な取組（主要事業）

事業項目	1 第3次図書館基本計画推進事業
事業の概要	
<p>第3次図書館基本計画（平成30年度～令和4年度）に基づき、市民が求める資料・情報の提供を推進し、本を通じて人がつながる取り組みや地域の特性を考慮した取り組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域館が地域の特性と課題を踏まえた取り組みを実施。 ・移動図書館のより効果的な巡回場所・巡回方法を検討 ・地域資料・行政資料を収集・提供・保存するための、より網羅的で効率的な手法の構築 	
事業の成果	
<p>各地域館で以下の取り組みを行った。</p> <p>【高幡図書館】</p> <p>○他部署と連携した図書展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高幡台団地空間活用プロジェクト」との連携展示を開催。 <ul style="list-style-type: none"> 高幡台団地73号棟跡地を活用して高幡台団地及びその周辺エリアのまちづくりにつながる持続的な活動を生み出すことを目的に、自治会、まちづくり協議会、UR、市（企画調整課）が連携して高幡台団地空間活用プロジェクトを実施している。中央公民館と図書館もこのプロジェクトに連携し、中央公民館は3月19日（土）に「出張公民『観』in高幡台団地」を開催。 高幡図書館は、「団地と暮らし」をテーマに図書の展示を行った。連携している企画調整課や中央公民館とともにPRをおこない、多数の来館者が関心を持って展示図書を手に取る光景が見られた。中央公民館の「出張公民『観』in高幡台団地」では、展示図書のリスト配布を行った ・在宅療養支援課との連携展示を開催。 <ul style="list-style-type: none"> 「自分らしい『締めくくり』を考えるために」をテーマに「人生会議」に関連した本の展示と一緒に、在宅療養支援課から提供のあった在宅療養に関するパンフレット類を多数展示し配布。特に「マイエンディングノート」については、展示期間途中で在庫がなくなるほど好評だった。在庫がなくなった後も、問い合わせが複数あり、再配布を行った。 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

○ヤングスタッフ事業

ZOOMを活用したヤングスタッフ会議を行いながら、ホームページを活用してリレー小説の公開やおすすめ本を紹介、また工夫を凝らした展示を高幡図書館で実施した。詳細は、「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(4) 青少年へのサービス」を参照

○たかはたブッククラブ

令和2度はコロナウイルス感染症の広がる中「プレたかはたブッククラブ」として実施したが、令和3年度は「たかはたブッククラブ」として3か月を1期として実施(第1期5.6.7月、第2期9.10.11月、第3期1.2.3月)
詳細は「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(3) 小中学生へのサービス」を参照

【日野図書館】

○日野宿発見隊の取り組み

まちのアンテナとして活動する日野宿発見隊を支援し、まちの魅力を発信している。令和3年度は日野宿発見隊とともに、以下の活動に取り組んだ。

- ・「デジタルスタンプラリーin日野宿2021」を4月29日(木)～5月9日(日)に実施。例年は日野煉瓦橋、日野銀行跡など日野宿の見どころに設置した直径約10cmの手彫りの特製大型スタンプを押しながら歩いて回り、日野宿の魅力を発見していただく「スタンプラリーin日野宿」を開催しているが、コロナ禍のために中止し、代わりに密にならない企画として実施した。このスタンプラリーは、大型スタンプの代わりに、スタンプのデザイン画像を設置し、それを撮影しながら巡るもの。市内外から598名が参加。「コロナでイベントが全部なくなったので実施してくれて嬉しい」という声が寄せられた。また、地元の一中生が、スタンプポイントを紹介する動画作成に協力してくれた。
- ・「夏休み!親子で調べよう日野用水」を7月24日(土)に実施。新東光寺地区センター前の用水で生き物を捕り、観察する企画。9組21名の子どもと保護者が参加した。水中の生き物のほか、長さ1メートルのシマヘビにも遭遇した子どもたちは大興奮だった。
- ・令和3年の八坂神社の例大祭は中止となったが、地域の方に少しでも祭気分を味わっていただきたいと、八坂神社の協力を得て、「八坂の祭り写真展」を9月に実施した。合計69点の写真パネルを玉垣等に展示した。
- ・「行灯をつくろう」を12月4日(土)に実施。8組16名の子どもと保護者が参

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

加。親子でひとつの行灯作りに取り組んだ。完成を喜び、ハイタッチする姿があった。「今年はうまくいかなかったけど、来年はがんばる」という子もいた。近所の普門寺の協力を得て、境内などで作成した行灯をともし、地域の方々と、より雰囲気を楽しむことができた。

○本の福袋

令和4年年始に「本の福袋」を前年に引き続いて試験的に実施。令和3年の年末には、「今回はやらないの？」と窓口で問い合わせがあった。職員おすすめの本を3冊入れ、中身がわからないように貸し出す紙袋を15セット用意。利用者から「面白かったのでもたやしてほしい」と手紙をいただいた。

【多摩平図書館】

○子育て関連施設との連携

複合施設の特徴を生かして、施設内の子育て関連施設との連携を進めているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、連携した取り組みが実施できていなかった。しかし、令和3年度は子ども家庭支援センター多摩平より依頼を受けて、子どもと絵本に関する「ミニ講座」へ図書館職員を講師として派遣した。(4月)近隣の保育園や幼稚園の園児を招待して開催する「招待おはなし会」については、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。

○「多摩平の森ふれあい館まつり」に参加

1月29日に開催された「多摩平の森ふれあい館まつり」に参加し、リサイクル資料を必要な市民に配布した。配布冊数は1,038冊。配布したリサイクル資料は保存年限が過ぎた雑誌のみで、令和2年度には配布した子どもの本は配布しなかった。このこともあったためか、来場者数は156人で令和2年度の同時期に行った「図書館リサイクルフェア」の来場者数450人を大幅に下回った。

○日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」との連携

日野市多摩平の森産業連携センターPlanTとの連携に向け、担当者レベルで話を進めることができた。今後定期的に連絡会を開催し、資料の貸出など令和4年度の実行方針を決めることができた。

○地域資料コーナーに多摩平団地をテーマとしたコーナーを設置

多摩平団地についての記述がある資料を集め、内容ごとに分類。多摩平団地についての地域資料コーナーを設置した。多摩平団地についての地域資料コーナーの設置のために、従来の地域資料(過去の計画書やガイドブックで他館に副本があるもの等)をダウンサイジングした。そのため必要な資料が探しやすくなった。多摩平

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

団地をテーマとしたパスファインダーの作成を検討している。

【平山図書館】

○平山季重まつり、ひらやまえんにち

毎年10月に開催されている「平山季重まつり」が令和3年も中止となった。平山中地区アクションプランが中心となり、関係各課と連携して3月6日(日)に開催する予定であった「第2回ひらやまえんにち」は、延期となった。ひらやまえんにちでは、児童書のリサイクル本を配布する予定であった。(令和4年6月5日に開催)

○闘病記コーナー

闘病記コーナーの充実を推進した。9月の市内3館での認知症テーマ展示に合わせ、闘病記コーナーのチラシを作成し、市内全館で200部配布した。あわせて、図書館ホームページ、ひろば、庁内掲示板で広報した。

○図書展示

- ・展示課題のSDGsに関連した資料の展示を行なった。

【百草図書館】

- ・三沢中地区アクションプラン実行委員会との連携により、延期されていた看板作成を行った。ギャラリーにて作業の様子をポスター展示、図書館ホームページや庁内掲示板にも紹介した。
- ・1月から2月まで郷土資料館の特別展「縄文の顔・日野の顔」開催に伴い、図書館内でも縄文時代に関連する資料を展示した。
- ・12月から3月まで、1階ギャラリーにて郷土資料館との連携パネル展示「百草の歴史を楽しむ」にちなんで百草園の芭蕉句碑についての資料や俳句関連の展示を行った。多くの方が足を止めて百草の歴史に興味を示していた。また、百草園の中の芭蕉句碑に関する質問もあり、郷土資料館と連携を取りながら資料提供を行った。
- ・郷土資料館と連携した「縄文の顔・日野の顔」「百草の歴史を楽しむ」は、図書館ホームページでお知らせするとともに、郷土資料館のホームページでも図書館での展示を紹介してもらい、相互にリンクして双方のページをみることができるようにした。
- ・「散歩の達人×日野市 日野・百草スマホで集めるスタンプラリー」の特別編集冊子を配布。図書館入口に紹介の看板を出し、1階入り口ドア付近に配布物を設置し、約200部配布を行った。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・令和2年度より開始した子育てカフェモグモグとの連携事業として、毎月1回絵本を20冊ずつ、年間累計240冊の貸出を行った。

【移動図書館ひまわり号】

- ・石田環境プラザ開所式（7月10日）に参加し、地域住民へ市立図書館やひまわり号巡回のPRを行った。
- ・7月15日（木）から石田環境プラザへの新規巡回を開始した。毎月第1木曜日と第3木曜日に巡回。数組の固定の利用者も得るなど巡回を軌道にのせることができた。

令和3年度巡回回数：17回 のべ利用者数：252人 貸出冊数：1,753冊

- ・石田環境プラザには巡回サービスのほか、「団体貸出」として、子どもから大人まで約300冊の図書を貸出し、施設内の本棚に常時配置している。また、季節に合わせた図書の人替え、補充なども行っている。
- ・ごみゼロ推進課の要望により、リサイクル資料の提供を行った。今年度は施設利用者層に合わせた種類の雑誌を約200冊を提供し、施設内の本棚に配置している。
- ・「巡回日程表ポスター」や「チラシ」を作成し、公園内に掲示、施設内で配布するなどのPRを行なったことで地域住民に広まり、利用者も徐々に増加、固定の利用者も得ることができた。

【市政図書室】

- ・21の課から依頼された記事をデジタルサイネージで発信した。発信した記事は、合計で78件であった。（令和2年度は15課から55件の依頼）
- ・図書館ホームページにある市政図書室で販売している日野市の有償刊行物一覧の刊行物名に表紙や目次画像をリンクさせた（62タイトル）。遠方からの購入依頼があった。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・地域館ごとでの地域の特性を生かし、ニーズを汲んだ特徴ある取り組みを継続すること。新型コロナウイルス感染症の影響等で、十分に取組みできなかった取組みも再開に向けて検討を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

【改善策】

【高幡図書館】

- ・引き続きたかはたブッククラブを実施し、小学生に向けて本の世界の楽しさを伝える。
- ・高幡図書館および図書館ホームページのヤングコーナーを随時更新しながら継続的な情報発信を行う。
- ・近隣にある多摩動物公園・高幡不動といった地域資源を活かした展示等の取り組みを行う。また、他部署との連携した図書展示を引き続き検討し、多様な分野の本（資料）が提供できる図書館の強みをアピールしていく。

【日野図書館】

- ・引き続き、まちのアンテナとして活動する日野宿発見隊を支援していく。新型コロナ感染症拡大防止に努めながら、状況の変化に合わせ、柔軟な活動を企画・実施する。
- ・本の福袋の広報。
- ・町の情報センターとしての図書館の役割についても機能強化に努める。

【多摩平図書館】

- ・子ども家庭支援センター多摩平やたまだいら児童館との連携を継続していく。
- ・近隣の保育園や幼稚園の来館時の対応について再検討し、図書館サービスのPRに努める。
- ・日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」との連携を着実に深める（連絡会の開催、資料の貸出など）。図書館内の「P l a n T」利用者が必要とするビジネス書等のコーナー設置の検討もする。
- ・地域資料コーナー（多摩平団地について）の資料の収集、サインやPRの工夫により充実を図る。

【平山図書館】

- ・平山季重ふれあい館の構成部署と連携し合同企画を実施する。
- ・引き続き、闘病記・がん情報・認知症に関する資料の収集・提供を推進する。ヤングケアラーや周囲の理解の助けとなるよう、収集対象に「ヤングケアラー」を追加する。
- ・地域のイベントに合わせて関連資料を展示する。
- ・児童室におすすめ本のコーナーを再開する。
- ・引き続き、展示課題のSDGsに関連した資料の展示を行なう。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

【百草図書館】

- ・三沢中地区アクションプラン実行委員会との連携。
- ・百草地域団体、関連資料の購入、展示。
- ・児童が靴を脱いで利用できるスペースの設置等、本に親しみやすい児童室づくり

【移動図書館ひまわり号】

- ・石田環境プラザの新規利用者を獲得するための積極的なPR活動
- ・石田環境プラザ（ごみゼロ推進課）や石田地区自治会等と連携して、施設内での新たなサービスを検討する。
- ・旭が丘地区センター・石田環境プラザでの団体貸出資料の利用促進を図る。
- ・移動図書館車が巡回する21か所の地域を中心に市民への巡回PRを行う。
- ・団体貸出サービスの拡充。新規団体への巡回サービス実施や現在のサービス内容の見直し等。
- ・移動図書館車のサービス拡充に向けた現巡回方法の見直しの検討。また他部署との連携による新たな事業への取り組みも検討する。

【市政図書室】

- ・デジタルサイネージ（PONTANA）に市の刊行物やイベント情報を掲載し、市政情報の収集と発信を進める。
- ・市刊行物等を電子化し、図書館ホームページで閲覧できるようにする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
事業の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の推進にあたり、関係各課の進捗状況を調査する。 未着手の部分洗い出し、計画的に取り組めるようにするとともに、進捗状況を図書館協議会や教育委員に報告する。 ・子どもの読書活動を推進することを目的としたイベントを実施する。 	
事業の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係各課に対して計画の令和2年度進捗状況調査を行った。令和2年度中のコロナ禍の影響で、「(ボランティアによるおはなし会を) 部外者を入れることができないので、できなかった。」(保育園)、「夏休みボランティアスタッフの受け入れは行わなかった」(図書館) など新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止になった事業もあったが、おはなし会の開催(図書館)、パネル展示(郷土資料館、図書館)、絵本セットの貸出(児童館)、職員による自主研修「手作り絵本」(児童館)等、関係各課が工夫した活動を行っていることがわかった。 ・図書館では、ホームページ内の子ども向けコンテンツを充実させた。 「夏休み子ども★としょかん相談箱」のページでは、司書が子どもたちの質問や相談に、本を使って回答する企画を掲載した。※主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (3) 小中学生へのサービスを参照 また、「おうちでたのしもう!」のページでは、子どもたちが自宅で楽しめるように、図書館に関連した内容の間違い探しや、絵探し、パズル等を掲載した。 ・昨年度に引き続き、「子どもの読書に関するボランティア懇談会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。このため、各ボランティア団体(14団体)にアンケート調査を行い、感染症拡大の影響や活動内容の確認を行った。コロナ禍で、なかなか従来の活動ができない中でも、子どもの読書に関する市民や団体は、感染対策や工夫をしながら活動を続けていることがわかった。ホームページに子どもの読書に関するボランティア団体8団体の活動状況をホームページに掲載した。 	
事業の課題と改善策	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課における第4次子ども読書活動推進計画にある事業の推進。 ・オンラインを活用した取り組みと参加型の児童サービスの充実。 ・ボランティア団体の活動を把握し、図書館がそのハブとなる。 ・ホームページのコンテンツの充実と市内全体に行き届くような周知 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

【改善策】

- ・引き続き関係各課への計画の進捗状況調査を実施する。
- ・感染症拡大が、子どもの読書活動を推進する上でどのような影響を与えているのか、今年度も関係各課に調査を実施し、各課の課題解決の糸口となるよう、調査結果をフィードバックする。
- ・引き続き、図書館ホームページで子どもと本とを結びつけるコンテンツを充実させるとその周知。
- ・感染症対策をした上で「おはなし会」「たかはたブッククラブ」等、参加型の児童サービスを実施する。
- ・2年連続で中止となった「子どもの読書に関するボランティア懇談会」の再開を感染症の状況を考慮し検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (2) 乳幼児へのサービス																												
事業の概要	第4次日野市子ども読書活動推進計画にも基づき、0歳児から就学前までの乳児・幼児および保護者の読書活動を推進する。																												
事業の成果	<p>・おはなし会</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらおはなし会を再開した。</p> <p>参加が0人の会もあったが、ほぼ予定通りに実施できた。</p> <p>令和3年度は92回開催。延べ663名(子ども370名大人293名)の参加があった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 55%;">開催した回数</th> <th style="width: 30%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中央</td> <td>0.1.2歳の会(毎月第4木曜日開催):12回</td> <td>子ども 72名</td> </tr> <tr> <td>3~5歳の会(毎月第2水曜日開催):11回</td> <td>大人 67名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高幡</td> <td>0.1.2歳の会・3~5歳の会(毎月第2水曜日開催):11回</td> <td>子ども 69名 大人 48名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日野</td> <td>(毎月第3水曜日開催 年齢制限なし):12回</td> <td>子ども 17名 大人 11名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">多摩平</td> <td>0.1.2歳の会(毎月第2木曜日開催):11回</td> <td>子ども 128名</td> </tr> <tr> <td>3~5歳の会(毎月第4水曜日開催):11回</td> <td>大人 109名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平山</td> <td>0.1.2歳の会(毎月第3木曜日開催):12回</td> <td>子ども 25名 大人 24名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">百草</td> <td>0.1.2歳の会・3~5歳の会(毎月第3金曜日開催):12回</td> <td>子ども 59名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大人 34名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、5月12日(水)(中央・高幡)、4月28日(水)、と5月13日(木)(多摩平)は、おはなし会を中止とした。</p> <p>・「みんなでむかえる赤ちゃんのいるくらしリスト」の作成</p> <p>赤ちゃんのいる家族や祖父母などにむけての本のリストを作成。図書館窓口で本の展示とともに配布した。(テーマ展示 平山図書館1月、中央図書館2月)</p> <p>また、図書館ホームページにも掲載した。</p>			開催した回数	参加者数	中央	0.1.2歳の会(毎月第4木曜日開催):12回	子ども 72名	3~5歳の会(毎月第2水曜日開催):11回	大人 67名	高幡	0.1.2歳の会・3~5歳の会(毎月第2水曜日開催):11回	子ども 69名 大人 48名	日野	(毎月第3水曜日開催 年齢制限なし):12回	子ども 17名 大人 11名	多摩平	0.1.2歳の会(毎月第2木曜日開催):11回	子ども 128名	3~5歳の会(毎月第4水曜日開催):11回	大人 109名	平山	0.1.2歳の会(毎月第3木曜日開催):12回	子ども 25名 大人 24名	百草	0.1.2歳の会・3~5歳の会(毎月第3金曜日開催):12回	子ども 59名		大人 34名
	開催した回数	参加者数																											
中央	0.1.2歳の会(毎月第4木曜日開催):12回	子ども 72名																											
	3~5歳の会(毎月第2水曜日開催):11回	大人 67名																											
高幡	0.1.2歳の会・3~5歳の会(毎月第2水曜日開催):11回	子ども 69名 大人 48名																											
日野	(毎月第3水曜日開催 年齢制限なし):12回	子ども 17名 大人 11名																											
多摩平	0.1.2歳の会(毎月第2木曜日開催):11回	子ども 128名																											
	3~5歳の会(毎月第4水曜日開催):11回	大人 109名																											
平山	0.1.2歳の会(毎月第3木曜日開催):12回	子ども 25名 大人 24名																											
百草	0.1.2歳の会・3~5歳の会(毎月第3金曜日開催):12回	子ども 59名																											
		大人 34名																											

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

・引き続き絵本パック貸出を実施

中央図書館で実施していた絵本パックの貸出を、地域館（高幡・日野・平山・百草）でも行い、新型コロナウイルス感染症の影響で貸出状況に制限がある中で、短い来館時間内でも乳幼児の保護者が手軽に絵本を借りていけるような体制をさらに継続した。

中央図書館

令和2年度から引き続き41セット設置。令和3年度の貸出し回数は、のべ534冊。

高幡図書館

令和2年度から引き続き6セット設置。令和3年度の貸出し回数は、のべ174冊。

日野図書館

令和2年度から引き続き5セット設置。令和3年度の貸出し回数は、のべ186冊。

平山図書館

令和2年度から引き続き18セット設置。令和3年度の貸出し回数は、のべ240冊。

百草図書館

令和2年度から引き続き5セット設置。令和3年度の貸出し回数は、のべ78冊。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・再開したおはなし会の継続。
- ・家でも本に親しむための、ホームページコンテンツの充実。
- ・「みんなでむかえる赤ちゃんのいるくらしリスト」の効果検証
- ・地域館で開始した絵本パックの継続と、利用者の声を聞きながら発展させること。

【改善策】

- ・十分な感染症対策をとったおはなし会の実施
- ・「みんなでむかえる赤ちゃんのいるくらしリスト」をホームページに掲載
- ・短い滞在時間で絵本が借りていける絵本パック貸出事業の継続
- ・絵本パックについては「図書館にある絵本パックは全部借りてしまったので新しいセットがないか？」という問い合わせが何件か寄せられていることから、パックの中身を変えることや数を増やすことも検討。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (3) 小中学生へのサービス
事業の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向け資料の充実 ・中学生と作家の交流事業 ・中学生職場体験受け入れ ・本の森学級文庫の充実 	
事業の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が広がる中、おはなし会や夏休みジュニアスタッフの受入などの再開、ホームページの内容充実や、「夏休みこども★としょかん相談箱」などの新たな取り組みを行うことで、子どもと本をつなぐきっかけとなった。 ・乳幼児向けのおはなし会は2021年6月より再開したが、小学生向けのおはなし会については、感染症対策が十分に行えるかどうかを検討するために休止を継続していた。参加者の連絡先が確認できる申込制、時間短縮、定員制で「夏休みおはなし会」を開催。その後、申込制で10月からおはなし会も再開した。申込制方式は、参加者の年齢や人数が把握できるため、プログラムもより子どもに沿った内容を準備できるようになった。 ・「夏休みジュニアスタッフ」も定員枠を上回る申し込みがあり、19名の参加となった。 ・夏休み期間中は、コロナ禍のため、人が集まるイベント等は開催できなかったが、来館しなくても楽しめる事業を行った。コロナ禍より図書館ホームページ（こどもページ）では、家で楽しめるコンテンツとして「図書館員がやってみた！」（図書館員が本を利用して、実際に工作や料理を行い紹介するコンテンツ）の新作を追加した。また、「おうちで楽しもう！『図書館員がやってみた！』」（図書館員が本を利用して、実際に工作や料理を行い紹介するコンテンツ）に「パズル・まちがい探しをつくってみた」「入浴ざいをつくってみた」の2点を追加した。また「おうちでたのしもう」のページを新設した。このページには、クロスワードパズル2点、シークワーズパズル3点、「のらど〜こだ」2点。まちがいさがしや立体工作、ぬりえ（各1点）が含まれている。「夏休みこども★としょかん相談箱」で、子どもから疑問や質問を募集し、それらに図書館員が資料を使って回答する企画を実施した（全部で35の投稿に回答）。図書館の利用に関することから読書相談まで、幅広い質問が寄せられ、寄せられた質問への回答とともに関連本を展示。回答はホームページでも公開した。「ちょうど子どもから聞かれて参考にした」という保護者や、子どもの悩みに「こんなに丁寧に回答してくれてありがとう」と感謝する声があった 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・「絵本読み聞かせ入門講座」を5月20日（木）に多摩平の森ふれあい館で開催。感染症対策のため、定員10名、読み聞かせの実演も時間短縮等、変更せざるを得なかったが、参加者からは、「他の方の読み聞かせを聞いてよい点悪い点がわかった」「10名ほどで落ち着いてきてよかった」「読み聞かせをしてもらうことがなかったので心地よかった」等、声をいただいた。
- ・図書館への来館（見学・ボランティア活動等）も、小中学校のべ14校あった。
- ・小学3年生を対象に行っている学校訪問（図書館ガイダンス）を、希望する10校に実施した。
- ・昨年度、試行で実施した「プレたかはたブッククラブ」の成果を活かし、「たかはたブッククラブ」を実施。連続した3か月を1期として、全3期を実施（1期について3日実施。計9回を開催）。定員制（6名）をとり、小学生に本の世界の楽しさを伝えた（延べ26名参加）。

【1期（5月～7月）】

（5月）コロナ感染症対策のため中止。テーマに沿った「本の福袋（おたより、手紙の本）」の貸出

（6月）「うまれかわるよみがえる」をテーマに本を紹介。「生まれ変わりの勝五郎」のDVD上映も。地域について関心を持ってもらう内容も。

（7月）絵本の内容をもとにしたクイズを作成。子どもたち自身が、たくさんの本の中から正解を探すアクティブなクイズとなった

【2期（9月～11月）】

（9月）本の紹介（テーマ：たべもの）とおすすめ本のリスト配布

（10月）書庫ツアーと図書館クイズ

（11月）参加者同士でおすすめ本の紹介

（終了後、児童室に本とともに紹介パネルを掲示）

【3期（1月～3月）】

（1月）本の紹介（テーマ：色）とクイズ

（2月）書庫ツアーと図書館クイズ

（3月）本にちなんだクイズを出題、子どもたち自身もクイズを作成。縮刷版で自分の誕生日の記事探し

- ・絵本から読み物へ移行する段階で、読書に困難さを抱く子ども（小学校2年生程度を想定）とその保護者に向けた、本の世界の楽しさを伝えるリスト「どんなほんがすき？こどもよう part 1」「どんなほんがすき？こどもよう part 2」「大人向け どんな

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

ほんがすき? はじめてのひとり読みにおすすめの本」を発行した。このリストの作成に向けた準備段階より、学校での配布を念頭に置いていたが、リストの完成が年度末になったため、令和3年度は各館の窓口での配布を行い、令和4年度に向けて市内全小学校の2年生への配布やリスト掲載図書の見出しの展示を計画した。(令和4年度の「子ども読書の日」にあわせて市内全小学校2年生とその保護者へのリスト配布を実施、リスト掲載の資料の展示済)

- ・中学生と作家の交流事業として、佐竹美保氏をお招きし、講演会を11月7日(日)に開催した(参加者34名)。オンライン配信も行った(視聴者13名)。事前に、市内各中学校の中学生18名による企画運営会議を2回行った。当初全3回の予定だった会議を感染状況悪化により1回中止としたが、代わりにアンケートを行い、生徒の意見を取り入れることができた。企画運営会議は、異なる学校や学年の生徒が交流を持つ機会ともなっている。企画運営した中学生から講師へのメッセージでは「普段聞けないようなお話を聞いて良かった」という声が多数寄せられ、新しい視点で本を読むきっかけになったことがうかがえた。また、代表生徒からは「本の裏話など聞いていて面白かった」、「一緒に作り上げた企画も成功してとてもうれしかった」等の感想があり、講演会来場者からは「美保さんのことに関してもっと深く理解できて良かった」、「アイデアが素晴らしかったです。生徒の頑張りとても立派でした」などの感想があった。
- ・各館で、利用者がおすすめの本を紹介する取り組みを行ってきた。
- ・「本の森学級文庫」「特別な支援を必要とする児童・生徒へのサービス」については、「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(5)学校支援」の項目を参照

事業の課題と改善策

【課題】

- ・小学生向けおはなし会、たかはたブッククラブ、夏休みジュニア・スタッフの継続実施。
- ・ホームページのコンテンツの充実
- ・学校訪問(図書館ガイダンス)の実施
- ・作成した図書リストの効果的な活用
- ・中学生と作家の交流事業の継続実施
- ・中学生職場体験の受け入れ

【改善策】

- ・「小学生向けおはなし会」については、引き続き事前申し込み制をとる。このことにより、年齢層等を把握し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング(素話)だけでなく、本の紹介や工作など様々な切り口で、子どもと本の出会いを醸成できるようなプログラ

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

ムを実施する。「たかはたブッククラブ」については、1期につき3回連続（月1回）実施、定員制であることを活かし、その後、参加した子どもの図書館の継続利用につながるようなプログラムを実施する。いずれも、新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、対策を十分にとって行う。

- ・ホームページに「図書館員がやってみた！」等のコンテンツを、順次新たなものを追加していく。
- ・小学校3年生を対象に行っている学校訪問（図書館ガイダンス）については、訪問先の学校と感染症対策について十分に認識を共有し、担当する各地域館の魅力を伝えるガイダンスに取り組む。
- ・「どんなほんがすき？こどもよう part 1」「どんなほんがすき？こどもよう part 2」「大人向け どんなほんがすき？ はじめてのひとり読みにおすすめの本」リストの市内全小学校2年生への配布、また、「子ども読書の日」に合わせた企画として、リストを活用した展示を実施する。
- ・中学生と作家の交流事業として、中学生に人気の作家や、本に携わる人を招き、中学生による中学生対象の講演会を実施する（中学生をメンバーとする企画運営会議を事前に3回行う。講師は汐見夏衛氏を予定）。この事業を実施していることを広く周知するため、開催報告を図書館ホームページに掲載する。
- ・中学生職場体験受け入れについては、感染症対策を十分にとり、体験希望のあった学校から生徒を受け入れる。不特定多数との接触を避けたプログラム（カウンターでの貸出返却業務を行わない等）を設定しつつも、図書館で働くことの意義、楽しさを得てもらうよう取り組む。
- ・本の森学級文庫の充実については、主要事業2-（5）学校支援」の項目を参照

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (4) 青少年へのサービス
事業の概要	
第4次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する	
事業の成果	
<p>●日野ヤングスタッフと他団体との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月13日(土)～14日(日)に開催された実践女子大学学園祭「常磐祭」が、対面形式での企画が中止となったため、ヤングスタッフのメンバーが出向いて企画等を行うことができなくなった。このため、11月11日(木)に図書館の他の展示(1 地域の分館を創る拠点となる図書館を目指します (5) 関係機関との連携 大学図書館との連携 を参照)といっしょに、ヤングスタッフの展示を学内に持ち込み、展示コーナーを設置するのみの参加となった。・大学連携事業を通じて活動の様子を共有し、交流機会の検討をおこなった。 ・実践女子大学図書館学生スタッフ企画の「選書ツアー」の冊子をヤングスタッフコーナーで配布した。(2021年5月下旬～ 30冊受け入れ28冊配布) <p>●発行物作成・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヤングスタッフ活動日誌」の更新(7回) ・ヤングスタッフによる展示「三題漸風展示」(8月20日～) <p>※三題漸風展示</p> <p>三題漸は、落語の形式の一つ。落語家が客から随意に三つの題を出させ、それを即興的につづりあわせて一つの話とするもの。</p> <p>ヤングスタッフのおすすめの本に、専用のブックカバーをかけて、本のタイトル等を隠して展示。ブックカバーには、その本を表す3つのキーワードを記載して本を紹介している。</p> <p>例:「吉祥寺」「腹黒美少年」「喫茶店」⇒「オーダーは探偵に」近江泉美/[著] アスキー・メディアワークス 東京 2012.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレー小説第1回公開(10月21日～) ・作家リストの発行準備 ・ヤングスタッフ作成の葉配布 高幡・多摩平・平山(2月9日～) ・ヤングスタッフおすすめ本紹介「旬の推し本」更新(3回) <p>●各館での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推し本展示を多摩平図書館でも開始(7月13日～) ・職員によるヤング世代向け展示 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

ホラー展示（7月1日～8月31日）@高幡図書館

テーマ展示「レポートを書く」（2月13日～）@高幡図書館

●ヤングスタッフの増加

- ・ヤングスタッフの紹介で1名増（大学生1名）
- ・ホームページなどで興味を持っての申込で1名増（大学生1名）

*令和3年度のスタッフ数・・・9名

●その他の取り組み

- ・コロナに伴い、ZOOMを使ったWeb会議を中心に、対面との併用で活動をおこなった。実施回数は8回であった。
- ・連想企画「絵画・短歌などから物語を想像する」を実施し、各々の作品を持ち寄り、意見交換をおこなった。ホームページ公開準備中。
- ・高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板を1年間実施した。4枚のコメントが集まった。コメントは、「自分が悩んでいた時に刺さった一冊だった」というふうに、利用者からのヤングスタッフのおすすめ本への感想や、本の紹介文へのコメントだった。ヤングスタッフは、これらひとつひとつに回答を掲示。年間で4枚のコメントは多いとは言えないが、このような交流を大切にするためにヤングスタッフの活動を充実させて、数を増やしていきたいと考えている。
- ・11月21日（水）に開催された「2021 ひの まなびの まつり」（生涯学習課主催 会場：多摩平交流センター）のイベントにて、日野市の生涯学習の場を紹介するコーナーで、ヤングスタッフが自らの事業の紹介をおこなった。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・オンライン等を活用したヤングスタッフの活動継続。
- ・就職などで活動の中心となるメンバーの卒業が見込まれ、ヤングスタッフ内での世代交代が近いこと。
- ・さらに多くの高校生、大学生が参加できる機会を広げ、活動を進展させること。
- ・活動内容のPR方法の検討

【改善策】

- ・Web会議を継続し、意見交換する機会を定期的に設けるようにする。
- ・ヤングスタッフホームページの更新を継続し、活動の発信を行う。
- ・PR方法を検討する。
- ・活動内容の引継ぎや情報共有などを行い、活動の継続を図る。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (5) 学校支援
事業の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を支援するために、小中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校搬送便や読み物セット「本の森学級文庫」の配本を実施する。 ・また、小中学生の読書活動の推進を図るため、司書教諭連絡会等での情報交換、学校からの依頼による調べ学習のための資料の搬送、貸出資料リストの提供等により、学校図書館との更なる連携の強化を図る。 ・図書館・学校図書館システムを活用し、より迅速、正確に学校図書館と情報共有する。 	
事業の成果	
<p>●本の森学級文庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年への配本冊数を40冊から増冊し、事業の更なる拡充を図った。(令和2年度は6学年が3クラスある10校に対してのみ増冊したが、令和3年度は2学期の配本から全小学校の6学年に対して約20冊を増冊した。)[小学校17校各学年へ年3回(学期ごと)の配本] <p>【本の森学級文庫配本実績】</p> <p>小学校17校各学年へ年3回(学期ごと)も配本。 延べ51回 17,099冊(令和2年度実績 延べ51回 16,664冊)</p> <p>●学校搬送便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の調べ学習・宿題・読書指導等で本が必要な場合、資料を各学校に学校搬送便で送り、貸出している。所蔵している資料だけでなく、依頼の多いテーマや内容を参考にして学校搬送便用に購入した資料を、学校からのリクエストに応じて貸出を行っている。 ・七生緑小特別支援学級(あおぞら学級)の生徒が、百草図書館に来館して本を選び、その本を学校搬送便で送るようになった。これまでは、先生が選んでいたものが、生徒自らが選ぶようになったもの。他の小学校からも同じ要望が来ている。 ・学校搬送便の資料を充実させるために、どの調べ学習用の資料が役立ったかなどを記入できるシートを同封し、その結果を選書・購入に反映させた。依頼の多いテーマについては、溜め込みリストを引き続き作成した。令和3年度はリストが5項目増えて合計13項目となった。 ・学校課が実施した図書協力員研修(10月26日(火)/場所:日野第六小学校)に講師として参加し、「図書室PCのセキュリティについて」「児童図書の選書方法」などの研修を実施するなど連携の強化を図った。 ・「調べ学習用資料搬送」の年間利用件数がやや減少した。例年、司書教諭連絡会が行われた後に依頼が増えるが、令和3年度は連絡会が実施されなかったため、 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

学校搬送サービスのPRができなかったことも影響している。

【学校搬送実績】

		学校数 (校)	クラス数 (クラス)	延べ回数 (回)	資料数 (冊)
調べ学習用	小学校	17 (16)	45 (54)	82 (89)	2,997 (3,194)
資料搬送	中学校	2 (4)	2 (5)	3 (9)	153 (489)
特別支援学級搬送	小学校	2 (2)	2 (2)	8 (10)	387 (674)
合計			49 (61)	93 (108)	3,537 (4,357)

※かっこ内の数字は令和2年度実績

事業の課題と改善策

【課題】

- ・本の森学級文庫の資料、学校搬送用資料の定期的な買い替え
- ・学校図書館の担当者（司書教諭、学校司書）や教諭との綿密なコミュニケーションと連携
- ・次期図書館システム構築に向けた「学校図書館システムを活用した運用方法」の検討

【改善策】

- ・司書教諭連絡会やその他の研修等にも参加して情報共有を行う。
 - 学校搬送の実績報告や「搬送申込書」「貸出リスト」の記入方法等の説明をするなど教諭への周知を図る。「貸出リスト」には、搬送資料の使用頻度等の評価をしてもらう欄があり、選書・購入の参考となるため、積極的活用を呼び掛ける。
 - 本の森学級文庫配本の各校の活用状況を確認する。
- ・学校支援の拡充に向けて、選書・運用に携わる担当者が情報共有する目的で「図書館内担当者会」を定期的に実施する。
 - 連絡会で得た情報等も参考にして現サービス内容の見直しなど検討を行う
 - 「配本」「学校搬送」サービスの作業手順マニュアル（職員用）を作成して係会や館内研修等で全職員へ周知を図る。
 - 次期図書館システムおよび学校図書館システムの構築に向けて学校図書館システムを活用した情報共有や新たな連絡方法の導入について検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 障害者サービス事業		
事業の概要			
<p>通常の印刷文字での情報入手が困難な方や、図書館への来館が困難な方などに対し、情報提供や情報入手サポートを行う事業。主な実施内容は①音訳・点訳資料の制作・貸出 ②音訳・点訳者の養成 ③対面朗読 ④資料宅配サービス⑤読書機器の使い方指導 ⑥その他</p> <p>これらのサービスを図書館が行っていることを広く周知し、必要とする人に提供する。</p>			
事業の成果			
<p>① 音訳・点訳資料の制作・貸出</p> <p>制作は全て、利用者に図書の情報積極的に提供し、利用者からのリクエストに基づいて行った。点字図書、録音図書ともに令和3年度は令和2年度に比べて、比較的ページ数が多い資料の作成をおこなったこともあり、またチェックにも時間がかかるためにタイトル数、巻数が減った。テープ図書については、資料の劣化が激しいことと、DAISY図書の利用が増えたことに伴い、貸出数は減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の音訳、点訳資料の制作、貸出状況は次のとおり <ul style="list-style-type: none"> 点字図書 作成枚数：3,912枚 (7,754枚) <li style="padding-left: 20px;">貸出：369タイトル 536巻 (396タイトル 568巻) 録音図書作成：DAISY図書 47タイトル 47巻 (48タイトル 48巻) <li style="padding-left: 20px;">貸出：テープ図書 24タイトル 148巻 (43タイトル 208巻) <li style="padding-left: 40px;">DAISY図書 3,852タイトル 3,852巻 <li style="padding-left: 60px;">(3,565タイトル 3,565巻) 音訳者登録数 36名 (36名) 点訳者登録数 15名 (14名) <li style="padding-left: 20px;">※カッコ内は令和2年度の数値 ・録音図書、点字図書の他市との相互貸借の状況は次のとおり 			
		貸出	借用
テープ図書	タイトル数	—	22 (37)
	巻数	—	144 (195)
DAISY図書	タイトル数	9,284 (8,078)	1,303 (1,291)
	巻数	9,284 (7,360)	1,303 (1,291)
点字図書	タイトル数	4,503 (4,985)	140(109)
	巻数	4,518 (5,000)	297(274)
※カッコ内は令和2年度の数値			

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

② 音訳・点訳者の養成

- ・音訳者の音訳活動の質を高めるために11月1日（月）・15日（月）の2回に分けて講習を行った。講習の内容は音訳者の状況に合った講義内容であった。新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため36名の音訳者の内12名の受講とした。
- ・録音図書制作に関する個別講習や、点訳絵本制作に関するアドバイスを日々行った。

③ 対面朗読

- ・引き続き飛沫感染防止シートの設置や手指消毒の励行、対面朗読を行う部屋の換気と手が触れる箇所の消毒を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながら実施した。
- ・令和3年度より新たにオンラインでの対面朗読を開始した。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のためと、利用者からの要望によるものである。オンラインでのサービスを開始したことにより、図書館に来ることができなかった視覚障害者が、対面朗読を利用できるようになったケースが2件あった。
- ・令和3年度の対面朗読の実施状況は次のとおり。
85件 延べ193時間 延べ音訳者数150人
(そのうちオンライン3件 5:5時間 4人)
(令和2年度 118件 延べ293時間 延べ音訳者数217人)
対面朗読を定期的に毎週利用されていた2名の方が、令和3年度から利用を停止したため、件数、時間とも減少した。2名の方とも高齢ということもあり、オンラインでの対面朗読につなげることはできなかった。

④ 資料宅配サービス

- ・病気や障害など、何らかの事情で図書館まで出向くことが困難な方に本を届ける宅配による貸出を、職員と宅配ボランティアによって実施した。
- ・宅配ボランティア向けの新型コロナウイルス感染症予防チェックリストを作成して検温などの体調チェック、手指の消毒などを促すとともに、ボランティアの方に携帯用消毒剤を配布するなど安全対策を講じた。
- ・職員が直接利用者と対面する機会にもなった。ご病気などで外出困難であった利用者の場合、宅配サービスを受け新しい情報を得ることで回復の手助けになったり、職員と対面することで気分が張りが出たり等の効果を得ることができた。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

令和3年度の資料宅配サービスの利用実績、ボランティアと職員の内訳は次のとおり。

利用者 37 人、325 回、1,473 冊（令和2年度は、39 人 281 回、1,406 冊）

内訳	利用者数	回数	貸出冊数
職員による	17 (17)	274 (231)	1,381 (1,179)
ボランティアによる	20 (22)	51 (50)	92 (227)
合計	37 (39)	325 (281)	1,473 (1,406)

※カッコ内は令和2年度の数値

⑤ 読書機器の使い方指導

- ・視覚障害者への iPhone の利用方法に関する講習を7名に行った。

⑥ その他

前年度に引き続きコロナ禍への対応を行うとともに、利用者の利便性を考慮したサービスを行った。

- ・6校の小学校からの依頼により、4年生を対象に点字授業を実施した（令和2年は7校）。うち2校はオンラインで実施した。点字授業では、事前に授業で紹介する本や視覚障害者用生活用具、点字付商品を貸し出し、点字の書き方や点字体験、視覚障害者の生活の紹介等を行った。
- ・地域協働課と連携し、障害のある市民本人やご家族に直接障害者サービスPRを行えるようにするため、自治会回覧板にて、「障害者サービス利用案内」・「すべてのこどもたちに読書の喜びを」の配布を開始した。
- ・障害福祉課による「障害者週間イベント」とコラボレーションして、児童向けに「LLブックってなあに？」の展示を11月30日（火）～12月10日（金）の間に中央図書館で実施、LLブックのリストと本の展示を行った。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・オンラインを活用したサービスの拡充。
- ・障害者サービスのさらなる周知。
- ・対象者のニーズにどの程度応えられているかの把握。

【改善策】

- ・利用者との対話を深めサービスの感想を聞き出し、サービスの向上に努める。
- ・引き続きさまざまな手法で制度を周知していく
- ・聴覚障害者の方の利用を促すため、館内入口に手話の表示をする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 地域・行政資料のデジタル化事業
事業の概要	
<p>日野市のあゆみを伝える貴重な資料である地域・行政資料を将来に残すため、より多くの方に利用していただくために、デジタル化し図書館ホームページで公開する。</p> <p>令和2年度に実施した昭和期の日野市刊行物のデジタル化に続く取り組みとして、平成期前半の日野市刊行物のデジタル化を実施する。</p>	
事業の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非来館型サービスの充実を目的に令和3年度新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金（内閣府）を活用し、令和4年1月から2月に平成期前半の日野市刊行物 291 点（20,000 頁）をデジタル化した。3月26日、図書館ホームページの「地域・行政資料デジタル」に「平成期」のページを新設しこれらデジタル化した資料を掲載した。（令和2年度実績：529 点 120,569 ページをデジタル化し、422 点を公開） ○主な掲載資料 <ul style="list-style-type: none"> 広報ひの、市勢要覧、市議会本会議会議録、市議会だより、予算書、決算書、市税概要、固定資産概要調書、学校教育要覧等 1. 平成期後期以降の各課のデジタル資料の内、市ホームページを参照して、図書館が所蔵していない計画、報告等のペーパーレス資料を中心に資料を抽出。15課・28項目の資料についてリストアップを行い、図書館ホームページの「地域・行政資料デジタル」に令和4年度に向けて掲載する準備を進めた。 	
事業の課題と改善策	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業継続のための予算確保 ・ ペーパーレス化が進む平成期後半からの日野市刊行物のPDFデータの確実な収集 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の令和4年度政策課題連携予算に、「歴史的公文書のデジタル化事業」を政策提案し、事業費を確保。令和8年度までの5年計画の事業とする。 ・ ペーパーレス化した市刊行物を確実に収集し、可能なものは公開できるよう、各課への依頼・照会の方法を工夫し、市政図書室の役割と資料提供のルールについて周知を図る。 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

・ 第3次日野市立図書館基本計画の取組

事業項目	1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
事業の概要	
<p>人と地域のつながり・文化を創る取り組みを行う。</p> <p>(1) 地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>(2) 市民に役立つ情報の提供</p> <p>(3) 市民の図書館活動・運営への参加</p> <p>(4) 地域で活動する団体との連携</p> <p>(5) 関係機関との連携</p>	
事業の成果	
<p>(1) 地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>■ 地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>高幡図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の教科書（約 450 冊）を児童書コーナーに移動し地域資料コーナーを拡大した。 ・ 地域資料約 1300 冊中、39 冊を書庫に移管、また複本が中央図書館地域資料室、あるいは市政図書室にあり、高幡図書館ではほぼ利用されていない資料 80 冊について廃棄した。さらに、地域資料コーナーに分類記号ごとに差込式案内表示を掲示した。これらにより、特に高幡地域周辺の資料コーナーの資料を探しやすく、配架しやすい状態に改善できた。 <p>多摩平図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も多摩平の森ふれあい館で活動している句会の会誌（「暦日」隔月刊）を続けて寄贈してもらい、地域市民の活動を広く市民に提供することができた。 ・ 多摩平岡地についての地域資料コーナーの設置ができた。詳細は、「主要事業 1 第3次図書館基本計画推進事業」を参照 <p>平山図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平山季重まつり」が中止、3月6日（日）に開催予定であったひらやまえんにちも延期となったため、地域資料の展示も延期となった。 ・ 郷土資料館作成の平山季重や平山地区の歴史を知るパネルを新しいものに更新した（16枚）。足を止めて見ている市民が多く見られた。 ・ 日野市・八王子市共催「浅川写真コンクール」の受賞作品のパネル展示をブ 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

ラウジングスペースで行った（12月）。鑑賞を目的に足を運んだ方のほか、利用の多いブラウジングスペースでの展示だったので、多くの市民の目に触れた。

市政図書室

- ・市政図書室開架にある資料のうち、壁面書架の1,238冊を旧平山台小倉庫に移動した。移動した資料は、日野市以外の自治体が発行したもので、発行年度が古く、5年以上利用がほぼなくなっているものである。
- ・上記の移動の結果、壁面書架資料の大半の背表紙が見えるようになり、利用しやすくなった。

百草図書館

- ・12月～3月まで郷土資料館との連携により「青木角蔵パネル展」を1階ギャラリーにて掲示した。また、同時期に開催していた「縄文の顔・日野の顔」にちなみ、1月～2月の2か月間、縄文に関する資料展示を図書館で行った。
- ・郷土資料館のホームページと日野市立図書館のホームページで相互にPRを行い、百草図書館と連携していることを明記した。また、2～3月で行われた「散歩の達人」×日野市の「日野・百草 スマホで集めるスタンプラリー」（ふるさと文化財課）特別編集冊子を館内、また1階入口前で配布したところ、多くの方が手に取っていかれた。（約200部配布）

中央図書館

- ・中央図書館所蔵の地域・行政関連リーフレット、パンフレットを確認し、欠号を補充した。リーフレット、パンフレットの所蔵ファイルを改定し、中央図書館の1階と2階のレファレンス室のカウンターに配架した。

■市政図書室の機能充実

- ※「主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業」を参照
- ※「主要事業4 地域・行政資料のデジタル化事業」を参照

(2) 市民に役立つ情報の提供

■情報コーナーの設置

高幡図書館

- ・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防のポスター・チラシの掲示、配布に務めた。寄贈雑誌のタイトルを見直し、ラックの棚ごとの案内板を作成した。重なって収納されている寄贈雑誌を探しやすくなり、入れ替え作業が迅速にできるようになった。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

多摩平図書館

多摩平団地についての地域資料コーナーを設置。「主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業」を参照

平山図書館

- ・チラシ・ポスター・配布物を随時整理し、きれいに見やすく配置した。
- ・平山城址公園や平山季重のパンフレット類は、問い合わせも多いため、常に在庫に注意を払った。

百草図書館

- ・利用者の方の作品展示や、郷土資料館との連携事業（「主要事業1 第3次図書館基本計画」を参照）、図書館企画のポスター掲示により、図書館1階ギャラリーを活用した。

中央図書館

- ・募集期限切れや開催日終了後、またはその日が近いものをできるだけ整理して、配布物の間隔をあけて密にならないようにした。また、企画等の参加者の募集については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止となることが多々あったため、中止情報をインターネット等で入手し、中止のものにはポスターに「中止」と張り紙をして発信、チラシ等は撤去して情報が最新のものになるよう整理した。

■パスファインダーの作成と配布

日野図書館

- ・『新選組を読む・調べるために』の発行とホームページ版『新選組を読む・調べるために』を100部発行し、市内の各図書館で配布した。また、ホームページ版を更新した。

多摩平図書館

- ・日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」との連携を考慮して、起業者が必要な情報について書籍やWEBなどで調査した。これをパスファインダーにどう活かすか、日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」の担当者からの話を踏まえて検討を行っている。

市政図書室

- ・市政図書室パスファインダーNO.4「市政図書室で「統計」を調べる」・パスファインダーNO.5「市政図書室で「防災」を調べる」を作成した。作成に当たっては、「統計」「防災」について作成している他市図書館等のパスファインダーを収集した。パスファインダーに掲載する内容を検討した。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

(3) 市民の図書館活動・運営への参加

■日野ヤングスタッフの活動への支援

※「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (4) 青少年へのサービス」を参照

■ボランティア活動への支援

※「主要事業3 障害者サービス事業」の宅配ボランティアを参照

障害者サービス以外のボランティア活動についても検討したが、コロナ禍で人を集めることも難しいと判断し、対応時期も含め再検討することとした。

(4) 地域で活動する団体との連携

■日野宿発見隊の活動支援

※「主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業」の日野図書館を参照

■本の魅力を発信する団体・サークルとの連携

※「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業」を参照

■地域で活動する団体・サークルの活動支援

- ・地域で活動する団体・サークルへの活動支援として、図書館の集会室を開放している。定期利用団体は、半期（4月～9月・10月～3月）ごとに申し込みをし、利用希望曜日・時間帯が重なった場合は、抽選によって決定する。これまでは、申込団体すべての出席のもと、抽選会を行ってきたが、令和3年度後期の抽選会（5月31日（月）実施）は、希望が重なった団体のみでの出席で抽選会を実施。さらに、令和4年度前期の抽選会は、希望が重なっているところは職員が抽選を行い、結果を申込団体にメール等でお知らせする方法に変更した。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止と利用者からの要望によるものである。
- ・緊急事態宣言の発令に伴い、4月28日から5月11日まで全時間帯利用不可とした。午前・午後の利用は5月12日から再開したが、夜間利用については7月27日まで引き続き利用不可とした。該当する団体への連絡を徹底したため、適切に運用できた。
- ・中央図書館臨時休館のため3月12日を集会室利用不可としたが、利用予定の団体へ連絡し適切に運用できた。
- ・令和3年度の利用実績は次のとおり。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

	利用回数（カッコ内は前年実績）
集会室（中央図書館）	339（320）
読書会室（高幡図書館）	239（211）
談話室（百草図書館）	175（162）

■企業・商店等との連携

10月には毎年開催される「まちゼミ」に、ブックリストを作成することにより協力。令和3年度は、30種類のブックリストを作成した。各ゼミの内容に沿った本を数冊紹介するこのリストと併せて、地域館に「まちゼミ」に関わる本を展示。身近な場所で行われる「まちゼミ」ということもあり、多くの方が関心を持っていただき、本を手にする姿が見られた。作成したブックリストのタイトル（講座名）は以下のとおり。

- 大人のニキビ・繰り返すニキビのスキンケア
- プロ技直伝 ピカピカお掃除術
- そこが聞きたい、尿もれ予防と骨盤底筋の話
- 音楽療法による脳の活性化
- 歌う（楽に声を出す。）
- 抗原検査をして思いっきり笑おう！
- 簡単ペルー料理講座と和風ペルーランチ会
- シール感覚で簡単にできる食器の絵付け講座
- 職場体験が中止になった中学生の為のまちゼミ（製造編）
- リフォーム前に知っておきたい！失敗しないための収納の知識
- 教えます！高幡不動尊と商店街の年中行事を楽しむ方法
- 目からウロコの住宅購入テクニックを伝授
- 写真でチルろう！多摩平の思い出50年
- 「家買いたい！」と思ったアナタに知って欲しいコト
- あなたもパーソナリティに！～ラジオ講座～
- 外国人のお友だちを作れる英会話
- 売り上げに直結するPOPづくりの秘策！
- 職場体験が中止になった中学生の為のまちゼミ（接客編）
- タクシーのお仕事
- やりたいことを仕事にできる！「副業講座」
- なぜ、あのお店には入りたくなるの？
- 「日野と新選組」まことくん絵付け体験

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

キッズケータイ相談会（ご新規・機種変更）

スマホ切替え相談会

スマホ切替え相談会・キッズケータイ新規相談会

お正月の準備、型染めではじめましょう

はじめての『起業・副業』オンライン相談会

コロナ禍でも営業・販売成績を伸ばす方法

起業に必要！一番かんたんなホームページの始め方

子育ての悩みや負担感にサヨナラしましょう！

また、各地域館の取り組みは以下のとおり。

日野図書館

- ・12月14日（土）に日野宿発見隊主催のイベント「行灯をつくろう」を実施するにあたって、近隣の商店2店から材料提供という形で協力を得ることができた。

多摩平図書館

- ・テーマ展示「トマトを食べて元気になろう」を実施。「日野の野菜で安全安心！！」（日野市子育て課発行）などの地域資料も展示し、利用者が地域の特産品を知るきっかけをつくった。（4月）
- ・ビジネス関係の資料については、未所蔵の資料に対する予約を中心に、よく求められる書籍（副業や効率化等）の分野を把握し、選書の参考とした。なお令和4年度以降に日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」との連携や、ビジネス関連の資料の充実に役立てていく
- ・日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」における資料コーナー設置の試行を開始した（1か月、約25冊）

平山図書館

- ・「日野市の産業」というテーマで、図書展示を行なった（2月1日（火）～2月28日（日））。「日野市と関係のある企業のことを知るいい機会となった」等のご意見をいただくことができた。なお、19冊の資料を展示したが、これら資料の令和2年度の合計貸出回数が2回であったにもかかわらず、この展示によって令和3年度は33回となった。
- ・「農業園芸」のテーマ展示を行った。（3月1日（火）～3月31日（木））日野市の農業に関する図書も展示したが、コロナ禍以降、外出を控えている利用者は家庭菜園への関心が高く、家庭菜園の資料への問い合わせや貸出が主なものとなってしまった。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

(5) 関係機関との連携

■学校図書館との連携

※「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(5)学校支援」を参照

■大学図書館との連携

○実践女子大学との交流を継続し、更なる連携の強化を図った。

・実践女子大学常磐祭にて(11月13日(土)・14日(日))大学図書館内で市立図書館の展示スペースをもらい市立図書館PR展示を行った。(市立図書館全7館の紹介・ヤングスタッフ活動報告・日野宿発見隊の活動報告等)
・例年行っているひまわり号の参加、ヤングスタッフの企画等も行えなかったために、職員が学園祭に出向いて学生の反応を確かめることはできなかった。

・実践女子大学と連絡会を年2回開催した。(場所:①7月30日(金)実践女子大学、②3月4日(金)中央図書館)

○館内で担当者会議を行い、東京都立大学図書館、明星大学図書館との連携にむけた検討を行った。

○市内大学の図書館が市民に開かれていることを、ポスター掲示、図書館ホームページで引き続きPRを行った。

■周辺施設との連携

令和4年3月12日(土)～15日(火)に、多摩平ふれあい館3階にて「日野市春の平和展 日野びとの戦争体験と平和へのメッセージ」を平和と人権課が主催となって開催。この平和展で「図書館職員が選ぶ!『平和を学ぶ書籍』」の展示を行った。

明星大学の連続講座「多摩と生活」(教養科目 対象者:大学1～2年生)の一コマに、「多摩と文化活動:日野市の図書館活動」を設けてもらい、1月20日(木)に館長が講師として赴いて授業を行った。

また、各地域館において、館周辺の施設と連携を図ってきた。

日野図書館

・中央公民館やひの児童館など地域の施設の職員が集う「ご近所会議」で月1回情報交換を行ってきた。地域の施設間で協力体制が築かれ、継続して以下の連携事業に円滑に取り組むことができた。

○日野図書館おすすめ本コーナーをひの児童館に設置し、月替わりで約20冊の児童書を配架して好評である。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- リサイクル雑誌が、ひの児童館で再活用されている。
- ひなまつりには、中央公民館の事業に協力し、つるし雛を日野図書館館内に飾った。
- 3月17日(木)、中央福祉センター主催の避難訓練に参加し、地域ぐるみでの避難方法をシミュレーションできた。

多摩平図書館

- ・11月に日野税務署からお声がけをいただき、テーマ展示「税を考える」を実施した。
- ・日野消防署とコラボして春の火災予防運動に合わせて、消防に関する本を展示(3月1日(火)～10日(木))。消防に関する本に加えて、日野消防署から借用した消防車の模型なども展示した。特に絵本は複本を用意しなければならないほど貸出されていた。消防署の方からは今後もコラボ展示を行いたいと言っていた。
- ・日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」、近隣子育て関連施設との連携については、主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業の多摩平図書館を参照

百草図書館

- ・郷土資料館、子育てカフェモグモグとの連携を行った。詳細は「主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業」を参照

■周辺地域との連携

平成19年度より「京王線沿線7市図書館連携」を行っており、八王子市、府中市、調布市、町田市、多摩市、稲城市と相互に市民が利用できるよう協定を結んでいる。令和元年度に立川市、国立市とも協定を結び、相互に市民が利用できるようになった。利用状況は次のとおり。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

日野市民の他市図書館利用状況

	登録者数 (人)	貸出冊数 (冊)
八王子市	97 (103)	9,948 (8,376)
府中市	90 (79)	5,538 (3,801)
調布市	34 (27)	1,520 (957)
町田市	7 (4)	153 (76)
多摩市	198 (106)	27,006 (20,700)
稲城市	24 (25)	3,353 (3,147)
立川市	213 (202)	7,471 (4,975)
国立市	18 (15)	229 (291)
合計	681 (561)	55,218 (42,323)

他市市民の日野市立図書館利用状況

	登録者数 (人)	貸出冊数 (冊)
八王子市	384 (265)	46,614 (43,125)
府中市	25 (17)	1,192 (860)
調布市	7 (9)	34 (19)
町田市	11 (10)	663 (744)
多摩市	61 (29)	4,712 (4,349)
稲城市	3 (5)	261 (184)
立川市	27 (29)	1,018 (643)
国立市	20 (23)	459 (466)
合計	538 (387)	54,953 (50,390)

(カッコ内は前年実績)

事業の課題と改善策

【課題】

- ・ 地域・行政資料を引き続き収集・提供・保存するとともに、整理も行う。
- ・ 利用者や地域の特色を活かした展示の実施、情報発信を行う。地域館で地域に関連あるパスファインダーを作成する。
- ・ 地域で活動する団体やサークルに、活動拠点を提供。
- ・ 企業や商店、関係団体との連携

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

【改善策】

- ・引き続き、日野市、市内の機関・団体、在住者等が作成したもの、また、これらについて記載された図書、雑誌、パンフレット、チラシ等の地域・行政資料を積極的に収集し、提供していく。各地域館はその地域に関する資料を積極的に収集し、提供していく。一方で、書架が溢れかえることがないように、一定の基準をもって資料の整理に当たる。
- ・地域情報コーナーの充実、地域のチラシ・ポスターを随時整理し、きれいに見やすく配置し、配布物は目に留まりやすいようにする。
- ・多摩平図書館では、日野市多摩平の森産業連携センター「PlanT」と連携しつつ、ビジネス関連のパスファインダー、日野図書館では、「新選組を読む・調べるために」を引き続き更新するなど、地域に関連あるパスファインダーの作成。
- ・中央図書館・高幡図書館・百草図書館の集会施設を生涯学習に活用してもらうために、これら施設の利用を、広報等を活用して周知を図る。集会施設を定期利用する団体向けに、「定期利用抽選会」を年2回開催する。抽選会の実施方法を令和3年度に変更したが、利用者の意見を踏まえて必要に応じて変更する。
- ・ブックリスト作成によるまちゼミへの協力を継続。また、まちゼミの開催を図書館内でテーマ展示を行ってPRを行うこと等で地元商店街との連携を図る。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
事業の概要	
<p>本を通じて人と人とのつながりを創る取り組みを行う。</p> <p>(1) くつろげる「居場所」としての環境の充実</p> <p>(2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号の活用</p>	
事業の成果	
<p>(1) くつろげる「居場所」としての環境の充実</p> <p>■設備の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、「衛生的な環境」の整備に注力した。手指消毒液は絶やさないよう各館に配備し、利用者が触れる部分を消毒する消毒液や雑巾、使いきり手袋ほかの消耗品を各館に配置して感染拡大防止に努めた。また、館内の空気を循環させるため、壁掛け扇風機の設置（中央図書館・高幡図書館）、窓開け補助具の設置（高幡図書館・百草図書館）を行った。 <p>■ニーズに応じた多様なスペースの確保</p> <p>高幡図書館では、持込パソコンを利用するための電源席を2階に設置していたが、利用者の利便性を考え、職員の発案で令和3年3月の緊急事態宣言明けから移設1階に移設した。その結果、電源席の存在を知っている人のみの利用だったが、1階に移動したことで席に気づいて利用される方も増えた。また、電源席として利用がない際は、閲覧席としても利用できるようにしているため、新聞を閲覧する方にも好評である。</p> <p>(2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み</p> <p>■おすすめ本の紹介</p> <p>中央図書館：・8月に夏休み企画で水路清流課の協力により、「図書館ミニ水族館」を実施。多摩川や浅川に生息する魚を入れた大型水槽を2つ展示コーナーに設置し、合わせて日野の自然や浅川・多摩川の自然に関する本を展示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺防止月間である9月に「わたしを支えてくれた本」というテーマで、おすすめ本と本にまつわるエピソードを紙に書いてもらい、本と併せて展示した。約30件の回答が集まった。プレスリ 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

リースも行い、展示の様子は図書館ホームページや図書館報「ひろば」で周知・報告した。

- ・12月に「サンタさんを探せ！」というテーマで、サンタクロースが出てくるおすすめ本を募集し、本と併せて展示した。

高幡図書館：・夏休みジュニア・スタッフ2名に、おすすめ本のポップを書いてもらい、書影と共に児童室に展示した（8月）。後日、夏休みジュニア・スタッフの子が友だちを連れて来館し、ポップを友だちに紹介していた。

- ・高幡図書館の夏休み企画「みんなでつくろう ひまわりのはなばたけ！」（7月17日（土）～8月31日（火））で、子どもたちに「おすすめの本」をひまわりの折り紙に書いてもらい、壁に飾って展示した。兄妹で一緒に隣に並べて飾り、ニコニコしている様子が見られた。そんな様子を見て、「自分も書きたい」と言って、カウンターにひまわりを取りに来てくれる子もいた。ほかの子がどんなことを書いているのか気になって、じっと飾られたひまわりを眺めている子もいた。ひまわりは101本集まった。

- ・高幡図書館の冬の企画「オリジナルゆきだるまをつくろう！」（12月1日（水）～2月13日（日））で、子どもたちに「おすすめの本」と雪だるまの顔を折り紙に書いてもらい、壁に貼って展示した。まだ文字が書けない子も、雪だるまの顔や体の模様を描いて、楽しそうに作ってくれた。来館するたびに、雪だるまを増やしてくれるリピーターの子もいた。雪だるまは合計248体集まった。

- ・「たかはたブッククラブ」7月企画として、小学生におすすめ本のポップを書いてもらい、そのポップと紹介本を児童室に展示した。ポップは5枚集まった。

- ・「たかはたブッククラブ」11月企画として、小学生におすすめ本の紹介パネルを書いてもらい、参加者同士で紹介しあった。ブッククラブ終了後、パネルと書影を児童室に展示した。パネルは7枚集まった。

- ・「たかはたブッククラブ」3月企画として、小学生におすすめ本に関するクイズを作成してもらい、ブッククラブの参加者同士でクイズを出しあった。終了後は、クイズと書影を児童室に展示し

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

た。クイズは6枚集まった。

日野図書館：夏休みジュニア・スタッフに、ポップを作成してもらった。

作成したポップと、ポップで紹介された本を展示することで、利用する同世代の利用者におすすめの本についての情報を発信することができた。

多摩平図書館：・今年度より、おはなし会で紹介した本の展示と貸出を開始した。

・ヤングスタッフおすすめ本の展示を7月から実施している。多摩平図書館にはヤングコーナーがあることもあり、ほとんどの本が貸し出しされている状態であった。

百草図書館：・令和2年度から行っている企画で好評の、利用者の方や職員がおすすめの一文を抜き出して袋に入れて中身がわからないようにして貸し出す「図書館本X」を今年度も実施した。4月～9月を準備期間とし、10月から19冊配架した（令和2年度は17冊）。また、利用者から、「本を選ぶ時も、袋を開ける時もドキドキわくわくして楽しかった。また是非やって下さい」との反応をいただいた。それだけでなく、「テーマごとに数冊ずついれられた福袋・テーマ袋のようなものも作ってほしい」との要望もいただいた。

・利用者参加型展示については、好きな絵本のタイトルでしりとりをしてもらう「しりとりポスター」、好きな絵本を書いて秋の景色を作る「紅葉ポスター」を実施した。

■各種イベントの拡充

新型コロナ禍の中感染症対策を十分に行い、以下のイベントを実施した。

・連続講座「はじまりの読書会」全4回連続講座

10月1日（金） 『一茶』藤沢周平／著

11月5日（金） 『小林一茶』井上ひさし／著

12月3日（金） 『銀河鉄道の父』門井慶喜／著

1月7日（金） 『イーハトーボの劇列車』井上ひさし／著

会場：高幡図書館 7名参加（応募者11名 抽選で参加者を決定）

講師：青木祥子氏

※連続講座終了後、参加者により市民の読書会サークルが自主的に結成され、独自に活動を開始した。月に1度、高幡図書館読書会室を利用して活

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

動されており、3名程度の方が集まっている。

- ・中学生と作家の交流事業 佐竹美保さん講演会

11月7日(日) 於 多摩平の森ふれあい館

※「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(3)小中学生へのサービス」を参照

(3) 移動図書館ひまわり号の活用

- 移動図書館ひまわり号による「つながり」を創る取組

※「主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業」を参照

事業の課題と改善策

【課題】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続、必要に応じた修繕、改修の実施
- ・様々な利用者がおすすめ本を紹介する各館での取り組みの継続
- ・各種イベントの実施

【改善策】

- ・館内で利用者が手を触れる場所の消毒や、手指消毒液の配置による手指消毒の励行等により、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続する。
- ・施設を随時点検し、必要な個所は修繕を行うとともに、改修により利用者が利用しやすくなるよう工夫する。
- ・夏休みジュニア・スタッフや研修でいらした方におすすめ本のポップ作成の依頼を継続するとともに、様々な世代の利用者が気軽におすすめ本の情報を発信できる取り組みを継続する。
- ・読書会、中学生と作家の交流事業の継続

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 市民の読書活動を推進します																										
事業の概要	<p>本と出あい、本と親しむ機会を創る取り組みを行う。</p> <p>(1) 本と出あうきっかけづくりの拡充</p> <p>(2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み</p>																										
事業の成果	<p>(1) 本と出あうきっかけづくりの拡充</p> <p>■ポップ、ポスター展示、図書館報「ひろば」等による本の紹介</p> <p>・図書館報「ひろば」を毎月発行し、新しい本や図書館員おすすめ本の紹介をした。各館で、夏休みジュニア・スタッフや職場体験、教員研修や大学生の図書館実習でいらした方におすすめ本の紹介とともにポップを作成してもらって展示を行った。中央図書館では、豊田小学校の3・4年生の児童が、総合学習の時間に作成したポップをお預かりし、紹介されている本と並べて展示した。高幡図書館では、「たかはたブッククラブ」の企画で、おすすめ本のポップ、パネル、本に関するクイズを作成し掲示した。子どもから大人までさまざまな世代がポップを作成し、おすすめ本を紹介することで、それぞれの同世代が共感、関心をいただき、その本の利用につながるきっかけ作りとなった。</p> <p>■テーマ展示の実施</p> <p>各館で毎月、テーマを決め資料の展示を実施した。テーマ展示の内容や展示している資料リストをホームページで公開している。各館で実施したテーマ展示は、以下の通り。</p> <p>中央図書館（1階開架室）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">4月</td> <td style="width: 40%;">「SDGs とは何だろう」</td> <td style="width: 15%;">10月</td> <td style="width: 30%;">フレイルに関する展示（健康課）「フレイル予防」</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>【環境】「食べる」から「環境を考える」</td> <td>11月</td> <td>【子育て支援】【児童虐待防止】 「子育て支援・児童虐待防止」</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>【環境】「食べる」から「環境を考える」</td> <td>12月</td> <td>かにえあんず 蟹江 杏 さんの展示</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>「街中にある不思議」</td> <td>1月</td> <td>「詩歌の世界」</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>【平和】「平和の種をまいた人々」／図書館ミニ水族館</td> <td>2月</td> <td>「みんなでむかえる赤ちゃんのいる暮らし」</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>【世界自殺予防デー&自殺予防週間】「わたしを支えてくれた本」</td> <td>3月</td> <td>【自殺対策】「逃げてみる」</td> </tr> </table>			4月	「SDGs とは何だろう」	10月	フレイルに関する展示（健康課）「フレイル予防」	5月	【環境】「食べる」から「環境を考える」	11月	【子育て支援】【児童虐待防止】 「子育て支援・児童虐待防止」	6月	【環境】「食べる」から「環境を考える」	12月	かにえあんず 蟹江 杏 さんの展示	7月	「街中にある不思議」	1月	「詩歌の世界」	8月	【平和】「平和の種をまいた人々」／図書館ミニ水族館	2月	「みんなでむかえる赤ちゃんのいる暮らし」	9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】「わたしを支えてくれた本」	3月	【自殺対策】「逃げてみる」
4月	「SDGs とは何だろう」	10月	フレイルに関する展示（健康課）「フレイル予防」																								
5月	【環境】「食べる」から「環境を考える」	11月	【子育て支援】【児童虐待防止】 「子育て支援・児童虐待防止」																								
6月	【環境】「食べる」から「環境を考える」	12月	かにえあんず 蟹江 杏 さんの展示																								
7月	「街中にある不思議」	1月	「詩歌の世界」																								
8月	【平和】「平和の種をまいた人々」／図書館ミニ水族館	2月	「みんなでむかえる赤ちゃんのいる暮らし」																								
9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】「わたしを支えてくれた本」	3月	【自殺対策】「逃げてみる」																								

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

中央図書館（2階レファレンス室）

4月	もっと知りたい高尾山	10月	日野ミニ散歩
5月	多摩の生き物	11月	日野市民の著作
6月	多摩の生き物	12月	東京の産業
7月	多摩の乗り物	1月	ようこそ！日野市立図書館へ
8月	戦時下の東京	2月	東京の昔話・伝説
9月	川と生きる	3月	日野の小学校、中学校

高幡図書館

4月	魚・サカナ・さかな・肴	10月	【子育て支援】子育てする人を応援！／まちゼミ展示
5月	エネルギーを考えよう	11月	自分らしい「締めくくり」を考えるために
6月	【環境】森と生きる	12月	あたたかい木
7月	ゆうゆうシニアライフ その2	1月	食べること
8月	【平和】戦争の物語を通し、平和について考える	2月	てのひら写真館
9月	SDGsってなんだろう ～SDGs入門	3月	【高幡台団地空間活用プロジェクト】団地と暮らし／ 【自殺対策】少しでも頼ってみませんか

日野図書館

4月	陸の豊かさも守ろう陸の生き物編	10月	【環境】語り継がれる歳さんの物語
5月	安全なトイレと水を世界中に	11月	【児童虐待防止】勇気
6月	【子育て支援】じいじ、ばあばの子育て奮闘中	12月	働きがいも経済成長も
7月	SDGs	1月	【ジェンダー平等を実現しよう】バトン
8月	【平和】文化～違うって面白い～	2月	海の豊かさを守る／杏さんの小箱（蟹江 杏 さん展示）
9月	すべての人に健康と福祉を	3月	耳の日

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

多摩平図書館

4月	「トマトを食べて元気になろう」	10月	「ことば」／まちゼミ 2021
5月	「健康維持には体操が大切ですよ！」	11月	「税を考える」週間／まちゼミ 2021
6月	「夏が来る！快適に過ごすために」	12月	「先生」って、どんな人たち？、クリスマス・お正月
7月	【環境】「The ゴミ」	1月	「雲」
8月	【平和】「戦争を伝える人たち」	2月	「お風呂」／ハンセン病問題を考える
9月	9月は認知症を知る月間です(2021)／まちゼミ 2021	3月	【自殺対策】「少しだけ肩の力をぬいてみませんか？」／日野消防署×多摩平図書館(1日～10日)／平和を学ぶ(15日～31日)

平山図書館

4月	ジェンダー平等を実現しよう	10月	江戸を学ぶ
5月	仕事について	11月	児童虐待防止
6月	SDGs	12月	【環境】を考える／クリスマス、正月をむかえる
7月	人工知能「AI」について！	1月	赤ちゃんのいる暮らし
8月	世界の平和について考える	2月	日野市と産業
9月	認知症を知る	3月	農業園芸／ ^{かにえあんず} 蟹江 杏 さん展示

百草図書館

4月	トイレと水	10月	東京いまむかし
5月	鳥	11月	SDGs
6月	【食育】食育	12月	小説と絵画
7月	色	1月	【環境】温暖化／縄文／ ^{かにえあんず} 蟹江 杏 さん展示
8月	【平和】平和	2月	縄文
9月	【認知症】認知症を知る月間	3月	俳句

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

季節や社会情勢等、市民の関心に応じたテーマのほか、環境や福祉等、市役所内の関係部署と連携したテーマで実施することもあった。

テーマ展示で他部署と連携することは、市の施策を市民にPRすることができるというメリットがある。図書館は、多くの市民が利用する公共施設であり、市の施策の関連本と一緒に展示することで多くの人の目に留まり、「〇〇月間」などの市の取り組みを周知できるという効果が期待できる。

テーマ	連携課
【食育】	健康課
【環境】	環境保全課
【平和】	総務課
【世界自殺予防デー&自殺予防週間】 【自殺対策】	セーフティネットコールセンター
【子育て支援・児童虐待防止】	子ども家庭支援センター
【認知症】	高齢福祉課
図書館ミニ水族館（中央図書館）	緑と清流課
自分らしい「締めくくり」を考えるために （高幡図書館）	在宅療養支援課
【高幡台団地空間活用プロジェクト】団地と暮らし（高幡図書館）	企画経営課 中央公民館

(2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み

■第3次日野市子ども読書活動推進計画の推進

※「主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業（1）第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進」を参照

■子どもが利用しやすい環境整備

各館において、児童室において季節にあった本の展示や工夫した飾りつけを行うなど、子どもが楽しめる空間づくりに取り組んだ。

子どもから疑問や質問を募集し「夏休みこども★としょかん相談箱」（主要事業2第4次子ども読書活動推進計画推進事業（3）小中学生へのサービスを参照）については、全館で集まった疑問や質問とその回答を掲示し、好評であった。

中央図書館

・図書館で作成した乳幼児向けブックリストを「赤ちゃん向け絵本」コーナーに設置したところ、リストを何度も補充しなければならないほど、手に取って持って

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

行かれる方が多かった。

- ・季節に合った本の展示を3か月ごとに入れ替えて実施した。
- ・小学校低学年向け（おおむね1～2年生）、中学年向け（おおむね3～4年生）の書架のバランスを調整した。

高幡図書館

- ・児童室の壁に、季節にあわせてポスター掲示を行った。
- ・時季や行事にあわせたミニテーマ展示を11回行った。[子どもの日、つゆ、なつ、エリックカール追悼、七夕、あきいろいろ、ハロウィン、ふゆ、クリスマス、ひなまつり、はる]
- ・子どもたちの長期休暇にあわせて企画を2回行い、壁やカウンター付近に掲示した。[ひまわり、雪だるま]
- ・子どもたちがより本や資料を利用しやすい様に、絵本・昔話・教科書・高書架の配置を見直し、書架の移動を行った（10月）。書架移動をしたことで、児童室に入るとすぐに絵本が一面に並ぶようになった。教科書を一般書架の地域資料コーナーから児童室に移動したため、保護者だけではなく子どもが教科書を手に取っている様子が増えた。教科書については、保護者や教育関係の仕事をしている方からの問い合わせがこれまでも度々あり、「地域資料コーナー」の上の棚という配架場所がわかりづらいのではないかと考え、「地域資料コーナー」の改善と併せて、児童室へ移動した。児童室に移動したことにより「図書館に教科書がある」ということに気づいた小学生が手に取る姿が見受けられるようになった。

日野図書館

- ・令和3年度からノンフィクションの児童書展示コーナーを設置した。季節に合わせて動物や昆虫、美術と展示テーマを変えた。展示コーナーにして手に取りやすくすることで、補充するたびに貸出されて、補充が間に合わなくなるテーマもあった。
- ・利用の多いのりもの本の書架の場所を少し広い場所に移動し、利用しやすいように整備した。これまでは、のりもの本はしゃがみこんで本を探す利用者がいると、その後ろの書架の本が探せなくなったり、通行できなくなる場所に配架していた。広い場所に移すことによって、周辺の利用者に気づかひすることなく、のりもの本を探したり選んだりすることができるようになった。

多摩平図書館

- ・新たにブックトラックを購入し、読み聞かせに向く絵本の常設コーナーを設置した。（3月）

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・書架表示に更新し、見やすくした。これまで「えほん」と表示していたものを「えほん Pア→Pオ えをかいた人のアイウエオ順にならんでいます」のように更新し、子どもにも大人にもわかりやすいような表示に更新した。同様に、子ども向けの「よみもの」も作者のあいうえお順に並んでいることを標記し、「ノンフィクション」も細かくジャンルを表示して本を探しやすくした
- ・月2回のおはなし会開催後、紹介した本を展示、貸出できるようにした。
- ・図書館で発行しているリスト「赤ちゃんのとたのしむ絵本(0・1・2歳)」「お子さんとたのしむえほん(3歳～)」で紹介している本をリストとともに展示、貸出できるようにした。絵本選びに迷っていた利用者の方に迅速に手渡すことができ、喜ばれた。

平山図書館

- ・平山図書館では、おはなし会で読んだ本とそのリストを展示していた。しかし新型コロナウイルス感染症対策のためにおはなし会の時間を30分から15分に短縮し、読む本も3冊と少なくなった。おはなし会で読んだ本がその場で貸出されることも多々あり、展示する本が少なくなるので、本とリストの展示を行わなかった。また、おはなし会では、読んだ本以外にも新刊書や絵本パックを積極的に紹介するよう努めた。

百草図書館

- ・児童室で、好きな絵本のタイトルでしりとりをしてもらう「しりとりポスター」、好きな絵本を書いて秋の景色を作る「紅葉ポスター」を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、靴を脱いで利用できるスペースの設置には至らなかった。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・各館でのテーマ展示の継続
- ・子どもが楽しんで図書館を利用してもらえるよう、各館での取り組みを継続する。

【改善策】

- ・図書館報「ひろば」では新しい本の紹介のほか、図書館員による本の紹介を掲載する。
- ・季節や社会情勢に応じた、また他部署と連携したテーマ展示を各館で実施する。実施の際には、キャッチコピーを工夫するよう心掛ける。
- ・本と出あうきっかけづくりを拡充するために、各地域館で以下の取り組みを行う。

中央図書館

- 図書館報「ひろば」では新しい本の紹介のほか、図書館員による本の紹介を掲載

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

する。

- 職場体験を受け入れる場合は、ポップを書いてもらい紹介本とともに展示する。
- ホームページ等のインターネット環境を利用した対応も充足させる。

高幡図書館

- 利用者が新たな本に出あうことができる様、ポップ、ポスターの掲示を行う。
- 掲示物は、たかはたブッククラブの参加者（小学生）等に作成してもらう。

日野図書館

- 児童室でノンフィクションの本について表紙が見えるように展示できるコーナーを常設し、本を手に取り易い環境を整える。

多摩平図書館

- おはなし会、学校訪問や学童クラブ訪問で紹介した本の展示を行う。
- ヤングコーナーのミニ展示スペースは更新を行い、本と出会う機会を継続して提供する。
- ポップの展示については、夏休みジュニア・スタッフや教員研修の方に協力を仰ぐほか、職員による作成も検討する。

平山図書館

- 利用者の本と出あうきっかけとなるポップ、ポスターの掲示を行う。ポップ、ポスターは、職場体験生や実習生、夏休みジュニア・スタッフ等に作成してもらい掲示する。

百草図書館

- 同世代が本を選ぶきっかけとするため、職場体験や夏休みジュニア・スタッフの小中学生にポップ作成を依頼し、本と一緒に展示する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 すべての市民に図書館サービスを提供します
事業の概要	
<p>知っている・使える図書館づくりを目指す取り組みを行う。</p> <p>(1) 図書館サービスのていねいな説明</p> <p>(2) 利用につながる図書館情報の発信</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号によるサービス</p> <p>(4) 多様な利用者へのサービスの拡充</p>	
事業の成果	
<p>(1) 図書館サービスのていねいな説明</p> <p>■図書館サービスのPR</p> <p>館報「ひろば」を12回、計15,000部発行した。また、館報「ひろば」のPDFファイルをホームページ上にアップロードし、閲覧できるようにした。館報「ひろば」図書館のサービス、イベント告知や報告、図書館に入った新しい本の紹介、図書館員が蔵書を紹介する「図書館員の本箱」、移動図書館ひまわり号の巡回日程などを掲載した。令和3年度は、図書館のサービスのうち、ホームページを利用の際に使うパスワード登録(6-(2)ICT化の推進を参照)、闘病記コーナー(平山図書館)、障害者サービスを館報「ひろば」で紹介してきた。</p> <p>日野市立図書館のホームページのアクセス数は1,021,815件であった。ただしこれはトップページのアクセス数は、各ページの数は計測していない。</p> <p>■利用案内の作成・配布</p> <p>利用案内は、移動図書館ひまわり号のサービスポイント案内図の微修正などを行って常に最新の情報を掲載したものを発行してきた。利用案内は、日野市に転入手続きを行う際に、市民窓口課の窓口で配布されている。</p> <p>(2) 利用につながる図書館情報の発信</p> <p>■様々な媒体を活用した広報・周知活動</p> <p>中学生と作家の交流集会 佐竹美保さん講演会を実施するにあたって、プレスリリースを行った。読売新聞が取材に訪れ、講演会翌日の11月7日(月)の朝刊三多摩版に掲載された。</p> <p>多摩平地区に建設中の大規模マンションの販売会社から取材を受け、多摩平地域を紹介するPR用ホームページに中央図書館と移動図書館ひまわり号が掲載された。</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

(3) 移動図書館ひまわり号によるサービス

■個人・団体貸出の実施

21か所のサービスポイントを巡回し、個人貸出を行った。個人貸出は、令和2年と比較して、新型コロナウイルス感染症予防のために運行休止していた期間が短く済んだため、利用数、貸出冊数とも大幅に増えた。定期団体利用については、新型コロナの影響で、団体から休止を申し出られることも多々あったため、巡回数が減っている。

年間利用者数 4,286人(4,090人)

貸出冊数 25,026冊(24,685冊)

延べ巡回回数 417回(408回)

(4月28日(水)～5月11日の間は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受けて、臨時休館となり、移動図書館ひまわり号も運休した。)

定期利用団体の巡回(1団体につき年3回)も行った。

定期利用団体数 53団体(保育園、学童クラブ、病院)
(令和2年度53団体)

貸出冊数 23,064冊(令和2年度23,200冊)

延べ巡回回数 144回(169回)

※カッコ内は令和2年度の数値

■運営方法の検討

令和3年度から小構コーポ佐野前(日野台1-3-7)の巡回を4月から休止し、7月から「石田地区公共施設」(石田環境プラザ)への巡回を開始した。

※「石田地区公共施設」(石田環境プラザ)への巡回については、「主要事業1第3次図書館基本計画推進事業」の移動図書館ひまわり号を参照

■新システム導入によるサービスの拡充

- ・オンライン用ノートパソコンを活用した運用方法の検討を行った。個人貸出巡回の21か所のサービスポイントに持ち出し、検証を実施した。長時間駐車するサービスポイントでは、資料検索、利用者検索など一部の作業に使用でき、リアルタイムでより正確な情報を利用者に提供することができるところもあった。
- ・しかし、多くの駐車場で操作中に通信がフリーズするなど通信環境が不安定であることがわかった。また、ノートパソコンの稼働が遅いため、滞在時間が短い場所では有効な活用ができないことが判明した。
- ・幾つかの団体貸出時もノートパソコンを常備させて通信状況の検証を行ったが、

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

個人貸出と同様の課題があることがわかり、次期システム導入時に解決すべき課題となった。

(4) 多様な利用者へのサービスの拡充

■図書館の利用に障害がある方へのサービス

※「主要事業3 障害者サービス事業」を参照

※「第3次日野市立図書館基本計画の取組 1-(3) 市民の図書館活動・運営への参加」を参照

■高齢者へのサービス

- ・高齢者などの弱視者向けの大活字本を、全館で49タイトル、計188冊を新たに受入した。また、地域館間で融通しあって、大活字本を全館で充実させた。
- ・各地域館で、介護・介護予防に関する本、認知症に関する本、高齢者の運転免許更新に関する本、高齢者向けのスマートフォンやインターネット・SNSの入門書など、高齢者向けを意識して受け入れた。シニア向けのスマホ入門書が特に人気で、新刊が半年で12回借りられたものもあった。
- ・高幡図書館では、高齢者が興味を持たれるようなテーマ展示を2回行った（7月「ゆうゆうシニアライフ」76冊、11月「人生の締めくくりを考える」85冊）11月の展示では在宅療養支援課との連携で「人生会議の日」（11月30日）に関連した資料の展示とパンフレットやエンディングノートを配布した。興味を持たれる方が多く、エンディングノートは配布部数を追加した。市の行政をPRすることもできた。

■外国人へのサービス

- ・引き続き、利用者や国際交流協会から、必要とする資料や要望の聞き取りを行った。
- ・一般外国語資料4冊を受け入れた（いずれも英語）。リクエストで市外図書館から借用が多かったものと、ノーベル賞作家が数年ぶりに発刊した新刊本を購入した。
- ・児童外国語資料（絵本）を73冊受け入れた。うち67冊が英語であるが、人気のある日本語の絵本で外国語に訳したものを多種類の言語でうけいれていく方針のもと、6冊の中国語の絵本を受け入れた。令和4年度は韓国語の絵本の受け入れを考えている。
- ・外国人が日本で生活するために役立つ本も受け入れた。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業の課題と改善策

【課題】

- ・図書館の取り組みの周知
- ・高齢者、外国人へのサービスの充実

【改善策】

- ・館報「ひろば」・図書館ホームページを中心に図書館情報を周知していく。
- ・特にインターネットを通じた情報発信については強化していく。
- ・一般向け、子ども向けの利用案内および障害者サービスの利用案内について、内容の見直し
- ・高齢者へのサービスの充実に向け、以下の取り組みを行う。
 - 引き続き、情報が日々更新される医療情報について、最新の情報が得られる資料をそろえ、古いものとの入れ替えを進める。
 - スマートフォンやパソコンの使い方などの高齢者の生活に役立つ最先端技術に関する本を充実させる。
 - 大活字本コーナーの周知、利用促進。高齢者向け紙芝居の購入。
- ・日本語を母語としない方の利用も見受けられるため、具体的に、日本語を学ぶための資料を選定、収集する。また、英語以外の外国語資料の選定、収集も行い、PRしていく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します
事業の概要	
<p>図書館サービスの基本として次の取組を行う。</p> <p>(1) 資料・情報の収集</p> <p>(2) 資料の保存、除籍</p> <p>(3) 資料・情報の提供体制の充実</p> <p>(4) 読書案内・レファレンスサービスの充実</p>	
事業の成果	
<p>(1) 資料・情報の収集</p> <p style="margin-left: 20px;">■蔵書の充実</p> <p style="margin-left: 40px;">日野市立図書館資料収集方針第9条に定める資料別選定基準として、「日野市立図書館資料選定基準」を令和2年度に制定し、ホームページ上で公開している。令和3年度は内容等についての変更は行わなかった。</p> <p style="margin-left: 40px;">令和3年度に受け入れた冊数は、32,894冊（令和2年度：33,380冊）</p> <p style="margin-left: 20px;">■オンラインデータベースの充実</p> <p style="margin-left: 40px;">図書館では、新聞、法規判例、官報情報、音楽配信のオンラインデータベースが利用できる。令和3年度の利用回数は、PR不足もあり、令和2年度より減少している。利用回数は、次の通り</p> <p style="margin-left: 40px;">新聞（ヨミダス歴史館、聞蔵Ⅱビジュアル、日経テレコン21、毎索） ・・・88回（205回）</p> <p style="margin-left: 40px;">法規判例（D1-Law、TKCローライブラリー）・・・11回（44回）</p> <p style="margin-left: 40px;">官報情報・・・52回（36回）</p> <p style="margin-left: 40px;">国立国会図書館デジタルコレクション・歴史的音源・・・・・・78回（70回）</p> <p style="margin-left: 40px;">音楽配信（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）・・・ 利用回数 1,826回（2,435回） ID配布数 179（191）</p> <p style="margin-left: 40px;">※カッコ内は前年度の数值</p> <p style="margin-left: 20px;">■電子書籍の検討</p> <p style="margin-left: 40px;">新型コロナウイルス感染症拡大もあり、三多摩でも電子図書館サービスを開始する市が大幅に増えた。</p> <p style="margin-left: 40px;">平成30年度導入：八王子市</p> <p style="margin-left: 40px;">令和2年度導入：狛江市、昭島市、小金井市、立川市、武蔵野市、多摩市、国立市、三鷹市</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

電子書籍導入検討委員会で、導入市へのアンケート調査を行い、導入後の様子を調べた。また、委員会内で電子図書館サービス導入についての意見をまとめ、館内で共有した。

(2) 資料の保存、除籍

■資料の保存、除籍

- ・書架整理を行い、書架スペースに適合するよう資料の除架を行い、利用しやすい書架とした。(年間除籍冊数 32,894 冊)
- ・市関係部署にリサイクル資料を頒布する旨を周知し、希望があった部署に頒布し、除籍資料の有効活用を推進した(小学校・児童館等)。

配布数

配布先	施設数等	配付数(冊)
児童施設	7 (8)	65 (437)
小中学校	0 (18)	0 (801)
市他部署	8 (5)	280 (349)
その他	2 (1)	75 (30)
合計	15 (32)	420 (1,617)

※カッコ内数字は前年の実績

※令和2年度に比べて配布数が少なくなっているのは、小学校教育研究会図書館部会を開催する際に、リサイクル本を展示して希望する本を選んでもらって配布していたが、令和3年度は部会の規模を縮小し、リサイクル本の展示を行わなかったこと等のため

- ・各館で市民向けに毎月10日・20日・30日にリサイクル資料を市民に頒布し、除籍資料を市民に活用してもらうことができた。
- ・多摩平の森ふれあい館で2月に開催された多摩平の森ふれあい館まつりにおいて、リサイクル資料の頒布を行った。例年は、子ども向けの本と保存年限が過ぎた雑誌を頒布していたが、令和3年度はひらやまえんにちで子ども向けの本を頒布する予定であったため、雑誌のみを頒布した。3月6日(日)に開催を予定していたひらやまえんにちは、延期となったため、子ども向けの本の頒布はできなかった。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

頒布数

	配付数 (冊)
市民向け配布	28,080 (19,404)
多摩平の森ふれあい館まつり	1,038 (2,761)
合計	29,118 (22,165)

※カッコ内数字は前年の実績

・東京都市町村立図書館長協議会の附属機関である多摩地区図書館サービス研究会で除籍について検討・分析を行い、日野市立図書館も幹事として関わってきた。

(3) 資料・情報の提供体制の充実

■ニーズにすばやく対応できる貸出体制の充実

「日野市立図書館資料選定基準」では、「予約数・利用状況に応じた冊数を収集し」と定め、全館で上限 21 冊まで購入できることとしている。また、取り置き期限（予約割当後、または連絡後 2 週間）を遵守することで、資料が用意できるまでの時間短縮を図った。

日野市立図書館で所蔵していない資料については、リクエストに応じて購入、または他図書館から借用した。リクエストで提供した資料の冊数は、臨時休館で閉館期間が長かった令和 2 年に比べて増えている。令和 3 年度のリクエストの実績は次のとおりである。

リクエストで提供した総冊数	543,902 (493,964)	
蔵書・購入で提供した冊数	535,455 (486,207)	
他図書館からの借用冊数	8,447 (7,757)	
借用先の内訳	都立図書館	2,999 (2,950)
	都内他市図書館	4,721 (4,107)
	都内他区図書館	599 (536)
	都外等	107 (100)
	国会図書館	61 (64)

※カッコ内数字は前年の実績

「リクエスト受付時の対応」についてマニュアルを作成し、館内職員（会計年度任用職員を含む）に伝達した。

(4) 読書案内・レファレンスサービスの充実

■読書案内・レファレンスサービスのPR

「レファレンス室だより(第 18 回)」を図書館報「ひろば」2022 年 2 月号に掲載

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

し、日野市の統計に関する資料を紹介した。

紹介した資料：とうけい日野、日野市事務報告書、多摩地域データブック、
日野市立図書館のサービス実績

図書館ホームページの「日野市についてよくある質問（レファレンス事例集）」
に「日野市内でおこなわれているどんど焼きについて知りたい」を追加した。

■レファレンス資料の充実

新聞の地方版を収録したマイクロフィルムは、令和2年1月～令和2年12月分
までの朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞の各紙、平成31年1月～令和元
年12月の東京新聞を購入した。

辞書、辞典、地図等のレファレンス資料を261点購入し、受け入れた。

■子どもの調べる力の向上

※主要事業2 第4次子ども読書活動推進計画推進事業（5）学校への支援」を
参照

事業の課題と改善策

【課題】

- ・資料費の維持・確保
- ・選定基準、除籍・保存基準の見直し
- ・オンラインデータベースの利用拡大
- ・電子書籍の導入検討
- ・レファレンスサービスの充実

【改善策】

- ・資料選定基準に基づいて資料を選定し、引き続き蔵書を充実させる。基準については、資料の利用状況や市民のニーズ、社会動向や出版内容の変化等を見極めた上で、見直しを検討する。
- ・除籍、保存基準等に基づいて保存、除籍について適正に運営管理していく。
- ・オンラインデータベースについて図書館のホームページ等で紹介しPRする。
- ・電子図書館等については、新規導入館での利用・継続状況など、引き続き調査を行い、導入について検討する。
- ・レファレンスサービスの利用を広めるため、「レファレンス室だより」を図書館報「ひろば」に年1回掲載する。地域資料のテーマ展示を行い、地域資料を紹介する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	6 サービスを提供する基盤を整備します
事業の概要	
<p>(1) 施設の保持・保全</p> <p>(2) ICT化の推進</p> <p>(3) 職員の育成</p> <p>(4) 市民とともにすすめる図書館運営の推進</p>	
事業の成果	
<p>(1) 施設の保持・保全</p> <p>各館の施設・設備の老朽化に対応するため、令和3年度は以下の修繕を行った。</p> <p>中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 2階分電盤修繕 地下駐車場照明修繕 ファサート（建築正面部）修繕 2階女子トイレ排水管修繕 <p>高幡図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水槽ポンプ配管修繕 冷温水ヘッダーバルブ修繕 読書会室扉修繕 <p>日野図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上給水管修繕 <p>平山図書館（平山季重ふれあい館）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子トイレ紙巻き器修繕 排煙窓修繕 <p>百草図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> エレベーター修繕 <p>中央図書館の2階分電盤については、漏電の可能性が高いと指定された。これはいつ火事になるかわからない状態であった。このため、補正予算を待たずに予備費から予算をねん出して対応した（2,666千円）。</p> <p>分電盤を修繕するにあたっては、館内全てが停電となる。このため、地下にある図書館貸出システムのサーバーも停止し、停電していない地域館での貸出・返却作業ができなくなり、中央だけではなく全地域館でも開館ができなくなる恐れがあった。ま</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

た、学校図書館システムも同じサーバーを使用しているため、利用できなくなってしまう。

このため、事前にシステムの委託業者と打ち合わせをして、中央図書館の休館だけで済むように、臨時の手順書を作成して地域館は開館、学校図書館システムも使用できるよう体制を整えた。

修繕契約は11月に実施できたが、半導体等の部品の調達が困難であったために修繕は3月13日（日）～14日（月）に実施。13日（日）は、停電のために中央図書館を臨時休館としたが、地域館はすべて開館した（ただし、利用者用インターネット端末は臨時のマニュアルでは対応できないので利用中止とした）。14日（月）には学校図書館システムもおおむね無事に稼働していた。

(2) ICT化の推進

- ・3月12日（日）の中央図書館停電時に、地域館でシステムが利用できるよう体制を整えた。（前項を参照）
- ・図書館報ひろばで、図書館ホームページの「マイ図書館」にログインするためのパスワード登録を案内した。カウンターで申請し、仮パスワードを受け取ってログインした後に自分の専用パスワードを登録することができる。「マイ図書館」では次の機能が利用できる。
 1. 「本の予約」
 2. 「予約状況確認」
 3. 「貸出状況確認」
 4. 「貸出延長」借りている本の貸出期間を延長（条件有。）
 5. 読書記録紹介…読書記録を記録することで、借りたことのある本の記録を確認することができるようになる。
(期間は1年間分・設定が必要。)
 6. 「マイ本棚」…借りた本や気になる本等メモ帳的に書き込める。
 7. 「新着図書お知らせサービス」…気になる本が図書館に新しく入ったときにメールでお知らせする。
(検索条件を設定しておく必要有。)
 8. 「メールアドレス登録」…予約した本が図書館に準備できたとき等にメールでお知らせ。

なお、令和3年度の仮パスワード発行数は2,486件（前年度は2,094件）であった。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

・図書貸出システムのパソコンの基幹ソフトであるウインドウズ10の更新を職員全員で担うことで、セキュリティへの意識を高めた。

(3) 職員の育成

3月7日(月)に正規職員を対象に研修を実施。中央図書館2階集会室で、レファレンス業務(講師:図書館職員3名)・接遇(講師:資産税課職員)研修を実施した。参加者は13名。

以下の外部研修を受講した。

児童図書館専門研修(都立中央図書館 6月16日(水) 1名)

児童サービス研修(都立多摩図書館 6月24日(木) 1名)

著作権研修

(東京都市町村職員研修所 11月25日(水)～26日(金) 1名)

レファレンス研修(新聞・雑誌情報 都立多摩図書館 12月2日(木) 1名)

レファレンス研修(ビジネス支援 都立多摩図書館 12月16日(木) 1名)

(4) 市民とともにすすめる図書館運営の推進

■図書館運営の点検・評価

図書館運営状況について、図書館協議会での報告評価を経て、9月に教育委員会に報告し、図書館ホームページで公表した。

■図書館の運営方法の検討

令和2年4月9日から6月1日まで臨時休館していたが、開館後の6月13日から30日までの間、「本や読書」、または「図書館」への思いを聞ける機会と判断し、読書調査を実施した。この調査の結果をまとめる作業を行ったが、年度内に公表することはできなかった。(令和4年5月に公表)

事業の課題と改善策

【課題】

- ・施設老朽化への対応
- ・司書としての専門性を高めるための職員育成
- ・市民の視点を加えた図書館運営

【改善策】

- ・中央図書館及び各地域館の修繕を要する箇所を整理し、優先度の高いものから修繕を行う。
- ・市全体の施設管理計画に基づき、今後の地域館のあり方を検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・令和4年度の研修計画を策定し、研修を実施する。また、第4次基本計画・基本構想に合わせ、研修の目標（研修基本計画）を策定する。
- ・運営評価については、以下のとおり進める。
 - 基本計画のシートに基づき、運営の状況に関する評価書を作成する。
 - 作成した評価書を図書館協議会に報告し、意見を求める。
 - 教育委員会に報告、その後図書館ホームページで公開する。
- ・令和4年度は第4次基本計画を策定する。策定にあたっては広く市民の意見を求める。
 - 策定委員会を設置するにあたって、委員定数の半数を市民委員とする。
 - 市民アンケートを実施する。とりわけ未利用者からの意見を取り入れるため、インターネットを利用したアンケートを実施し、アンケートを広く広報する。

過去5年間の主要な統計数値

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
蔵書数 (図書)	合計	823,818	835,633	843,715	846,872	844,476
	一般書	647,105	654,396	659,116	661,667	656,212
	児童書	176,713	181,237	184,599	185,205	188,264
受入数 (図書)	合計	38,622	34,562	34,694	33,380	30,478
	一般書	27,529	24,701	25,063	24,109	22,032
	児童書	11,093	9,861	9,631	9,271	8,446
除籍数 (図書)	合計	34,810	22,747	26,612	30,223	32,894
	一般書	27,741	17,410	20,343	21,558	27,487
	児童書	7,069	5,337	6,269	8,665	5,407
視聴覚資料	保有数	6,049	4,898	4,998	5,102	6,762
購入雑誌	タイトル数	501	501	507	507	504
利用登録者	合計	36,622	36,028	35,166	28,341	30,146
	成人	31,165	30,814	30,176	24,901	26,113
	児童 (15歳以下)	5,457	5,214	4,990	3,440	4,033
利用登録率	合計	19.82%	19.42%	18.83%	15.15%	16.12%
	成人	19.58%	19.23%	18.64%	15.36%	16.06%
	児童 (15歳以下)	21.42%	20.75%	19.83%	13.82%	16.30%
開館日数		314	313	313	265	298
個人貸出数	合計	1,623,059	1,625,131	1,574,761	1,342,530	1,477,776
	一日あたり貸出数	5,169	5,192	5,031	5,066	4,959
	一般書(雑誌含む)	1,084,746	1,080,573	1,053,461	895,405	952,744
	児童書(雑誌含む)	522,893	529,694	507,295	436,372	515,078
	視聴覚資料	15,420	14,864	14,005	10,753	9,954
移動図書館による 団体貸出(雑誌・ CD含む)	団体数	51	52	53	54(*1)	53(*2)
	貸出冊数	21,671	23,248	23,200	21,246	16,099
予約受付 (雑誌・CD含む)	受付件数	462,572	486,295	503,493	493,964	543,902
	所蔵資料提供	453,626	476,835	493,968	486,207	535,455
	借用資料提供	8,946	9,460	9,525	7,757	8,447
レファレンス	件数	3,549	3,776	3,349	2,755	2,403

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ利用者数	合計	461,616	459,786	440,254	359,640	413,189
	一日あたり利用者数	1,470	1,464	1,402	1,357	1,387
	中央	75,886	77,033	68,421	57,750	69,259
	高幡	92,618	90,116	87,029	72,042	79,526
	日野	66,172	63,356	60,093	47,935	59,078
	多摩平	137,839	138,305	135,134	107,372	122,052
	平山	45,494	46,009	45,681	36,732	41,605
	市政	5,174	5,399	4,815	4,205	4,820
	百草	34,766	35,238	34,970	29,124	32,204
	移動	3,667	4,330	4,111	4,480	4,645
館別 個人貸出数 (一般図書)	合計	1,084,746	1,080,573	1,053,461	895,405	952,744
	中央	194,265	195,571	181,691	158,386	169,517
	高幡	213,170	207,602	201,619	175,007	185,510
	日野	152,372	150,813	149,313	123,802	133,541
	多摩平	317,953	317,657	314,285	258,659	272,938
	平山	104,705	104,225	104,953	87,910	93,858
	市政	11,729	12,264	10,811	10,037	11,034
	百草	77,957	77,698	76,516	67,562	71,347
	移動	12,595	14,743	14,273	14,042	14,999
	館別 個人貸出数 (児童図書)	合計	522,893	529,694	507,295	436,372
中央		97,487	104,381	93,605	80,332	97,132
高幡		86,914	82,889	78,068	68,605	78,435
日野		90,085	86,975	90,300	72,457	85,120
多摩平		170,481	168,490	159,724	142,779	170,284
平山		34,757	39,901	38,247	33,167	38,702
市政		2,703	2,782	1,856	1,770	2,212
百草		31,785	33,844	35,603	26,670	33,259
移動		8,681	10,432	9,892	10,592	9,934

※1 定期巡回の団体数は53 ※2 定期巡回の団体数は52

奉仕実績

(1) 蔵書状況(蔵書数)

① 図書

区分	蔵書数(冊)	年間受入(冊)	年間除籍(冊)
一般図書	656,212	22,032	27,487
児童図書	188,264	8,466	5,407
計	844,476	30,498	32,894

② CD・ビデオ等

資料名	保有数
CD	5,362
カセットテープ	515
DVD	316
ビデオソフト	540
レコード等	29
計	6,762

③ 雑誌・新聞

	購読新聞	雑誌		
		購入	寄贈	合計
中央図書館	31	204	39	256
高幡図書館	25	122	6	126
日野図書館	20	92	4	100
多摩平図書館	17	165	6	169
平山図書館	19	81	6	90
市政図書室	29	68	46	115
百草図書館	24	105	3	112
移動図書館	0	41	0	40

(2) 利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

成人(人)	児童(人)	登録者総数(人)	登録率(%)
26,113	4,037	30,146	16.12

※登録者数：年度内に貸出した人数

登録率：登録者数を令和4年4月1日の人口187,060人で除して算出

統計資料

② 延べ利用者数、開館日数

館名	延べ利用者(人)	開館日数(日)
中央図書館	69,259	298
高幡図書館	79,526	299
日野図書館	59,078	299
多摩平図書館	122,052	299
平山図書館	41,605	299
市政図書室	4,820	293
百草図書館	32,204	299
移動図書館	4,645	—
計	413,189	—

※4月28日(水)～5月11日(火) 全館、3月13日(日) 中央のみ臨時休館

③ 個人貸出点数

区分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	169,517	97,132	827	267,476
高幡図書館	185,510	78,435	578	264,523
日野図書館	133,541	85,120	270	218,931
多摩平図書館	272,938	170,284	5,391	448,613
平山図書館	93,858	38,702	432	132,992
市政図書室	11,034	2,212	31	13,277
百草図書館	71,347	33,259	2,332	106,938
移動図書館	14,999	9,934	931	25,026
計	952,744	515,078	9,954	1,477,776

④ 移動図書館・駐車場別貸出点数

駐車場名	貸出点数	駐車場名	貸出点数	駐車場名	貸出点数
シティハイツ日野旭が丘	3,475	新井わかたけ公園	807	貉谷戸公園	1,043
西平山第1公園	1,278	さいかちぜき公園	789	万願寺中央公園	960
緑ヶ丘公園	671	大坂西公園	305	ちょうまんびら公園	826
市営向川原団地	1,524	新坂下公園	421	七ツ塚公園	918
百草団地アポロ広場	1,474	都営日野栄町二丁目アパート	160	旭が丘地区センター	4,573
水車公園	1,006	松風公園	949		
ほほえみ公園	450	南平丘陵公園	645		
石田環境プラザ	1,753	万願寺渡西公園	999	貸出総冊数	25,026

駐車場数	21カ所	延べ巡回回数	417回	一駐車場平均貸出冊数	1191.7冊
年間利用者数	4,286人	一駐車場平均巡回回数	19.9回	一駐車場一巡回当たり	
貸出冊数	25,026冊	平均利用者数	10.2人	平均貸出冊数	60.0冊

⑤ 団体貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	65	1,080	4	1,149
高幡図書館	51	1,083	0	1,134
日野図書館	53	849	0	902
多摩平図書館	86	2,414	4	2,504
平山図書館	6	228	0	234
市政図書室	1	3	0	4
百草図書館	42	986	10	1,038
移動図書館	1,437	14,662	0	16,099
計	1,741	21,305	18	23,064

※移動図書館は延べ169回巡回。定期利用団体が53団体、その他団体1団体が利用

⑥ 図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	市 名	新規登録者	貸出冊数
	八王子市	97	9,948
	府中市	90	5,538
	調布市	34	1,520
	町田市	7	153
	多摩市	198	27,006
	稲城市	24	3,353
	立川市	213	7,471
	国立市	18	229
	合 計	681	55,218
他市市民の日野市立図書館利用	市 名	新規登録者	貸出冊数
	八王子市	384	46,614
	府中市	25	1,192
	調布市	7	34
	町田市	11	663
	多摩市	61	4,712
	稲城市	3	261
	立川市	27	1,018
	国立市	20	459
	合 計	538	54,953

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	合計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計		
中央図書館	12,608	1,351	13,959	1,442	74	1,516	288	15,763
高幡図書館	15,300	1,744	17,044	579	160	739	36	17,819
日野図書館	7,476	852	8,328	662	96	758	3	9,089
多摩平図書館	16,721	1,961	18,682	682	106	788	294	19,764
平山図書館	5,991	925	6,916	892	39	931	34	7,881
市政図書室	637	155	792	20	7	27	2	821
百草図書館	5,511	824	6,335	220	46	266	88	6,689
移動図書館	572	106	678	37	1	38	0	716
OPAC全館	16,497		16,497	1,708		1,708	332	18,537
WEB(注1)	411,577		411,577	32,811		32,811	2,435	446,823
合計	492,890	7,918	500,808	39,053	529	39,582	3,512	543,902
上記受付数中、 電子申請(注2)による受付数			2,869					2,869

注1) 図書館のホームページを使ったリクエスト

注2) 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政 関係	一般 主題	計
中央図書館	246	222		416	884
高幡図書館	24	0		129	153
日野図書館	35	5		104	144
多摩平図書館	36	10		243	289
平山図書館	14	6		121	141
市政図書室	379	43	43	85	550
百草図書館	26	5		211	242
計	760	291	43	1,309	2,403

※地方行政関係は、市政図書室のみでカウント。他の館では一般主題と一緒にカウントしている。

統計資料

② コピーサービス

館名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中央図書館	973	20,100	239,920
高幡図書館	561	18,188	204,320
日野図書館	506	8,091	101,150
多摩平図書館	947	9,754	135,420
平山図書館	1,203	15,261	200,730
市政図書室	203	5,403	62,150
百草図書館	259	5,702	67,380
計	4,652	82,499	1,011,070

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会場	開催日	回数	参加人数				
			0才	3才	小学生	小計	大人
中央図書館	毎月第4木曜日	12	52	—	—	52	55
	毎月第2水曜日	11	—	16	4	20	12
高幡図書館	毎月第1水曜日	12	42	19	8	69	48
日野図書館	毎月第3水曜日	12	—	17	—	17	11
多摩平図書館	毎月第2木曜日	11	69	—	—	69	70
	毎月第4水曜日	11	—	33	26	59	39
平山図書館	毎月第3木曜日	12	25	—	—	25	24
百草図書館	毎月第3金曜日	12	19	24	16	59	34

※おはなし会の開始時間

0～2歳児

午前10時30分～(中央、多摩平、平山)、午後3時～(高幡、百草)

3歳～

午後3時30分～(中央、高幡、多摩平、百草)

3歳～6歳

午後4時～(日野)

(出張おはなし会)

訪問先	合計回数
平山図書館、多摩平図書館(子育てひろば)	13回

② 「たかはたブッククラブ」

小学生対象、予約定員制。職員による本の紹介や図書館探検など子どもと本とを結びつける事業

開催月日	会場	参加者数 (人)
6～3月 (8, 12月を除く第1水曜日) 計8回	高幡図書館	37

③ 「子ども読書の日」関連事業 (おはなしピクニック)

行 事 内 容	備考
イベント 「としょかんおはなしピクニック 2021」	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

④ 保護者向け本の紹介

行 事 内 容	備考
学校等で読み聞かせをする予定のある保護者に季節にあった本や新刊書の紹介	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

⑤ 読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	備考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の選び方、参考図書の紹介、実習	5月20日(木)、多摩平の森ふれあい館集会室6、10名参加

⑥ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。

月・日	学校名	月・日	学校名
5月7日(金)	旭が丘小学校	5月7日(金)	滝合小学校
6月3日(木)	仲山小学校	6月10日(木) 7月15日(木)	南平小学校
6月17日(木)	夢が丘小学校	6月18日(金)	七生緑小学校
6月25日(金)	豊山小学校	6月25日(金)	日野第六小学校
7月9日(金)	日野第八小学校	3月3日(木)	日野第四小学校

統計資料

⑦ 学校へ貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

搬送回数 (のべ)	貸出冊数
のべ93回	3,537冊

⑧ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

回数	貸出冊数
のべ51回	17,099冊

⑨ 中学生の職場体験学習

行事名	備考		
職場体験	中央図書館	2校	9人
	高幡図書館	1校	3人
	日野図書館	1校	4人
	多摩平図書館	3校	7人
	平山図書館	1校	4人

⑩ 夏休みジュニア・スタッフ(小学5年生・6年生・中学生)

行事名	備考			
夏休みジュニア・スタッフ	中央図書館	3人	高幡図書館	2人
	日野図書館	2人	多摩平図書館	4人
	平山図書館	2人	百草図書館	4人

⑪ 来館(施設見学、ボランティア活動、おはなし会、等)

行事名	開催日	実施館	
小・中学校	随時	中央、高幡、日野、多摩平、平山、百草	14校
その他の団体	随時	中央、多摩平	3団体

⑫ 健康課主催ママパパクラスにて図書館案内と関連図書紹介

新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。代替として図書館ホームページに「これからお子さんを迎える方へ」というタイトルのページを設置し、パパママクラスで紹介している。このページは健康課のパパママクラスのホームページと相互リンクしている。

統計資料

⑬ ボランティア懇談会

年2回、市内で活動する子どもの本に関わる団体相互と図書館とが情報交換を行うが、今年度新型コロナウイルス感染症対策のため開催せず。ボランティア団体へのアンケートを実施した。

⑭ 青少年読書活動事業 「ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。公券により、市内在住・在学の大学生・高校生が参加。

行 事 名	開催月日	備考
大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」展示	11月13日(土)～ 11月14日(日)	コロナの影響で、常磐祭の対面形式での企画が中止となったため、テーマ展示のみで常磐祭に参加した。(テーマ「日野市にまつわる本」)
大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」ビブリオバトル	-	コロナの影響で、常磐祭は大学関係者のみの開催となったため、ヤングスタッフの参加は中止となった。
Web 会議	5月16日(日) 7月11日(日) 8月28日(土) 10月17日(日) 12月5日(日) 1月16日(日) 2月26日(土)	コロナに伴い、ZOOMを使ったWeb会議を中心に、対面との併用で活動をおこなった。会議の実施回数は7回であった。

⑮ 中学生と作家の交流事業

中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を支援。

開催日	会 場	講 師	参加者(人)
11月7日(日)	多摩平の森ふれあい館 (集会室6)	佐竹美保氏	47人 (オンライン参加者含む)

統計資料

(6) 障害者サービス

① 利用者、音訳点訳登録者、点字図書、拡大写本、対面朗読数

利用者数		音訳者	点訳者	点字図書			拡大写本		対面朗読		
個人	団体			作成枚数	貸出		作成枚数	貸出タイトル数	件数	のべ時間	のべ音訳者数
					タイトル数	巻数					
215	14	36	15	3,912	369	536	70	16	85	193	150

② 録音図書の作成・貸出数

作成						貸出					
テープ図書		DAISY 図書		合計		テープ図書		DAISY 図書		合計	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	47	47	47	47	24	148	3,852	3,852	3,876	4,000

③ 相互貸借の貸出・借用数

貸出						借用					
テープ図書		DAISY 図書		点字図書		テープ図書		DAISY 図書		点字図書	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	9,284	9,284	4,503	4,518	22	144	1,303	1,303	140	297

④ 宅配による貸出数

利用者数	回数	貸出図書冊数
37	325	1,473

⑤ 講習会開催数

講習名	講師	開催回数	開催場所	受講者(人)
音訳者講習会(中級)	成毛 由紀子氏	2回	多摩平の森ふれあい館	12

⑥ 出張点字授業

点字や視覚障害者の理解を深めるため、市内小学校4年生を訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
7月7日(水)、14日(水)	日野第五小学校	4
10月19日(火)、20日(水)	潤徳小学校	3
10月22日(金)	東光寺小学校	2
11月10日(水)、11日(木)	旭が丘小学校	3
2月17日(木)	日野第四小学校	3
2月21日(月)	七生緑小学校	2
計	6	17

統計資料

(7) 刊行資料

資料名（1回当たりの発行部数）	発行回（回）	発行部数
館報「ひろば」	12	15,000
新聞記事速報（1回あたり230部）	238	54,740
資料の広場（1回あたり90部）	8	720

(8) 視聴覚ライブラリー

(1) 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	0
暗幕	19	13
16ミリフィルム	60	0

(2) 16ミリ映写機検定

項目	開催日	検定台数	会場
16ミリ映写機検定	9月13日（月）	4台	中央図書館 館

(9) インターネットサービス

- (1) ホームページアクセス件数 1,021,815件
- (2) パスワード発行数 2,486件
- (3) メールアドレス登録者数 (累計) 21,257人
- (4) インターネット検索パソコン利用回数

インターネットの情報を図書館でも検索できるように、各館にインターネット端末を設置している。

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
214	359	434	369	900	363	103	420	3,162

(5) 持込PC用電源利用受付数

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
-	374	76	81	219	256	-	108	1,114

統計資料

(10) テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

① 中央図書館

	テーマ
4月	【SDGs】「SDGsとは何だろう」
5月	【環境】「食べる」から「環境を考える」
6月	【環境】「食べる」から「環境を考える」
7月	「街中にある不思議」
8月	【平和】「平和の種をまいた人々」
9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】「わたしを支えてくれた本」
10月	フレイルに関する展示（健康課）「フレイル予防」
11月	【子育て支援】【児童虐待防止】「子育て支援・児童虐待防止」
12月	蟹江杏さんの展示
1月	「詩歌の世界」
2月	「みんなでむかえる赤ちゃんのいる暮らし」
3月	【自殺対策】「逃げてみる」

② 高幡図書館

	テーマ
4月	魚・サカナ・さかな・肴
5月	エネルギーを考えよう
6月	【環境】森と生きる
7月	ゆうゆうシニアライフ その2
8月	【平和】戦争の物語を通し、平和について考える
9月	【SDGs】SDGsってなんだろう ～SDGs入門
10月	【子育て支援】子育てする人を応援！、まちゼミ展示
11月	【在宅療養支援課】自分らしい「締めくくり」を考えるために
12月	あたたかい本
1月	食べること
2月	てのひら写真館
3月	【高幡第1団地空間活用プロジェクト】団地と暮らし 【自殺対策】少しだけ頼ってみませんか

統計資料

③ 日野図書館

	テーマ
4月	【SDG s 陸の豊かさを守ろう】陸の生き物編
5月	【SDGS安全なトイレと水を世界中に】・水
6月	【子育て支援】じいじ、ばあばの子育て奮闘中
7月	【SDG s】
8月	【平和】文化～違うって面白い～
9月	【SDG s すべての人に健康と福祉を】
10月	【環境】、・語り継がれる歳さんの物語
11月	【児童虐待防止】 勇気
12月	【SDG s 働きがいも経済成長も】
1月	【ジェンダー平等を実現しよう】 バトン
2月	・【SDG s 海の豊かさを守る】、・杏さんの小箱（蟹江杏さん展示）
3月	・【気候変動に具体的な対策を】、・耳の日

④ 多摩平図書館

	テーマ
4月	「トマトを食べて元気になろう」
5月	「健康維持には体操が大切ですよ！」
6月	「夏が来る！快適に過ごすために」
7月	【環境】「The ゴミ」
8月	【平和】「戦争を伝える人たち」
9月	9月は認知症を知る月間です（2021）／まちゼミ2021
10月	「ことば」／まちゼミ2021
11月	「税を考える」週間／まちゼミ2021
12月	「先生」って、どんな人たち？、クリスマス・お正月
1月	【SDG s】「雲」
2月	「お風呂」／ハンセン病問題を考える
3月	【自殺対策】「少しだけ肩の力をぬいてみませんか？」／日野消防署×多摩平図書館（1日～10日）／平和を学ぶ（15日～31日）

統計資料

⑤ 平山図書館

	テーマ
4月	ジェンダー平等を実現しよう
5月	仕事について
6月	SDGs
7月	人工知能「AI」について！
8月	世界の平和について考える
9月	認知症を知る
10月	江戸を学ぶ
11月	児童虐待防止
12月	【環境】を考える、クリスマス、正月をむかえる
1月	赤ちゃんのいる暮らし
2月	日野市と産業
3月	農業園芸 ・蟹江杏さん展示

⑥ 百草図書館

	テーマ
4月	トイレと水
5月	鳥
6月	食育
7月	色
8月	平和
9月	認知症を知る月間
10月	東京いまむかし
11月	SDGs
12月	小説と絵画
1月	環境／縄文／蟹江杏
2月	縄文
3月	俳句

統計資料

(11) 日野宿発見隊

活動内容	開催月日	会場	参加者数等
日野宿発見隊第98弾 「デジタルスタンプラリーin 日野宿2021」	4月29日 (木)～5月9日(日)	日野宿内	598人
日野宿発見隊第99弾「夏休み！親子で調べよう日野用水」	7月24日 (土)	新東光寺地区センター前用水	30人
日野宿発見隊第101弾「八坂の祭りまちかど写真館inひの」	9月1日 (水)～30日(木)	八坂神社玉垣ほか	69点
※日野宿発見隊第100弾「行灯をつくろう」	12月4日(土)	日野宿交流館	24人
日野宿発見隊通信第19号発行	3月17日 (木)	一小、東光寺小、仲田小学区内自治会配布	500部

(12) 本を通じた交流の企画

(1) はじまりの読書会2021

	開催日程	とりあげた作品	会場	講師
第1回	10月1日(金)	『一茶』 藤沢周平／著	高幡図書館 2階 読書会室	青木 笙子氏
第2回	11月5日(金)	『小林一茶』 井上ひさし／著		
第3回	12月3日(金)	『銀河鉄道の父』 門井慶喜／著		
第4回	1月7日(金)	『イーハトーボの劇列車』 井上ひさし／著		

※参加者数 7人

(13) その他

① リサイクル図書配布

配布先	施設数等	配布数(冊)
児童施設	7	65
小中学校	0	0
市他部署	8	280
その他	2	75
イベント	1回	1,038
個人		28,080
計		29,538

統計資料

② 実習生（大学生以上）受入

期間	団体・学校名	学年等	目的	人数
8月19日（木） ～20日（金）	市内教員	教諭	教員10年研修	4人
12月15日（水）	市内教員	教諭	教員初任者研修	7人
3月1日（火）～7日（月）	東京外国語大学	3年生	図書館実習	1人

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、
図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況に
ついて評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長
が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

図書館協議会委員名簿

《第30期図書館協議会委員》

委員長	田代 守	社会教育の関係者
副委員長	山口 洋	学識経験者
委員	栗沢 稚富美	社会教育の関係者
委員	山口 早苗	学校教育の関係者
委員	阿部 啓介	学校教育の関係者
委員	元木 千恵	家庭教育の向上に資する活動を行うもの
委員	田中 正昭	公募による市民
委員	吉岡 里美	公募による市民
委員	遠藤 直幸	公募による市民

任期 自 令和 4年4月15日
 至 令和 6年4月14日

令和4年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和3年度事業)

くらしの中に図書館を

令和4年10月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584